



滋賀県立大学 2022年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1110201	英語	A (活性化コース) (再履修)	近藤 佑樹	前期	...	1
1110202	英語	B (活性化コース) (再履修)	近藤 佑樹	後期	...	3
1110411	英語	A (応用コース) (再履修)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	...	5
1110412	英語	B (応用コース) (再履修)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	後期	...	7
1110621	英語	A (充実コース) (再履修)	坂本 輝世	前期	...	9
1110622	英語	B (充実コース) (再履修)	坂本 輝世	後期	...	11
1110831	英語	A (展開コース) (再履修)	西堀 彰子	前期	...	13
1110832	英語	B (展開コース) (再履修)	西堀 彰子	後期	...	15
1120011	ドイツ語	A (初級コース) (水2限)	竹内 一高	前期	...	17
1120012	ドイツ語	B (初級コース) (水2限)	竹内 一高	後期	...	19
1120021	ドイツ語	A (初級コース) (水3限)	和田 資康	前期	...	21
1120022	ドイツ語	B (初級コース) (水3限)	和田 資康	後期	...	23
1120041	ドイツ語	A (初級コース) (水4限)	和田 資康	前期	...	25
1120042	ドイツ語	B (初級コース) (水4限)	和田 資康	後期	...	27
1120061	ドイツ語	A (中級コース) (火2限)	吉村 淳一	前期	...	29
1120062	ドイツ語	B (中級コース) (火2限)	吉村 淳一	後期	...	31
1120091	ドイツ語	A (中級コース) (火3限)	大森 智子	前期	...	33
1120092	ドイツ語	B (中級コース) (火3限)	大森 智子	後期	...	35
1120131	フランス語	A (初級コース) (水3限)	辻村 暁子	前期	...	37
1120132	フランス語	B (初級コース) (水3限)	辻村 暁子	後期	...	39
1120141	フランス語	A (初級コース) (水4限)	辻村 暁子	前期	...	41
1120142	フランス語	B (初級コース) (水4限)	辻村 暁子	後期	...	43
1120151	フランス語	A (初級コース) (水2限)	辻村 暁子	前期	...	45
1120152	フランス語	B (初級コース) (水2限)	辻村 暁子	後期	...	47
1120181	フランス語	A (中級コース) (火1限)	桂川 久久	前期	...	49
1120182	フランス語	B (中級コース) (火1限)	桂川 久久	後期	...	51
1120191	フランス語	A (中級コース) (火2限)	桂川 久久	前期	...	53
1120192	フランス語	B (中級コース) (火2限)	桂川 久久	後期	...	55
1120201	フランス語	A (中級コース) (火3限)	桂川 久久	前期	...	57
1120202	フランス語	B (中級コース) (火3限)	桂川 久久	後期	...	59
1120251	中国語	A (初級コース) (水4限)	桜木 陽子	前期	...	61
1120252	中国語	B (初級コース) (水4限)	桜木 陽子	後期	...	63
1120271	中国語	A (初級コース) (水1限)	林 虹	前期	...	65
1120272	中国語	B (初級コース) (水1限)	林 虹	後期	...	67
1120281	中国語	A (初級コース) (水2限)	唐 楽寧	前期	...	69
1120282	中国語	B (初級コース) (水2限)	唐 楽寧	後期	...	71
1120311	中国語	A (初級コース) (水3限)	桜木 陽子	前期	...	73
1120312	中国語	B (初級コース) (水3限)	桜木 陽子	後期	...	75
1120336	中国語	A (中級コース) (火1限)	唐 楽寧	前期	...	77
1120337	中国語	B (中級コース) (火1限)	唐 楽寧	後期	...	79
1120346	中国語	A (中級コース) (火2限)	唐 楽寧	前期	...	81
1120347	中国語	B (中級コース) (火2限)	唐 楽寧	後期	...	83
1120406	中国語	A (中級コース) (火3限)	林 虹	前期	...	85
1120407	中国語	B (中級コース) (火3限)	林 虹	後期	...	87
1120411	朝鮮語	A (初級コース) (水2限)	呉 賢欄	前期	...	89
1120412	朝鮮語	B (初級コース) (水2限)	呉 賢欄	後期	...	91
1120421	朝鮮語	A (初級コース) (水3限)	呉 賢欄	前期	...	93
1120422	朝鮮語	B (初級コース) (水3限)	呉 賢欄	後期	...	95
1120425	朝鮮語	A (初級コース) (水4限)	呉 賢欄	前期	...	97
1120426	朝鮮語	B (初級コース) (水4限)	呉 賢欄	後期	...	99
1120431	朝鮮語	A (中級コース) (火2限)	崔 眞善	前期	...	101
1120432	朝鮮語	B (中級コース) (火2限)	崔 眞善	後期	...	103
1120441	朝鮮語	A (中級コース) (火3限)	崔 眞善	前期	...	105
1120442	朝鮮語	B (中級コース) (火3限)	崔 眞善	後期	...	107
1120461	日本語	A 柴川 真由美	前期	...	109	
1120462	日本語	B 柴川 真由美	後期	...	111	
1120471	日本語	A 上野山 愛弥	前期	...	113	
1120472	日本語	B 上野山 愛弥	後期	...	115	
1120481	日本語	A 上野山 愛弥	前期	...	117	
1120482	日本語	B 上野山 愛弥	後期	...	119	
1120491	日本語	A メルビル ケイコ	オオヤ	前期	...	121
1120492	日本語	B メルビル ケイコ	オオヤ	後期	...	123
1120730	実用英語演習	A (火1限)	Oliver Cakebread-Andrews	前期	...	125
1120731	実用英語演習	A (火1限)	坂本 輝世	前期	...	127
1120732	実用英語演習	A (火2限)	Oliver Cakebread-Andrews	前期	...	129
1120733	実用英語演習	A (火2限)	坂本 輝世	前期	...	131
1120734	実用英語演習	A (火2限)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	...	133
1120735	実用英語演習	A (火2限)	未定*	前期	...	135
1120736	実用英語演習	A (火3限)	Oliver Cakebread-Andrews	前期	...	137
1120737	実用英語演習	A (火3限)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	...	139
1120738	実用英語演習	A (火3限)	近藤 佑樹	前期	...	141
1120739	実用英語演習	A (火3限)	眞島 アマンダ	前期	...	143
1120740	実用英語演習	B (火1限)	Oliver Cakebread-Andrews	後期	...	145
1120741	実用英語演習	B (火1限)	坂本 輝世	後期	...	147
1120742	実用英語演習	B (火2限)	Oliver Cakebread-Andrews	後期	...	149

1120743	実用英語演習	B	(火2限)	坂本 輝世 後期	151
1120744	実用英語演習	B	(火2限)	Jean-Baptiste M.B. SANFO 後期	153
1120745	実用英語演習	B	(火2限)	未定* 後期	155
1120746	実用英語演習	B	(火3限)	Oliver Cakebread-Andrews 後期	157
1120747	実用英語演習	B	(火3限)	Jean-Baptiste M.B. SANFO 後期	159
1120748	実用英語演習	B	(火3限)	近藤 佑樹 後期	161
1120749	実用英語演習	B	(火3限)	真島 アマンダ 後期	163
1120771	日本語基礎(初級)	A	柴川 真由美 前期	165	
1120772	日本語基礎(初級)	B	柴川 真由美 後期	167	
1120773	日本語基礎(初級)	A	柴川 真由美 前期	169	
1120774	日本語基礎(初級)	B	柴川 真由美 後期	171	
1120775	日本語基礎(初級)	A	柴川 真由美 前期	173	
1120776	日本語基礎(初級)	B	柴川 真由美 後期	175	
1120777	日本語基礎(初中級)	A	柴川 真由美 前期	177	
1120778	日本語基礎(初中級)	B	柴川 真由美 後期	179	
1120779	日本語基礎(初中級)	A	柴川 真由美 前期	181	
1120780	日本語基礎(初中級)	B	柴川 真由美 後期	183	
1120781	日本語基礎(初中級)	A	上野山 愛弥 前期	185	
1120782	日本語基礎(初中級)	B	上野山 愛弥 後期	187	
1120783	日本語基礎(初中級)	A	柴川 真由美 前期	189	
1120784	日本語基礎(初中級)	B	柴川 真由美 後期	191	
1120785	日本語基礎(中級)	A	柴川 真由美 前期	193	
1120786	日本語基礎(中級)	B	柴川 真由美 後期	195	
1120787	日本語基礎(中級)	A	上野山 愛弥 前期	197	
1120788	日本語基礎(中級)	B	上野山 愛弥 後期	199	
1120789	日本語基礎(中級)	A	上野山 愛弥 前期	201	
1120790	日本語基礎(中級)	B	上野山 愛弥 後期	203	
1140010	健康・体力科学	(フィットネスプログラム)	中井 直也 後期	205	
1140040	健康・体力科学	(サッカー)	中尾 泰史 後期	207	
1140090	健康・体力科学	(卓球)	芳田 哲也 後期	209	
1140120	健康・体力科学	(テニス)	多胡 陽介 後期	211	
1140150	健康・体力科学	(ヘルスサイエンス)	東田 一彦 後期	213	
1140180	健康・体力科学	(バスケット)	岩瀬 雅紀 後期	215	
1140240	健康・体力科学	(ニュースポーツ)	東田 一彦 前期	217	
1140250	健康・体力科学	(ソフトボール)	岩瀬 雅紀 前期	219	
1140260	健康・体力科学	(バドミントン)	多胡 陽介 前期	221	
1140290	健康・体力科学	(フィットネスプログラム)	中井 直也 前期	223	
1140310	健康・体力科学	(卓球)	中尾 泰史 前期	225	
1140340	健康・体力科学	(テニス)	芳田 哲也 前期	227	
1140470	健康・体力科学	(ボディコンディショニング)	原田 圭子 後期	229	
1140500	健康・体力科学	(ボディコンディショニング)	原田 圭子 前期	231	
1150011	Japan Studies I : Influences of Geography on Culture & Society	倉茂 好匡	前期	233	
1150012	Japan Studies II : Japanese politics and diplomacy I	Benjamin John McCracken	前期	237	
1150013	Japan Studies III : Japanese society and culture I	Christopher Garth	前期	241	
1150014	Japan Studies IV : Nature, History and Food Culture	倉茂 好匡	後期	245	
1150015	Japan Studies V : Japanese society and culture II	Christopher Garth	後期	247	
1150017	Independent Study	未定*	前期集中	249	
1150018	Independent Study	未定*	後期集中	251	
1150020	異文化理解A ~ オーストラリアの異文化理解 ~	国際交流委員会	前期集中	253	
1150025	Intensive Japanese Language	前期集中		255	
1150026	Intensive Japanese Culture	前期集中		257	
1150027	Japanese Culture and Society in Community [Japanese Culture and Society in Community]	未定*	前期集中	259	
1150028	Japanese Culture and Society in Community	未定*	前期集中	261	
1150030	異文化理解B ~ アジア・オセアニアの異文化理解 ~	国際交流委員会	後期集中	263	
1150110	経済学 ~ 現代経済論 ~	鈴木 康夫	後期	265	
1150116	アジア・フィールド実習 ~ アジアのSDGs ~	丸尾 雅啓	前期集中	267	
1150117	アジア・フィールド実習 ~ アジアのSDGs ~	丸尾 雅啓	前期集中	269	
1150130	人間関係の科学B ~ コミュニケーションを考える ~ [こころのテクノロジー]	高梨 克也	後期	271	
1150135	人間関係の科学A ~ 発達を考える ~	上野 有理	前期	273	
1150140	暮らしの中の材料 ~ 材料の歴史 ~ [材料史]	北村 千寿	前期	275	
1150150	差別と人権(同和問題) ~ 人として生きる権利について考える ~	本田 可奈子	前期	277	
1150180	自然科学入門 ~ 自然科学の歴史と技法 ~ [自然科学の視点]	松岡 純	前期	279	
1150185	自然のしくみB ~ 自然災害から生きのびるために ~ [自然現象のしくみ]	倉茂 好匡	後期	281	
1150190	自然のしくみA ~ 生物の多様性保全と持続的な資源利用のために ~ [自然保護論]	荒木 希和子	後期	283	
1150223	農業と環境B ~ 微生物と生活 ~ [植物の病気]		後期	285	
1150225	生活と健康 ~ 健全な日常生活を生きる ~	川端 智子	前期	287	
1150230	生命・人間・倫理 ~ 人間の尊厳と権利 ~	糸島 陽子	後期	289	
1150270	電子社会と人間 ~ 高度情報化社会の成り立ちと私たちの生活 ~	柳澤 淳一	後期	291	
1150430	人間と病気 ~ 人類と病気との出会いと戦いの歴史 ~	安原 治	前期	293	
1150451	都市・建築を考える ~ 川の未来学 ~	村上 修一	前期	295	
1150456	農業と環境A ~ 農業と環境 ~	大久保 卓也	後期	297	
1150470	都市・建築をつくる ~ 比較都市論 ~	川井 操	前期	299	

1150511	キャリア形成への道A～考えるための道具～	高松 徹	前期	311
1150520	機械の再発見	山根 浩二	後期	313
1150530	キャリア形成への道B～キャリアデザイン～	高松 徹	前期	315
1150545	Japan Studies ～Introduction to Japanese Law～	Benjamin John McCracken	後期	317
1150555	Japan Studies ～Introduction to Japanese Culture and Society～	Benjamin John McCracken	前期	321
1150560	World Societies ～This American Life: Examining American Culture through Stories～	[Model United States of America] Benjamin John McCracken	前期	325
1150570	World Societies ～Model United Nations～	[Model United Nations] Benjamin John McCracken	後期	329
1150580	キャリア形成への道C～キャリアデザイン特講～	濱口 桂	後期	333
1150592	Contemporary Japanese Culture	倉茂 好匡	前期	335
1170010	地域共生論	鷓飼 修	前期	337
1170040	地域診断法	鷓飼 修	後期	339
1170050	システム思考法	田口 真太郎	前期	341
1170060	問題解決デザイン論	鷓飼 修	後期	343
1170070	地域デザインA	鷓飼 修	前期集中	345
1170080	地域デザインB	鷓飼 修	前期集中	347
1170090	地域デザインC	鷓飼 修	後期集中	349
1170100	地域デザインD	西岡 孝幸	前期集中	351
1170110	歴史と文化[近江の歴史と文化]	京樂 真帆子	後期	353
1170120	地域社会福祉論	富永 豊	後期	355
1170130	地域コミュニケーション論	上田 洋平	後期集中	357
1170140	地域づくり人材論	上田 洋平	後期	359
1170150	びわこ環境行政論	井手 慎司	後期	361
1170170	多文化共生論		前期	363
1170180	地域産業・企業から学ぶ社長講義	高松 徹	後期	365
1170190	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション[近江の暮らしとなりわい]	上田 洋平	前期集中	367
1170200	近江の美	印南 比呂志	前期	369
1170210	MBA入門～ビジネス・ゲームで学ぶ経営～	[経営学序論] 西岡 孝幸	前期	371
1170225	ソーシャル・ビジネス概論[コミュニティとライフデザイン][地域社会とキャリア創生]	鷓飼 修	後期	375
1170230	ビジネス・プランニング[地域企業講座][地域中小企業講座]	西岡 孝幸	後期	377
1170240	彦根商工会議所寄附講義「世界遺産のまちづくり・人づくり」	上田 洋平	後期	379
1170250	食と健康～食を通じた健康との関わり～	佐野 光枝	前期	381
1170260	名著から学ぶ環境問題～環境問題に関する教養を身に着ける～	上河原 献二	後期	383
1170280	コンピュータとインターネット～マルチメディア情報システム～	奥村 進	後期	385
1170290	地域と文化～近江の古民家～	石川 慎治	前期	387
1170320	電子システムの最先端	学科教員	前期	389
1170340	国際文化学概論～比較宗教論～	間 永次郎	後期	391
1600010	教育実習・事前事後指導(高等学校免許・4年次)	胡田 裕教	前期実習	393
1600020	教育実習・事前事後指導(中学高校免許・3年次)	胡田 裕教	後期実習	395
1600030	教育実習・事前事後指導(養護教諭・3年次)	森本 安紀	後期実習	397
1600040	教育実習・事前事後指導(中学校免許・4年次)	胡田 裕教	前期実習	399
1600050	教育実習・事前事後指導(養護教諭・4年次)	森本 安紀	通年実習	401
1600071	教育相談	胡田 裕教	前期	403
1600072	進路指導	胡田 裕教	前期	405
1600090	教科教育法(家庭科教育法)		前期集中	407
1600100	教科教育法(工業科教育法)		前期	409
1600110	教科教育法(公民科教育法)	西村 太志	前期	411
1600120	教科教育法(社会科教育法)	藤本 奈美	前期集中	413
1600130	教科教育法(地歴科教育法)	鎌田 ユリ	前期	415
1600140	教科教育法(農業科教育法)	森 太郎	前期集中	417
1600150	教科教育法(理科教育法)	石川 聡子	前期集中	419
1600151	教科教育法(英語科教育法)	中谷 博美	前期	421
1600160	教科教育法(家庭科教育法)		後期集中	423
1600170	教科教育法(工業科教育法)		後期	425
1600180	教科教育法(公民科教育法)	西村 太志	後期	427
1600190	教科教育法(社会科教育法)	福井 雅英	前期	429
1600200	教科教育法(地歴科教育法)	上田 孝俊	後期集中	431
1600210	教科教育法(農業科教育法)	井上 升二	後期	433
1600220	教科教育法(理科教育法)	宮下 ゆたか	前期	435
1600221	教科教育法(英語科教育法)	中谷 博美	後期	437
1600230	教科教育法(家庭科教育法)	大塚 眞理子	前期集中	439
1600240	教科教育法(家庭科教育法)	大塚 眞理子	後期集中	441
1600241	教科教育法(英語科教育法)	中谷 博美	後期	443
1600242	教科教育法(英語科教育法)	中谷 博美	前期	445
1600243	教科教育法(理科教育法)	石川 聡子	前期集中	447
1600244	教科教育法(理科教育法)	宮下 ゆたか	後期	449
1600245	教科教育法(社会科教育法)	福井 雅英	前期集中	451
1600246	教科教育法(社会科教育法)	奥村 信夫	後期	453
1600260	教職実践演習(栄養教諭)	今井 絵理	後期集中	455
1600270	教職実践演習(高等学校)	胡田 裕教	後期集中	457
1600280	教職実践演習(中学校)	胡田 裕教	後期集中	459
1600290	教職実践演習(養護教諭)	八木 利津子	後期集中	461
1600300	教職論	胡田 裕教	前期	463
1600320	憲法	橋本 豪志	後期	465
1600330	教科教育法(情報科教育法)		前期集中	467
1600340	教科教育法(情報科教育法)		後期集中	469

1600350	情報と職業	前期集中			・・・	471
1600360	職業指導	中島 由佳	前期集中		・・・	473
1600370	生徒指導論	胡田 裕教	後期		・・・	475
1600400	特別活動論	胡田 裕教	後期		・・・	477
1600450	学校看護論	八木 利津子	前期集中		・・・	479
1600460	学校保健論	八木 利津子	前期集中		・・・	481
1600480	栄養教育実習・事前事後指導(4年次)	山川 佐代子	前期実習		・・・	483
1600490	栄養教育実習・事前事後指導(3年次)	山川 佐代子	後期実習		・・・	485
1600500	学校栄養指導論	平木 敦子	前期集中		・・・	487
1600510	食生活教育論		前期集中		・・・	489
1600551	博物館学概論	市川 秀之	前期		・・・	491
1600552	博物館資料論	東 幸代	前期		・・・	493
1600553	博物館資料保存論	野間 直彦	後期		・・・	495
1600554	博物館情報・メディア論	市川 秀之	後期集中		・・・	497
1600555	博物館教育論	斎藤 修啓	前期集中		・・・	499
1600556	博物館実習	市川 秀之	前期		・・・	501
1600690	公衆衛生看護学	馬場 文	前期前半		・・・	503
1600700	公衆衛生看護管理論	小林 孝子	前期		・・・	505
1600710	健康教育方法演習/	小林 孝子	前期		・・・	507
1600730	公衆衛生看護学実習	小林 孝子	通年実習			
1600810	住居学(製図を含む)		後期集中			
1600820	特別支援教育概論	横江 真理子	前期集中			
1600830	総合的な学習の時間の指導法	胡田 裕教	前期集中			
1601020	インターンシップA	就職指導担当教員	前期集中			
1601030	インターンシップB	就職指導担当教員	前期集中			
1601033	インターンシップE	就職指導担当教員	前期集中			
1601040	インターンシップC	就職指導担当教員	前期集中			
1601050	インターンシップD	就職指導担当教員	前期集中			
1601053	インターンシップF	就職指導担当教員	前期集中			
1601060	ボランティア活動(前期)	胡田 裕教	前期集中			
1601070	ボランティア活動(後期)	胡田 裕教	後期集中			
1853140	公衆衛生看護学演習	小林 孝子	後期			

講義名	英語 A (活性化コース) (再履修)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1110201	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

映画とは文化を映し出す鏡であり、それを見る我々はその影響下に生きているという点において、単なるエンターテインメントに留まらない側面があります。本授業では大学における英語学習の入り口として、英語圏の有名映画を題材にした教材を用いて、英語の4技能の向上に努めると同時に、各作品の背景を学ぶことで異文化理解を深めていくことも目的としています。

到達目標

- 1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
- 2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力
- 3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		成績評価備考欄を参照

- 40% 授業の出席・参加
30% 授業内の課題 (期末提出のエッセイを含む)
30% 到達度確認小テスト(2回)

授業外学習

予習は次のUnitのPreviewingの問題を解いておいてください。授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The Truman Show New Format Edition	Andrew Niccol著 Kim R. Kane/神谷久美子 編著	松柏社	978-4-88198-569-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

電子辞書を毎回持参するようにしてください。他の点については初回授業で説明します。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (再履修)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1110202	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

映画とは文化を映し出す鏡であり、それを見る我々はその影響下に生きているという点において、単なるエンターテインメントに留まらない側面があります。本授業では大学における英語学習の入り口として、英語圏の有名映画を題材にした教材を用いて、英語の4技能の向上に努めると同時に、各作品の背景を学ぶことで異文化理解を深めていくことも目的としています。

到達目標

- 1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
- 3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		成績評価備考欄を参照

- 40% 授業の出席・参加
30% 授業内の課題 (期末提出のエッセイを含む)
30% 到達度確認小テスト(2回)

授業外学習

予習は次のUnitのPreviewingの問題を解いておいてください。授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	The Devil Wears Prada	Aline Brosh McKenna 著 神谷久美子/Kim R. Kanel	松柏社	978-4-88198-636-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

電子辞書を毎回持参するようにしてください。他の点については初回授業で説明します。

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (再履修)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110411	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms
- 2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (再履修)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110412	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms
- 2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (再履修)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110621	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
- (2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
- (3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
- (4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (再履修)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110622	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
- (2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
- (3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
- (4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (再履修)						担当教員	西堀 彰子
講義コード	1110831	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのが能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

- (1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
- (2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
- (3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
- (4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する (30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する (30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する (15%) 到達目標(4)について小テストで評価する (25%)

授業を5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (再履修)						担当教員	西堀 彰子
講義コード	1110832	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのか能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

- (1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
- (2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
- (3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
- (4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する (30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する (30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する (15%) 到達目標(4)について小テストで評価する (25%)

授業を5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水2限)						担当教員	竹内 一高
講義コード	1120011	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101FRL101							

授業概要

ドイツ語によるコミュニケーションができることを目標にした授業です。日常的なコミュニケーション場面を具体的に設定しながら、その場面に相応しい語彙や会話文、あるいは文章を教科書から編集し教員が提示します。それらを学習者自身が理解、学習した上でアレンジし、さらに発音練習・対話練習・読解練習・作文練習を経ることによって、自らの力で表現したいことを身につけることができます。つまり、学習者自身の主体的な、あるいは自主的な、授業内外でのコミュニケーション活動への参加や、学習者同士の協力によってはじめてこの科目を履修する意義が生まれます。

到達目標

- (1) 挨拶やちょっとした会話場面(提示やお礼など)ですぐにドイツ語を使える。
- (2) ドイツ語の会話文を聴きながら、重要な情報を聴き取ることができる。
- (3) ドイツ語の会話文や文章を手がかりに、授業内で習得すべき内容を察知できる。
- (4) 習得すべき内容は、学習者同士の反復練習によって身につけられることを実感する。
- (5) 学習内容をまとめたプレゼンテーションを、さまざまなメディアを用いて完成させることができる。
- (6) プレゼンテーション内容を学習者同士で評価しあえる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	約30%	筆記による、ドイツ語文法学習についてのレポート作成
レポート課題	約50%	学習者、あるいは学習者同士のドイツ語によるプレゼンテーション(筆記文書と口述動画の作成)
上記以外	約20%	授業内活動による、筆記課題や音声ファイルの提出

学期中に2回から3回程度指示される教員の指示による「筆記課題」と、それをもとにした「口述動画課題」とを提出することが義務付けられます。それに定期試験の「文法記述文書課題」が加わります。主としてこれら3種類で成績評価されます。

授業外学習

ドイツ語学習は、毎回の練習の積み重ねによって、理解できる、あるいは表現できる内容が増えていきます。授業では毎回、以下の順序で同じ活動を繰り返します(コミュニケーション場面の把握、語彙練習、語彙の特徴を掴む、文型導入、文型の作文(アレンジを含む)、文型を自己表現として

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語	新倉真矢子、正木晶子、中野有希子	朝日出版社	978-4-255-25422-7
2				
3				

著作権法上、履修者は授業で使用する教科書を購入する義務があります。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水2限)						担当教員	竹内 一高
講義コード	1120012	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101FRL102							

授業概要

ドイツ語によるコミュニケーションができることを目標にした授業です。日常的なコミュニケーション場面を具体的に設定しながら、その場面に相応しい語彙や会話文、あるいは文章を教科書から編集し教員が提示します。それらを学習者自身が理解、学習した上でアレンジし、さらに発音練習・対話練習・読解練習・作文練習を経ることによって、自らの力で表現したいことを身につけることができます。つまり、学習者自身の主体的な、あるいは自主的な、授業内外でのコミュニケーション活動への参加や、学習者同士の協力によってはじめてこの科目を履修する意義が生まれます。

到達目標

- (1) 挨拶やちょっとした会話場面(提示やお礼など)ですぐにドイツ語を使える。
- (2) ドイツ語の会話文を聞きながら、重要な情報を聞き取ることができる。
- (3) ドイツ語の会話文や文章を手がかりに、授業内で習得すべき内容を察知できる。
- (4) 習得すべき内容は、学習者同士の反復練習によって身につけられることを実感する。
- (5) 学習内容をまとめたプレゼンテーションを、さまざまなメディアを用いて完成させることができる。
- (6) プレゼンテーション内容を学習者同士で評価しあえる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	約30%	筆記による、ドイツ語文法学習についてのレポート作成
レポート課題	約50%	学習者、あるいは学習者同士のドイツ語によるプレゼンテーション(筆記文書と口述動画の作成)
上記以外	約20%	授業内活動による、筆記課題や音声ファイルの提出

学期中に2回から3回程度指示される教員の指示による「筆記課題」と、それをもとにした「口述動画課題」とを提出することが義務付けられます。それに定期試験の「文法記述文書課題」が加わります。主としてこれら3種類で成績評価されます。

授業外学習

ドイツ語学習は、毎回の練習の積み重ねによって、理解できる、あるいは表現できる内容が増えていきます。授業では毎回、以下の順序で同じ活動を繰り返します(コミュニケーション場面の把握、語彙練習、語彙の特徴を掴む、文型導入、文型の作文(アレンジを含む)、文型を自己表現として

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	シュピッツェ! 1 コミュニケーションで学ぶドイツ語	新倉真矢子、正木晶子、中野有希子	朝日出版社	978-4-255-25422-7
2				
3				

著作権法上、履修者は授業で使用する教科書を購入する義務があります。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水3限)						担当教員	和田 資康
講義コード	1120021	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101FRL101							

授業概要

この授業ではドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」基本的なコミュニケーション能力を養成します。ペア(グループ)ワークを適宜取り入れながら、ドイツ語を使った様々な言語活動(例:自己紹介をする、1週間の予定を述べる)を目標にして、そのために必要な事項(語彙・表現・文法など)を習得していきます。またドイツ語圏の社会や文化についても理解を深める授業にしたいと思います。

到達目標

一年間の授業によって以下のような『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル、つまり基礎段階の言語能力を身につけることを目標にします。「まず、日常生活の場面で短く簡単なドイツ語表現が理解でき、自分でも言えるようになります。例えば自己紹介ができ、相手に簡単な質問をしたり、それに答えたりできます。食事や買い物や旅行の場面で、相手がゆっくり明瞭に話してくれるなら、コミュニケーションが図れます。」

上記の訳は以下を参照:

<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/kon/stu.html?forceDesktop=1>

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	定期試験の点数を評価基準とします。
レポート課題		
上記以外	40%	授業内容の習得度に関連した簡単な会話の発表、復習課題を基準にします。

3分1以上の欠席がある場合、評価の対象になりません。

授業外学習

授業で使用した語彙や表現については、小テストを実施することがあります。各自復習を行ってください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スタート! 1 コミュニケーション活動で学ぶドイツ語 Start frei! 1	藤原三枝子 著/ 桂木忍 著/ 本河裕子 著/ 野村幸宏 著/ Anja	三修社	978-4-384-12299-2 C1084
2	スタート! 1 ワークブック Start frei! 1 Atbeitsbuch	藤原三枝子 著/ 本河裕子 著/ 野村幸宏 著/ 桂木忍 著/ Rita	三修社	978-4-384-12300-5 C1084
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

英語における主語、動詞、目的語、修飾句などの概念を説明に使用しますので、不明点をなくしておくことが望ましい。

履修資格

講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水3限)						担当教員	和田 資康
講義コード	1120022	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101FRL102							

授業概要

この授業ではドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」基本的なコミュニケーション能力を養成します。春学期と同様、ドイツ語を使った様々な言語活動を目標にして、そのために必要な事項（語彙・表現・文法など）を習得していきます。

到達目標

一年間の授業によって以下のような『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル、つまり基礎段階の言語能力を身につけることを目標にします。「まず、日常生活の場面で短く簡単なドイツ語表現が理解でき、自分でも言えるようになります。例えば自己紹介ができ、相手に簡単な質問をしたり、それに答えたりできます。食事や買い物や旅行の場面で、相手がゆっくり明瞭に話してくれるなら、コミュニケーションが図れます。」

上記の訳は以下を参照：

<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/kon/stu.html?forceDesktop=1>

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	定期試験の点数を評価基準とします。
レポート課題		
上記以外	40%	授業内容の習得度に関連した簡単な会話の発表、復習課題を基準にします。

3分1以上の欠席がある場合、評価の対象になりません。

授業外学習

前学期同様、授業で使用した語彙や表現については、小テストを実施することがあります。各自復習を行ってください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スタート！1 コミュニケーション活動で学ぶドイツ語 Start frei! 1	藤原三枝子 著/ 桂木忍 著/ 本河裕子 著/ 野村幸宏 著/ Anja	三修社	978-4-384-12299-2 C1084
2	スタート！1 ワークブック Start frei! 1 Atbeitsbuch	藤原三枝子 著/ 本河裕子 著/ 野村幸宏 著/ 桂木忍 著/ Rita	三修社	978-4-384-12300-5 C1084
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

春学期同様、英語における主語、動詞、目的語、修飾句などの概念を説明に使用しますので、不明点をなくしておくことが望ましい。

履修資格

講義名	ドイツ語 A (初級コース) (水4限)						担当教員	和田 資康
講義コード	1120041	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101FRL101							

授業概要

この授業ではドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」基本的なコミュニケーション能力を養成します。ペア(グループ)ワークを適宜取り入れながら、ドイツ語を使った様々な言語活動(例:自己紹介をする、1週間の予定を述べる)を目標にして、そのために必要な事項(語彙・表現・文法など)を習得していきます。またドイツ語圏の社会や文化についても理解を深める授業にしたいと思います。

到達目標

一年間の授業によって以下のような『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル、つまり基礎段階の言語能力を身につけることを目標にします。「まず、日常生活の場面で短く簡単なドイツ語表現が理解でき、自分でも言えるようになります。例えば自己紹介ができ、相手に簡単な質問をしたり、それに答えたりできます。食事や買い物や旅行の場面で、相手がゆっくり明瞭に話してくれるなら、コミュニケーションが図れます。」上記の訳は以下を参照:

<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/kon/stu.html?forceDesktop=1>

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	定期試験の点数を評価基準とします。
レポート課題		
上記以外	40%	授業内容の習得度に関連した簡単な会話の発表、復習課題を基準にします。

3分1以上の欠席がある場合、評価の対象になりません。

授業外学習

授業で使用した語彙や表現については、小テストを実施することがあります。各自復習を行ってください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スタート! 1 コミュニケーション活動で学ぶドイツ語 Start frei! 1	藤原三枝子 著/ 桂木忍 著/ 本河裕子 著/ 野村幸宏 著/ Anja	三修社	978-4-384-12299-2 C1084
2	スタート! 1 ワークブック Start frei! 1 Atbeitsbuch	藤原三枝子 著/ 本河裕子 著/ 野村幸宏 著/ 桂木忍 著/ Rita	三修社	978-4-384-12300-5 C1084
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

英語における主語、動詞、目的語、修飾句などの概念を説明に使用しますので、不明点をなくしておくことが望ましい。

履修資格

講義名	ドイツ語 B (初級コース) (水4限)						担当教員	和田 資康
講義コード	1120042	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101FRL102							

授業概要

この授業ではドイツ語で「聞く・読む・話す・書く」基本的なコミュニケーション能力を養成します。春学期と同様、ドイツ語を使った様々な言語活動を目標にして、そのために必要な事項（語彙・表現・文法など）を習得していきます。

到達目標

一年間の授業によって以下のような『ヨーロッパ共通参照枠』のA1レベル、つまり基礎段階の言語能力を身につけることを目標にします。「まず、日常生活の場面で短く簡単なドイツ語表現が理解でき、自分でも言えるようになります。例えば自己紹介ができ、相手に簡単な質問をしたり、それに答えたりできます。食事や買い物や旅行の場面で、相手がゆっくり明瞭に話してくれるなら、コミュニケーションが図れます。」

上記の訳は以下を参照：

<https://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/kon/stu.html?forceDesktop=1>

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	定期試験の点数を評価基準とします。
レポート課題		
上記以外	40%	授業内容の習得度に関連した簡単な会話の発表、復習課題を基準にします。

3分 1 以上の欠席がある場合、評価の対象になりません。

授業外学習

前期同様、授業で使用した語彙や表現については、小テストを実施することがあります。各自復習を行ってください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	スタート！1 コミュニケーション活動で学ぶドイツ語 Start frei! 1	藤原三枝子 著/ 桂木忍 著/ 本河裕子 著/ 野村幸宏 著/ Anja	三修社	978-4-384-12299-2 C1084
2	スタート！1 ワークブック Start frei! 1 Atbeitsbuch	藤原三枝子 著/ 本河裕子 著/ 野村幸宏 著/ 桂木忍 著/ Rita	三修社	978-4-384-12300-5 C1084
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

春学期同様、英語における主語、動詞、目的語、修飾句などの概念を説明に使用しますので、不明点をなくしておくことが望ましい。

履修資格

講義名	ドイツ語 A (中級コース) (火2限)						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1120061	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	201FRL201							

授業概要

ドイツ語 で習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な文法の知識を身につける。この授業では、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、ドイツ語文法の基礎知識を応用できるようにする。また、実物教材やプリントを用意し、ドイツ文化の知識も深めるように努める。授業の進め方に関して言えば、前回の復習、音読の練習、文法事項の確認、会話の練習(プリント教材)、習熟度に応じて小テストなどを行う。また文化紹介の時間を設けて、5分から10分程度の音楽や映像を提示するので、ヨーロッパ諸国の一員であるドイツを知る手がかりにしてもらいたい。

到達目標

zu-不定詞、現在完了形、過去形、形容詞の変化などの文法の知識を身につける。具体的には、以下のことを目標とする。(1) 授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2) 習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3) 参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4) 参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(5) 参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(2)と(3)に関しては筆記試験(30%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:20%)、(3)に関しては小テスト(10%)、(4)に関しては口述試験(30%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:10%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。また、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

その他の宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Teamsフォルダ内に講義資料(PDFファイルと音声ファイル)を入れます。それに加えて、会話練習用プリントを配布するのでクリアブックを用意す

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 B (中級コース) (火2限)						担当教員	吉村 淳一
講義コード	1120062	単位数	1	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	201FRL202							

授業概要

ドイツ語、やドイツ語 Aで習得した基礎文法を復習しながら、さらに高度な文法の知識を身につける。この授業では、特に「話す」、「聞く」力に重点を置き、ペア練習、グループ練習、個人指導により、ドイツ語文法の基礎知識を応用できるようにする。また、実物教材やプリントを用意し、ドイツ文化の知識も深めるように努める。授業の進め方に関して言えば、前回の復習、音読の練習、文法事項の確認、会話の練習(プリント教材)、習熟度に応じて小テストなどを行う。また文化紹介の時間を設けて、5分から10分程度の音楽や映像を提示するので、ヨーロッパ諸国の一員であるドイツを知る手がかりにしてみたい。

到達目標

形容詞の比較変化、分詞、受動態、副文、関係代名詞、接続法などの文法の知識を身につける。具体的には、以下のことを目標とする。(1)授業で取り扱った文法を理解し、辞書などを使って練習問題を解いたり簡単な文章を読解したりすることができる。(2)習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。(3)参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。(4)参照するものがなくても、習得した文法の知識を活用して簡単なドイツ語会話であればできる。(5)参照するものがあれば、正しい発音や簡単なドイツ語会話ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	(2)と(3)に関しては筆記試験(30%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	70	(1)に関しては学期末の課題(模擬試験:20%)、(3)に関しては小テスト(10%)、(4)に関しては口述試験(30%)、(5)に関しては会話練習(学生や教員とのペア練習:10%)の成績により評価する。

欠席や遅刻などがある場合には全体の評点から減点していくこととする。また3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

宿題や小テストに関しては習熟度に合わせて適宜指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

会話練習用プリントを配布するのでクリアブックを用意すること。ドイツ語 で使用した教科書も持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ドイツ語 A (中級コース) (火3限)					担当教員	大森 智子
講義コード	1120091	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習
ナンバリング番号	201FRL201						

授業概要

German では、German で学習した日常生活における基本的な表現や基礎文法を復習しながら、更に複雑な表現や基礎文法全体を学習してもらう。

German では、学習の舞台が「ドイツに留学している日本人大学生の日常生活」に変わる。前期ではGerman 同様、身近な表現を引き続き修得しながら、基礎文法を体系的に復習してもらう。ドイツ語の文法構造は体系的に出来ていて、最初に習う基礎文法の変化パターンをしっかり修得してもらわないと、その後のドイツ語学習が困難になる。後期で学習する更にもっと複雑な表現を楽に理解して修得してもらうためにも、もう一度基本の変化パターンを前期でしっかり復習してもらうことが必要である。自分が言いたいことをドイツ語で表現するためにも、前期で復習する基本文法の土台は不可欠である。

またGerman の教科書の末尾には、教科書で 사용되는すべての単語を収録した単語集が付いている。教科書に出て来る単語の意味や文中の役割など、辞書がなければ知り得ない情報も同時に学習して貰ってもらう。更に教科書には学習レベルに合わせた長文も掲載されているので、日常会話だけではなく、長文読解の練習もしてもらう。そして最終的には平易なドイツ語を正しく発音し、辞書さえあれば平易なドイツ語で自分の言いたいことを少し表現できるようになり、平易なドイツ語の文やまとまった文章を理解する力を付けてもらうことが目標である。

そのために授業中に学習した表現や文法事項を自宅で十分に復習してもらい、次の授業で口頭や記述による小テストを負担のない範囲で行う。文法学習はどうしても嫌われるが、ドイツ語の文法は基本の骨組みさえ覚えれば、パズルの組み立てのように楽しいので、どうか嫌がらずに学習して

到達目標

規則動詞、不規則動詞の現在人称変化、名詞の性や定冠詞(類)、不定冠詞(類)、人称代名詞の格変化、非人称 es、不定代名詞 man、前置詞 や 命令形、話法の助動詞、未来形、分離動詞、非分離動詞、接続詞 などに関する文法の知識を学ぶ。

話し言葉では、学んだ文法知識を土台にした会話表現を習得することを目標とする。書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすことを目標とする。

具体的には、以下を目標とする。

授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり、簡単な文章を読解することができる。

習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。

参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	習得した文法の知識や語彙を活用して、参照するものなしに簡単な文法の問題を解くことができる。簡単な文章を作ることができる。また辞書を使用して読み物を正しく読解できる。
レポート課題		
上記以外	70%	授業内における記述や口頭による小テスト 60% 参照するものなしに、学習した表現を記述したり、口頭で述べる ことができる。

授業外学習

記述や口頭の小テストのために授業外での準備はある程度必要となる。またYouTubeを使ってドイツ政府がドイツ語学習者用に公開している教材から課題を与える場合もある。しかし、大きな負担になることはない。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ドイツ語ナビゲーション 2.0	前田良三、高木葉子	朝日出版社	978-4-255-25412-8 C1084
2				
3				

授業では、文化紹介や教科書を補う形でプリントを配布する。配布されたプリントは、当日の授業で終えられない場合もあるので、終えるまでは授

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

German の復習も兼ねるので、German で十分学習できなかった点を補うつもりで臨んでもらえば良い。

履修資格

講義名	ドイツ語 B (中級コース) (火3限)					担当教員	大森 智子
講義コード	1120092	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習
ナンバリング番号	201FRL202						

授業概要

German では、German で学習した日常生活における基本的な表現や基礎文法を復習しながら、更に複雑な表現や基礎文法全体を学習してもらう。

German では、学習の舞台が「ドイツに留学している日本人大学生の日常生活」に変わる。後期はGerman では学習しなかった文法事項に入っていく。前期同様、身近な表現を引き続き修得しながら、基礎文法を体系的に修得してもらう。前期に復習した基礎文法の変化パターンがしっかり身に付いていれば、何ら問題はない。後期では、更にもっと複雑な表現を理解して修得してもらう。

German の教科書の末尾には、教科書で使われるすべての単語を収録した単語集が付いている。教科書に出て来る単語の意味や文中の役割など、辞書がなければ知り得ない情報も同時に学習してもらう。更に教科書には学習レベルに合わせた長文も掲載されているので、日常会話だけではなく、長文読解の練習もしてもらう。そして前期同様、最終的には平易なドイツ語を正しく発音し、辞書さえあれば平易なドイツ語で自分の言いたいことを少し表現できるようになり、平易なドイツ語の文やまとまった文章を理解する力を付けてもらうことが目標である。

そのために授業中に学習した表現や文法事項を自宅で十分に復習してもらい、次の授業で口頭や記述による小テストを負担のない範囲で行う。文法学習はどうしても嫌われるが、ドイツ語の文法は基本の骨組みさえ覚えれば、パズルの組み立てのように楽しいので、どうか嫌がらずに学習して欲しい。

また更に前期同様、視聴覚資料を用いたドイツ語圏の文化紹介も、できるだけ設ける予定にしている。教科書にもドイツ語圏の様々な事柄が紹介

到達目標

動詞の三基本形と過去形、現在完了形、再帰代名詞と再帰動詞、zu 不定詞句、形容詞の格変化、形容詞・副詞の比較級・最上級、受動文、定関係代名詞や関係副詞、指示代名詞、接続法第1式や接続法第2式 などに関する文法の知識を学ぶ。これでドイツ語文法の全体を見通したことになる。話し言葉では、学んだ文法知識を土台にした会話表現を習得することを目標とする。書き言葉では、辞書を使って平易な文章を読みこなすことを目標とする。

具体的には、以下を目標とする。

授業で取り扱った文法を理解し、練習問題を解いたり、簡単な文章を読解することができる。

習得した文法の知識を文章の読解や作文に活用することができる。

参照するものがなくても、簡単な文法の問題であれば解くことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30%	習得した文法の知識や語彙を活用して、参照するものなしに簡単な文法の問題を解くことができる。簡単な文章を作ることができる。また辞書を使用して読み物を正しく読解できる。
レポート課題		
上記以外	70%	授業内における記述や口頭による小テスト 60% 参照するものなしに、学習した表現を記述したり、口頭で述べる ことができる。

授業外学習

記述や口頭の小テストのために授業外での準備はある程度必要となる。またYouTubeを使ってドイツ政府がドイツ語学習者用に公開している教材から課題を与える場合もある。しかし、大きな負担になることはない。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ドイツ語ナビゲーション 2.0	前田良三、高木葉子	朝日出版社	978-4-255-25412-8 C1084
2				
3				

授業では、文化紹介や教科書を補う形でプリントを配布する。配布されたプリントは、当日の授業で終えられない場合もあるので、終えるまでは授

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に文化紹介や、教科書を補う形でプリントを配布する予定。配布されたプリントは、当日の授業で終えられない場合もあるので、終えるまで

前提学力等

前期の復習も兼ねながら新しい表現や文法を習得していくので、しっかり確認するつもりで授業に臨んでほしい。

履修資格

講義名	フランス語 A (初級コース) (水3限)						担当教員	辻村 暁子
講義コード	1120131	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL111							

授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、いわゆる文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

到達目標

- (1) つづり字の読み方の規則を覚え、フランス語を正確に読み、聞くための基礎をつくる。
- (2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞きとりの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	各課の終わりに文法の基礎知識と語彙力を試す小テストを行う。課題への取り組み、授業中の発表等により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に活用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ピエールとユゴー [コンパクト版]	小笠原洋子	白水社	978-4-560-06131-2
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

履修資格

講義名	フランス語 B (初級コース) (水3限)						担当教員	辻村 暁子
講義コード	1120132	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL112							

授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、いわゆる文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

到達目標

- (1) つづり字の読み方の規則を覚え、フランス語を正確に読み、聞くための基礎をつくる。
- (2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞き取りの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	各課の終わりに文法の基礎知識と語彙力を試す小テストを行う。課題への取り組み、授業中の発表等により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に利用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ピエールとユゴー [コンパクト版]	小笠原洋子	白水社	978-4-560-06131-2
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

履修資格

講義名	フランス語 A (初級コース) (水4限)						担当教員	辻村 暁子
講義コード	1120141	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL111							

授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、いわゆる文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

到達目標

- (1) つづり字の読み方の規則を覚え、フランス語を正確に読み、聞くための基礎をつくる。
- (2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞きとりの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	各課の終わりに文法の基礎知識と語彙力を試す小テストを行う。課題への取り組み、授業中の発表等により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に活用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ピエールとユゴー [コンパクト版]	小笠原洋子	白水社	978-4-560-06131-2
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

履修資格

講義名	フランス語 B (初級コース) (水4限)						担当教員	辻村 暁子
講義コード	1120142	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL112							

授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、いわゆる文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

到達目標

- (1) つづり字の読み方の規則を覚え、フランス語を正確に読み、聞くための基礎をつくる。
- (2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞き取りの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	各課の終わりに文法の基礎知識と語彙力を試す小テストを行う。課題への取り組み、授業中の発表等により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に利用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ピエールとユゴー [コンパクト版]	小笠原洋子	白水社	978-4-560-06131-2
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

履修資格

講義名	フランス語 A (初級コース) (水2限)						担当教員	辻村 暁子
講義コード	1120151	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL111							

授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、いわゆる文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

到達目標

- (1) つづり字の読み方の規則を覚え、フランス語を正確に読み、聞くための基礎をつくる。
- (2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞きとりの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	各課の終わりに文法の基礎知識と語彙力を試す小テストを行う。課題への取り組み、授業中の発表等により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に活用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ピエールとユゴー [コンパクト版]	小笠原洋子	白水社	978-4-560-06131-2
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

履修資格

講義名	フランス語 B (初級コース) (水2限)						担当教員	辻村 暁子
講義コード	1120152	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL112							

授業概要

フランス語への導入と基礎の習得。フランス語は、非常によく整った精緻な文法を備えた言語であり、文法の習得は学習上必要不可欠な要素であるが、いわゆる文法の規則を覚えることにとどまらず、実際に生きた言語を体得する過程で、使える文法としてこれを身に付ける。

到達目標

- (1) つづり字の読み方の規則を覚え、フランス語を正確に読み、聞くための基礎をつくる。
- (2) 文法の理解に基づき、日常遭遇する可能性の高い様々な状況で、最も基本的なコミュニケーションが行なえるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	文法知識、応用力、聞き取りの力を問う記述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50	各課の終わりに文法の基礎知識と語彙力を試す小テストを行う。課題への取り組み、授業中の発表等により、各自が「到達目標」に向けて十分な努力をしているか評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業中に学んだモデル会話や練習問題が録音された音源を積極的に利用して、フランス語を聞き、発音することに慣れるよう努力してもらいたい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ピエールとユゴー [コンパクト版]	小笠原洋子	白水社	978-4-560-06131-2
2				
3				

辞書については最初の授業時に指示するので、それまでは購入しなくてよい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高等学校卒業程度の英語力を前提とする。

履修資格

講義名	フランス語 A (中級コース) (火1限)						担当教員	桂川 久
講義コード	1120181	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標の(1)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標の(1)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(25%) 到達目標の(1)について、宿題の実施を評価する。(15%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(10%)

欠席・遅刻・早退の合計が授業数の3分の1を越えた場合、評価の対象としない。

授業外学習

完璧に覚えるための復習方法：

1. 重要な文法事項を理解しながらフランス語を正確に日本語に訳せるようにする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラッシュ！(三訂版)	三上純子, 他	駿河台出版社	978-4-411-01132-9 C1085
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！[改訂新版]	清岡 智比古	白水社	9784560088517
2				
3				

NHKラジオ『まいにちフランス語(入門編)』(ネット上でも聞ける)は私の知る限り、初級の独習用教材としてはベストです。

前提学力等

フランス語IA, IBの単位を取得済みであること。

履修資格

講義名	フランス語 B (中級コース) (火1限)						担当教員	桂川 久
講義コード	1120182	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標の(1)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標の(1)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(25%) 到達目標の(1)について、宿題の実施を評価する。(15%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(10%)

欠席・遅刻・早退の合計が授業数の3分の1を越えた場合、評価の対象としない。

授業外学習

完璧に覚えるための復習方法：

1. 重要な文法事項を理解しながらフランス語を正確に日本語に訳せるようにする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラッシュ！(三訂版)	三上純子, 他	駿河台出版社	978-4-411-01132-9 C1085
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！[改訂新版]	清岡 智比古	白水社	9784560088517
2				
3				

NHKラジオ『まいにちフランス語(入門編)』(ネット上でも聞ける)は私の知る限り、初級の独習用教材としてはベストです。

前提学力等

フランス語IA, IBの単位を取得済みであること。

履修資格

講義名	フランス語 A (中級コース) (火2限)						担当教員	桂川 久
講義コード	1120191	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL211							

授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標の(1)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標の(1)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(25%) 到達目標の(1)について、宿題の実施を評価する。(15%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(10%)

欠席・遅刻・早退の合計が授業数の3分の1を越えた場合、評価の対象としない。

授業外学習

完璧に覚えるための復習方法：

1. 重要な文法事項を理解しながらフランス語を正確に日本語に訳せるようにする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラッシュ！(三訂版)	三上純子, 他	駿河台出版社	978-4-411-01132-9 C1085
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！[改訂新版]	清岡 智比古	白水社	9784560088517
2				
3				

NHKラジオ『まいにちフランス語(入門編)』(ネット上でも聞ける)は私の知る限り、初級の独習用教材としてはベストです。

前提学力等

フランス語IA, IBの単位を取得済みであること。

履修資格

講義名	フランス語 B (中級コース) (火2限)						担当教員	桂川 久
講義コード	1120192	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL212							

授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標の(1)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標の(1)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(25%) 到達目標の(1)について、宿題の実施を評価する。(15%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(10%)

欠席・遅刻・早退の合計が授業数の3分の1を越えた場合、評価の対象としない。

授業外学習

完璧に覚えるための復習方法：

1. 重要な文法事項を理解しながらフランス語を正確に日本語に訳せるようにする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラッシュ！(三訂版)	三上純子, 他	駿河台出版社	978-4-411-01132-9 C1085
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！[改訂新版]	清岡 智比古	白水社	9784560088517
2				
3				

NHKラジオ『まいにちフランス語(入門編)』(ネット上でも聞ける)は私の知る限り、初級の独習用教材としてはベストです。

前提学力等

フランス語IA, IBの単位を取得済みであること。

履修資格

講義名	フランス語 A (中級コース) (火3限)						担当教員	桂川 久
講義コード	1120201	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL211							

授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標の(1)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標の(1)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(25%) 到達目標の(1)について、宿題の実施を評価する。(15%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(10%)

欠席・遅刻・早退の合計が授業数の3分の1を越えた場合、評価の対象としない。

授業外学習

完璧に覚えるための復習方法：

1. 重要な文法事項を理解しながらフランス語を正確に日本語に訳せるようにする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラッシュ！(三訂版)	三上純子, 他	駿河台出版社	978-4-411-01132-9 C1085
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！[改訂新版]	清岡 智比古	白水社	9784560088517
2				
3				

NHKラジオ『まいにちフランス語(入門編)』(ネット上でも聞ける)は私の知る限り、初級の独習用教材としてはベストです。

前提学力等

フランス語IA, IBの単位を取得済みであること。

履修資格

講義名	フランス語 B (中級コース) (火3限)						担当教員	桂川 久
講義コード	1120202	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL212							

授業概要

フランス語による基本的なコミュニケーション能力の習得を目標に、教科書に沿って、初級コースで学んだことを復習しながら、フランス語を聞き・話し・読み・書く能力を、できるだけバランス良く伸ばすことを目標とする。

到達目標

- (1) 基本的なフランス語を聞き、読み、書けるようにする。
- (2) 基本的なフランス語を話せるようにする。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標の(1)について、リスニングを含む筆記試験を実施する。(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標の(1)について、中間テスト(リスニングを含む筆記試験)を実施する。(25%) 到達目標の(1)について、宿題の実施を評価する。(15%) 到達目標の(2)について、口頭試験を実施する。(10%)

欠席・遅刻・早退の合計が授業数の3分の1を越えた場合、評価の対象としない。

授業外学習

完璧に覚えるための復習方法：

1. 重要な文法事項を理解しながらフランス語を正確に日本語に訳せるようにする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラッシュ！(三訂版)	三上純子, 他	駿河台出版社	978-4-411-01132-9 C1085
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フラ語入門、わかりやすいにもホドがある！[改訂新版]	清岡 智比古	白水社	9784560088517
2				
3				

NHKラジオ『まいにちフランス語(入門編)』(ネット上でも聞ける)は私の知る限り、初級の独習用教材としてはベストです。

前提学力等

フランス語IA, IBの単位を取得済みであること。

履修資格

講義名	中国語 A (初級コース) (水4限)						担当教員	桜木 陽子
講義コード	1120251	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL121							

授業概要

この授業では、中国大陸で標準語として使われている「普通話」(いわゆる中国語)を学習します。

日本語の環境で育った人にとって、中国語を学習することは、漢字を一から覚えなくて良いという有利な点と、日本語にない発音を聞き取って発音しなくてはならないという不利な点があります。

皆さんは中国語が音楽のように聞こえるという体験をしたことはありませんか? その“音楽”を意味のある“言葉”として聞き取るために、まず乗り越えなくてはならない壁は、「普通話」の発音記号である「ピンイン」の読み方と、「声調」と呼ばれる漢字の発音のリズムをマスターすることで、その次に中国大陸で使われている漢字の字体「簡体字」に慣れることです。

授業では始めに声調とピンインの読み方を学習し、発音の習得につとめます。
声調とピンインの読み方を一通り学習し終わったら、次に会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。

到達目標

- (1)中国語の発音の基礎を固める。特に発音記号であるピンインが読めるようになる。
- (2)中国語で自分の名前が書いて、言えるようになる。
- (3)中国語の挨拶言葉や簡単な会話ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題		
上記以外	30	出席点、平常点、小テスト等

基本的に授業の三分の二以上出席した受講生が評価の対象となりますが、三分の二以上休んだ場合でも、入院など出席できない正当な理由がある場合は、評価の対象として認めることがありますので、その場合は申し出てください。

授業外学習

具体的には授業中に指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級中国語 この1冊 - 4技能の習得を目指して -	丸尾誠・勝川裕子・李軼倫 著	金星堂	
2				
3				

辞書等は授業中に指示します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示します。

前提学力等

この授業は、日本語を母語とする学生で、これまで全く中国語を学習した経験のない人を対象としています。中国語を母語とする人は、留学生でなくても受講はできません。

履修資格

講義名	中国語 B (初級コース) (水4限)						担当教員	桜木 陽子
講義コード	1120252	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL122							

授業概要

この授業では、前期に引き続いて、会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。
前期の続きからはじめます。
1年を通じて中国語の基本的な会話力を養成します。

到達目標

中国語の簡単な会話が聞き取れ、読み取れ、書き取れ、話せるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題		
上記以外	30	出席点、平常点、小テストなど

基本的に授業の三分の二以上出席した者が評価の対象となります。

授業外学習

具体的には授業中に指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級中国語 この1冊 - 4技能の習得を目指して -	丸尾誠・勝川裕子・李軼倫 著	金星堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示します。

前提学力等

再履修以外の受講生は、前期の授業を履修していることが望ましい。
その他は前期と同様。

履修資格

講義名	中国語 A (初級コース) (水1限)						担当教員	林 虹
講義コード	1120271	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL121							

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだり、発音の練習したりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 正確な発音を身につけること (ピンインができる)
- (2) あいさつなど簡単な日常会話ができること
- (3) 自分のお名前を中国語で言えること

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	定期試験を実施する。
レポート課題	30	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。 宿題、小テストを随時に行う。
上記以外		

特別な理由以外に毎回出席することを望む。

授業外学習

予習と復習は毎回30分ずつする習慣をつけてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「ジョイフル中国語――初級編」	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

初回授業に持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に伝える。

前提学力等

初めて中国語を習う学生のためのクラスです。

履修資格

講義名	中国語 B (初級コース) (水1限)						担当教員	林 虹
講義コード	1120272	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL122							

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教師の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだり、発音練習したりして、教師と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 簡単な日常会話ができること

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	定期試験を実施する。
レポート課題	30	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。 宿題、小テストを随時に行う。
上記以外		

特別な理由以外に毎回授業に出席することを望む。

授業外学習

予習と復習は毎回30分ずつする習慣をつけてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語-初級編	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に伝える。

前提学力等

基本的に中国語 Aを履修した。

履修資格

講義名	中国語 A (初級コース) (水2限)						担当教員	唐 楽寧
講義コード	1120281	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL121							

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教員の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教員と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	(1) 文法を理解すること 40% (2) 語彙を覚えること 10% (3) 正確な発音を身につけること 10%
レポート課題	30	授業の取り組み姿勢や宿題のでき具合、小テストのでき具合、課題などを持って総合的に評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語 - 初級編	呉凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 B (初級コース) (水2限)						担当教員	唐 楽寧
講義コード	1120282	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL122							

授業概要

中国語への導入のための基礎知識の習得をし、発音、会話、単語、基本文法を中心に、教員の説明を聞きながら、考えたり、書き込んだりして、教員と一体になって授業を進めていく。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 正確な発音を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	(1) 文法を理解すること (2) 語彙を覚えること (3) 正確な発音を身につけること
レポート課題	30	授業の取り組み姿勢や宿題のでき具合、小テストのでき具合、課題などを持って総合的に評価する。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語 - 初級編	呉凌非	郁文堂	978-4-261-01865-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	中国語 A (初級コース) (水3限)						担当教員	桜木 陽子
講義コード	1120311	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL121							

授業概要

この授業では、中国大陸で標準語として使われている「普通話」(いわゆる中国語)を学習します。

日本語の環境で育った人にとって、中国語を学習することは、漢字を一から覚えなくて良いという有利な点と、日本語にない発音を聞き取って発音しなくてはならないという不利な点があります。

皆さんは中国語が音楽のように聞こえるという体験をしたことはありませんか? その“音楽”を意味のある“言葉”として聞き取るために、まず乗り越えなくてはならない壁は、「普通話」の発音記号である「ピンイン」の読み方と、「声調」と呼ばれる漢字の発音のリズムをマスターすることで、その次に中国大陸で使われている漢字の字体「簡体字」に慣れることです。

授業では始めに声調とピンインの読み方を学習し、発音の習得につとめます。
声調とピンインの読み方を一通り学習し終わったら、次に会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。

到達目標

- (1)中国語の発音の基礎を固める。特に発音記号であるピンインが読めるようになる。
- (2)中国語で自分の名前が書いて、言えるようになる。
- (3)中国語の挨拶言葉や簡単な会話ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題		
上記以外	30	出席点、平常点、小テスト等

基本的に授業の三分の二以上出席した受講生が評価の対象となりますが、三分の二以上休んだ場合でも、入院など出席できない正当な理由がある場合は、評価の対象として認めることがありますので、その場合は申し出てください。

授業外学習

具体的には授業中に指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級中国語 この1冊 - 4技能の習得を目指して -	丸尾誠・勝川裕子・李軼倫 著	金星堂	
2				
3				

辞書等は授業中に指示します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示します。

前提学力等

この授業は、日本語を母語とする学生で、これまで全く中国語を学習した経験のない人を対象としています。中国語を母語とする人は、留学生でなくても受講はできません。

履修資格

講義名	中国語 B (初級コース) (水3限)						担当教員	桜木 陽子
講義コード	1120312	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL122							

授業概要

この授業では、前期に引き続いて、会話文を中心に、中国語の基本文法を学習します。
前期の続きからはじめます。
1年を通じて中国語の基本的な会話力を養成します。

到達目標

中国語の簡単な会話が聞き取れ、読み取れ、書き取れ、話せるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	
レポート課題		
上記以外	30	出席点、平常点、小テストなど

基本的に授業の三分の二以上出席した者が評価の対象となります。

授業外学習

具体的には授業中に指示します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初級中国語 この1冊 - 4技能の習得を目指して -	丸尾誠・勝川裕子・李軼倫 著	金星堂	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に指示します。

前提学力等

再履修以外の受講生は、前期の授業を履修していることが望ましい。
その他は前期と同様。

履修資格

講義名	中国語 A (中級コース) (火1限)						担当教員	唐 楽寧
講義コード	1120336	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

この授業は学生が中国語 A・Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連 性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	授業の取り組み姿勢、小テスト、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語 を履修されていることが望ましい。

履修資格

講義名	中国語 B (中級コース) (火1限)						担当教員	唐 楽寧
講義コード	1120337	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

この授業は学生が中国語コミュニケーション Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて評点します。
レポート課題	25%	授業の取り組み姿勢、小テスト、課題などを総合的に評点します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語 A, Bと中国語 Aを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	中国語 A (中級コース) (火2限)						担当教員	唐 楽寧
講義コード	1120346	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

この授業は学生が中国語 A・Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連 性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて判断します。
レポート課題	25%	授業の取り組み姿勢、小テスト、課題提出などに基づいて評価します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語 を履修されていることが望ましい。

履修資格

講義名	中国語 B (中級コース) (火2限)						担当教員	唐 楽寧
講義コード	1120347	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

この授業は学生が中国語コミュニケーション Bを履修することを条件とします。授業は中国語の文法を最新の文法理論に基づいて、より細かく解説し、その文法内容に関連性の強い内容を文章に選び、それをわかりやすく説明し、その説明を踏まえて、受講生同士がディスカッションを交えながら意見を述べるという流れで進めていきます。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること
- (4) 宿題を提出すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	75%	定期試験のでき具合に基づいて評点します。
レポート課題	25%	授業の取り組み姿勢、小テスト、課題などを総合的に評点します。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

中国語 A, Bと中国語 Aを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	中国語 A (中級コース) (火3限)						担当教員	林 虹
講義コード	1120406	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL221							

授業概要

中国語 において習得した基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語の文章の読解力を高めていく。同時に、中国の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。

到達目標

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	定期試験を実施する。
レポート課題	30	出席、授業態度、課題提出などに基づいて評価します。 宿題、小テストを随時に行う。
上記以外		

特別な理由以外に毎回授業に出席することを望む。

授業外学習

予習及び復習は毎回30分ずつする習慣をつけてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に伝える。

前提学力等

中国語 A、中国語 Bを履修した上で、本科目を履修することが望ましい。

履修資格

講義名	中国語 B (中級コース) (火3限)						担当教員	林 虹
講義コード	1120407	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL222							

授業概要

中国語 において習った基礎知識を生かして、日本語と比較しながら、中国語文章の読解力を高めていく。同時に中国語の文化、自然、人情などについて映像を取り入れて紹介する。

到達目標

- (1) 文法を理解すること
- (2) 語彙を覚えること
- (3) 文章の読解力を身につけること

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70	定期試験を実施する。
レポート課題	30	出席、授業態度、課題などを総合的に評点する。 宿題、小テストを随時に行う。
上記以外		

特別な理由以外に毎回授業に出席することを望む。

授業外学習

予習及び復習は毎回30分ずつする習慣を身につけてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ジョイフル中国語	呉 凌非	郁文堂	978-4-261-01858-5
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に伝える。

前提学力等

中国語 A, B を履修した上で、本科目を学ぶことが望ましい。

履修資格

講義名	朝鮮語 A (初級コース) (水2限)						担当教員	呉 賢欄
講義コード	1120411	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL131							

授業概要

朝鮮語の構文(文の構造)は日本語と非常によく似ているので、学びやすい言語です。しかし、ハングル(朝鮮語独自の文字)で表記された形と、実際の発音との間にはかなりの相違があります。この文字表記と実際の発音との間の相違は、その大部分が体系的なものです。したがって、教科書に沿って練習を重ねていけば、そのうち正確に発音できるようになります。ハングルで表記された語を正確に発音できるようになることが、効果的に朝鮮語学習を進めるうえで、とても大切であって、朝鮮語学習の成否を決するともいえます。授業では、まず朝鮮語の文字(ハングル)と発音を重点的に学びます。実際に口に出して単語の発音を繰り返し練習するなど、時間をかけて文字と発音をしっかり身につけるようにします。

文字と発音に習熟したあと、基本的な文法事項を学びます。教科書の解説を理解したうえで、文を繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかります。その際、2人ずつペアになって、対話文を読み合わせて発音や文の構造に習熟するようにします。「朝鮮語1A」では教科書の第1課から第8課までを学びます。

到達目標

- (1) 個々のハングル字母(朝鮮語独自の文字)の書き方と、その発音に習熟する。
- (2) ハングルで表記された語や文を音韻規則に沿って正確に発音できるようになる。
- (3) 基礎語彙を習得する。
- (4) 教科書に沿って、基礎的な構文や文法事項を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	定期試験(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	授業時間中に実施する小テスト(40%) 授業中の学習態度や、受講に臨む積極性(10%)

基本的に、授業回数の3分の2以上を出席した受講生が、評価の対象となります。

授業外学習

90分程度の予習と90程度の復習を毎回続けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ことばの架け橋 精選版	小越直樹、三ツ井崇、チョ・ヒチヨル	白帝社	ISBN978-4-86398-406-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰他	白水社	ISBN4-560-00091-3
2				
3				

前提学力等

初めて朝鮮語を学ぶ学生のためのクラスです。

履修資格

講義名	朝鮮語 B (初級コース) (水2限)						担当教員	呉 賢欄
講義コード	1120412	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL132							

授業概要

前期の「朝鮮語 1 A」に引き続き、教科書の第9課から第16課(最終課)までを学びます。前期に引き続き、朝鮮語の表記と発音にも留意しながら、さらに学習段階を高めます。特に、用言(動詞・形容詞・存在詞・指定詞)の連用形や連体形、用言の変則活用、時制、助詞、接続語尾、終結語尾など、基本的な文法事項や構文を網羅して学びます。また、よく用いられる慣用表現を習得します。

授業では2人ずつペアになって対話文の練習をするなど、口頭練習を通じて学習内容の定着を図ります。また、言語習得の基本である基礎語彙の習得にも力を注ぎます。

この授業を通じて、朝鮮語の基礎をしっかりと身に付け、2年次の「朝鮮語 A」での学習につながる能力を養うようにします。

到達目標

- (1) 朝鮮語の文が滑らかに読めるようにします。
- (2) 朝鮮語の基礎語彙を習得します。
- (3) 用言の連用形・連体形、変則活用などを習得し、朝鮮語の構文、文法の基礎をマスターします。
- (4) 朝鮮語の基礎をマスターしつつ、ごく簡単な会話ができるようになることを目標とします。
- (5) 基礎的な接続語尾・終結語尾・助詞や慣用表現などを用いた簡単な会話ができるようになることを目標とします。
- (6) 上記の基礎的能力を身に付けることによって、2年次の「朝鮮語 A・B」の学習につながるようにします。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	定期試験(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	授業時間中に実施する小テスト(40%) 授業中の学習態度や、受講に臨む積極性(10%)

基本的に、授業回数の3分の2以上を出席した受講生が、評価の対象となります。

授業外学習

90分程度の予習と90分程度の復習を毎回続けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ことばの架け橋 精選版	小越直樹、三ツ井崇、チョ・ヒチヨル	白帝社	ISBN978-4-86398-406-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰他	白水社	ISBN4-560-00091-3
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A (初級コース) の既習者であること。

履修資格

講義名	朝鮮語 A (初級コース) (水3限)						担当教員	呉 賢欄
講義コード	1120421	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL131							

授業概要

朝鮮語の構文(文の構造)は日本語と非常によく似ているので、学びやすい言語です。しかし、ハングル(朝鮮語独自の文字)で表記された形と、実際の発音との間にはかなりの相違があります。この文字表記と実際の発音との間の相違は、その大部分が体系的なものです。したがって、教科書に沿って練習を重ねていけば、そのうち正確に発音できるようになります。ハングルで表記された語を正確に発音できるようになることが、効果的に朝鮮語学習を進めるうえで、とても大切であって、朝鮮語学習の成否を決するともいえます。

授業では、まず朝鮮語の文字(ハングル)と発音を重点的に学びます。実際に口に出して単語の発音を繰り返し練習するなど、時間をかけて文字と発音をしっかり身につけるようにします。

文字と発音に習熟したあと、基本的な文法事項を学びます。教科書の解説を理解したうえで、文を繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかります。その際、2人ずつペアになって、対話文を読み合わせて発音や文の構造に習熟するようにします。「朝鮮語1A」では教科書の第1課から第8課までを学びます。

到達目標

- (1) 個々のハングル字母(朝鮮語独自の文字)の書き方と、その発音に習熟する。
- (2) ハングルで表記された語や文を音韻規則に沿って正確に発音できるようになる。
- (3) 基礎語彙を習得する。
- (4) 教科書に沿って、基礎的な構文や文法事項を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	定期試験(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	授業時間中に実施する小テスト(40%) 授業中の学習態度や、受講に臨む積極性(10%)

基本的に、授業回数の3分の2以上を出席した受講生が、評価の対象となります。

授業外学習

90分程度の予習と90程度の復習を毎回続けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ことばの架け橋 精選版	生越直樹・三ツ井崇・チヨ・ヒチョル	白帝社	ISBN978-4-86398-406-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰他	白水社	ISBN4-560-00091-3
2				
3				

前提学力等

初めて朝鮮語を学ぶ学生のためのクラスです。

履修資格

講義名	朝鮮語 B (初級コース) (水3限)						担当教員	呉 賢欄
講義コード	1120422	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101FRL132							

授業概要

前期の「朝鮮語 1 A」に引き続き、教科書の第9課から第16課(最終課)までを学びます。前期に引き続き、朝鮮語の表記と発音にも留意しながら、さらに学習段階を高めます。特に、用言(動詞・形容詞・存在詞・指定詞)の連用形や連体形、用言の変則活用、時制、助詞、接続語尾、終結語尾など、基本的な文法事項や構文を網羅して学びます。また、よく用いられる慣用表現を習得します。

授業では2人ずつペアになって対話文の練習をするなど、口頭練習を通じて学習内容の定着を図ります。また、言語習得の基本である基礎語彙の習得にも力を注ぎます。

この授業を通じて、朝鮮語の基礎をしっかりと身に付け、2年次の「朝鮮語 A」での学習につながる能力を養うようにします。

到達目標

- (1) 朝鮮語の文が滑らかに読めるようにします。
- (2) 朝鮮語の基礎語彙を習得します。
- (3) 用言の連用形・連体形、変則活用などを習得し、朝鮮語の構文、文法の基礎をマスターします。
- (4) 朝鮮語の基礎をマスターしつつ、ごく簡単な会話ができるようになることを目標とします。
- (5) 基礎的な接続語尾・終結語尾・助詞や慣用表現などをを用いた簡単な会話ができるようになることを目標とします。
- (6) 上記の基礎的能力を身に付けることによって、2年次の「朝鮮語 A・B」の学習につながるようにします。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	定期試験(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	授業時間中に実施する小テスト(40%) 授業中の学習態度や、受講に臨む積極性(10%)

基本的に、授業回数の3分の2以上を出席した受講生が、評価の対象となります。

授業外学習

90分程度の予習と90分程度の復習を毎回続けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ことばの架け橋 精選版	生越直樹・三ツ井崇・チヨ・ヒチョル	白帝社	ISBN978-4-86398-406-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰他	白水社	ISBN4-560-00091-3
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A (初級コース) の既習者であること。

履修資格

講義名	朝鮮語 A (初級コース) (水4限)						担当教員	呉 賢欄
講義コード	1120425	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

朝鮮語の構文(文の構造)は日本語と非常によく似ているので、学びやすい言語です。しかし、ハングル(朝鮮語独自の文字)で表記された形と、実際の発音との間にはかなりの相違があります。この文字表記と実際の発音との間の相違は、その大部分が体系的なものです。したがって、教科書に沿って練習を重ねていけば、そのうち正確に発音できるようになります。ハングルで表記された語を正確に発音できるようになることが、効果的に朝鮮語学習を進めるうえで、とても大切であって、朝鮮語学習の成否を決するともいえます。

授業では、まず朝鮮語の文字(ハングル)と発音を重点的に学びます。実際に口に出して単語の発音を繰り返し練習するなど、時間をかけて文字と発音をしっかりと身につけるようにします。

文字と発音に習熟したあと、基本的な文法事項を学びます。教科書の解説を理解したうえで、文を繰り返し練習しながら学習事項の定着をはかります。その際、2人ずつペアになって、対話文を読み合わせて発音や文の構造に習熟するようにします。「朝鮮語1A」では教科書の第1課から第8課までを学びます。

到達目標

- (1) 個々のハングル字母(朝鮮語独自の文字)の書き方と、その発音に習熟する。
- (2) ハングルで表記された語や文を音韻規則に沿って正確に発音できるようになる。
- (3) 基礎語彙を習得する。
- (4) 教科書に沿って、基礎的な構文や文法事項を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	定期試験(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	授業中に実施する小テスト(40%) 授業中の学習態度や、受講に臨む積極性(10%)

基本的に、授業回数の3分の2以上を出席した受講生が、評価の対象となります。

授業外学習

90分程度の予習と90程度の復習を毎回続けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ことばの架け橋 精選版	生越直樹・三ツ井崇・チヨ・ヒチョル	白帝社	ISBN978-4-86398-406-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰他	白水社	ISBN4-560-00091-3
2				
3				

前提学力等

初めて朝鮮語を学ぶ学生のためのクラスです。

履修資格

講義名	朝鮮語 B (初級コース) (水4限)						担当教員	呉 賢欄
講義コード	1120426	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

前期の「朝鮮語 1 A」に引き続き、教科書の第9課から第16課(最終課)までを学びます。前期に引き続き、朝鮮語の表記と発音にも留意しながら、さらに学習段階を高めます。特に、用言(動詞・形容詞・存在詞・指定詞)の連用形や連体形、用言の変則活用、時制、助詞、接続語尾、終結語尾など、基本的な文法事項や構文を網羅して学びます。また、よく用いられる慣用表現を習得します。

授業では2人ずつペアになって対話文の練習をするなど、口頭練習を通じて学習内容の定着を図ります。また、言語習得の基本である基礎語彙の習得にも力を注ぎます。

この授業を通じて、朝鮮語の基礎をしっかりと身に付け、2年次の「朝鮮語 A」での学習につながる能力を養うようにします。

到達目標

- (1) 朝鮮語の文が滑らかに読めるようにします。
- (2) 朝鮮語の基礎語彙を習得します。
- (3) 用言の連用形・連体形、変則活用などを習得し、朝鮮語の構文、文法の基礎をマスターします。
- (4) 朝鮮語の基礎をマスターしつつ、ごく簡単な会話ができるようになることを目標とします。
- (5) 基礎的な接続語尾・終結語尾・助詞や慣用表現などをを用いた簡単な会話ができるようになることを目標とします。
- (6) 上記の基礎的能力を身に付けることによって、2年次の「朝鮮語 A・B」の学習につながるようにします。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	定期試験(50%)
レポート課題		
上記以外	50%	授業時間中に実施する小テスト(40%) 授業中の学習態度や、受講に臨む積極性(10%)

基本的に、授業回数の3分の2以上を出席した受講生が、評価の対象となります。

授業外学習

90分程度の予習と90分程度の復習を毎回続けてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ことばの架け橋 精選版	生越直樹・三ツ井崇・チヨ・ヒチョル	白帝社	ISBN978-4-86398-406-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パスポート朝鮮語小辞典	熊谷明泰他	白水社	ISBN4-560-00091-3
2				
3				

前提学力等

朝鮮語 A (初級コース) の既習者であること。

履修資格

講義名	朝鮮語 A (中級コース) (火2限)						担当教員	崔 眞善
講義コード	1120431	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL231							

授業概要

「朝鮮語」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に重点を置く。

到達目標

簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	各課の内容に対する理解程度や中級レベルの作文、または読解能力を評価する
レポート課題	20%	授業内容の復習、必要な単語や慣用句などの暗記
上記以外	30%	出席を含め、授業中の発表、単語テストなどの小テスト

会話の練習や発表も評価の範囲に入るので3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

毎週会話や口頭発表があるので、テキストの内容を常に声を出して読んでみる練習をすること。授業中には積極的に参加すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語中級1講義ノート	李昌圭	白帝社	978-4-86398-157-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 B (中級コース) (火2限)						担当教員	崔 眞善
講義コード	1120432	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL232							

授業概要

「朝鮮語」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に重点を置く。

到達目標

簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	各課の内容に対する理解程度や中級レベルの作文、または読解能力を評価する
レポート課題	20%	授業内容の復習、必要な単語や慣用句などの暗記
上記以外	30%	出席を含め、授業中の発表、単語テストなどの小テスト

毎回の授業に会話練習や練習問題の口頭発表などがあるので、3分の1以上欠席の場合は、評価の対象としない。

授業外学習

常に声を出して読む練習をすること。
授業に積極的に参加すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語中級1 講義ノート	李昌圭	白帝社	978-4-86398-157-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 A (中級コース) (火3限)						担当教員	崔 眞善
講義コード	1120441	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL231							

授業概要

「朝鮮語」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に重点を置く。

到達目標

簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	各課の内容に対する理解程度や中級レベルの作文、または読解能力を評価する
レポート課題	20%	授業内容の復習、必要な単語や慣用句などの暗記
上記以外	30%	出席を含め、授業中の発表、単語テストなどの小テスト

会話の練習や発表も評価の範囲に入るので3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

毎週会話や口頭発表があるので、テキストの内容を常に声を出して読んでみる練習をすること。授業中には積極的に参加すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語中級1講義ノート	李昌圭	白帝社	978-4-86398-157-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	朝鮮語 B (中級コース) (火3限)						担当教員	崔 眞善
講義コード	1120442	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	201FRL232							

授業概要

「朝鮮語」で学習したことを基本として、より韓国・朝鮮語らしい表現、より複雑な表現を学ぶ。文化的な事柄に関する知識に基づいて日常会話で使える定型の表現パターンを練習する。実際のコミュニケーションに適用できる発音練習や文法の習得に重点を置く。

到達目標

簡単な会話が可能になるように読み、書きの練習をすることで、中級のレベルの会話力や表現力を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	各課の内容に対する理解程度や中級レベルの作文、または読解能力を評価する
レポート課題	20%	授業内容の復習、必要な単語や慣用句などの暗記
上記以外	30%	出席を含め、授業中の発表、単語テストなどの小テスト

毎回の授業に会話練習や練習問題の口頭発表などがあるので、3分の1以上欠席の場合は、評価の対象としない。

授業外学習

常に声を出して読む練習をすること。
授業に積極的に参加すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	韓国語中級1講義ノート	李昌圭	白帝社	978-4-86398-157-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本語 A						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120461	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101JPN101							

授業概要

この授業では、エッセイやレポート作成に必要とされる基本的文法事項を学ぶ。特に書き言葉に焦点を絞った文法表現、いいまわしを中心に演習問題を行う。また、論拠を提示した上で自分の意見を効果的に述べるができるよう論文の構成についても学ぶ。毎週、課題として授業で扱った文法事項に関する演習問題を解き、実際に論文を書く際に注意すべき点を確認する。

到達目標

- (1) レイアウト、段落切り、句読点の打ち方が統一された読者にとって読みやすい文章を書くことができる。
- (2) 正しい文の構造を学び、文法的正確さを維持することができる。
- (3) エッセイやレポートを書く際、根拠を提示しながら自分の意見を明確に述べるができる。
- (4) 論拠、論点を整然と展開し、明瞭にきちんとした構造を持ったテキストを書くことができる。
- (5) 接続詞を効果的に用いることで、関連性のある重要点を強調したり補助事項を付け加えたりして、論を展開することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	学期末レポート（到達目標1～5についてのレポート提出を課す）
上記以外	60	到達確認テスト40%（到達目標1、2についての筆記試験を行う） 宿題20%（毎週到達目標1、2、5についての演習問題を課す）

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語 B						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120462	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101JPN102							

授業概要

この授業では、大学でのレポートの書き方を学ぶ。読み手にとってわかりやすい構成について学び、実際にレポートを書く練習を行う。書き言葉特有の文法表現、いいまわしを学び、それらを効果的に使えるよう作文練習も行う。また、様々な分野の小論文、エッセイや新聞を読み、読解演習問題に取り組む。

到達目標

- (1) 様々な構成パターンや、幅広い結束手段を適切に使い、一貫性・結合性のあるレポートを書くことができる。
- (2) 読者に重点が分かるように適切で効果的に論理を構成することができる。
- (3) 強調したり、区別したり、曖昧さを排したりすることができる。
- (4) レイアウト、段落切り、句読点の打ち方が統一された読者にとって読みやすい文章を書くことができる。
- (5) 程度の副詞や限定を表す節などの修飾語句を正しく使うことで、意味を正確に伝えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	学期末レポート（到達目標1～5についてのレポート提出を課す）
上記以外	60	中間レポート40%（到達目標1～5についてのレポートの提出を課す） 宿題20%（毎回到達目標4、5についての演習問題を課す）

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語 A						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120471	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101JPN103							

授業概要

バランスのとれた日本語運用能力を高め、まとめる力、書く力、発表する力を身につける。また口頭発表と本格的な討論の力をつける。そのためにテーマに即したスピーチの練習をし、討論の意義およびその種類と実施方法を学ぶ。

到達目標

- (1) まとめる力・書く力を磨く。
- (2) 発表の力を養う。
- (3) 聞く力を磨く。
- (4) 論点の明確化・論証・論駁の方法に慣れる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題	30	
上記以外	40	発表20% 授業への参加度20%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	日本語 B						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120472	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101JPN104							

授業概要

バランスのとれた日本語運用能力を高め、まとめる力、書く力、発表する力を身につける。また口頭発表と本格的な討論の力をつける。そのためにテーマに即したスピーチの練習をし、討論の意義およびその種類と実施方法を学ぶ。

到達目標

- (1) まとめる力・書く力を磨く。
- (2) 発表の力を養う。
- (3) 聞く力を磨く。
- (4) 論点の明確化・論証・論駁の方法に慣れる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題	30	
上記以外	40	発表20% 授業への参加度20%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	日本語 A						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120481	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201JPN201							

授業概要

この授業では、書き言葉に焦点を絞った文法表現、いいまわしを中心に演習を行い、日本の大学で必要とされる基本的なレポートの書き方を身につける。

到達目標

- (1) レポートで使われる文法や表現を学び、効果的に使えるようになる。
- (2) 伝えたいことを明確に述べることができ、適切に要点を強調できる。
- (3) 重要な関連のある補足事項を取り上げて、論拠、論点を整然と展開して、レポートを書くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題	30	
上記以外	40	宿題20% 授業への参加度20%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語 B						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120482	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201JPN202							

授業概要

この授業では、書き言葉に焦点を絞った文法表現、いいまわしを中心に演習を行い、日本の大学で必要とされる基本的なレポートの書き方を身につける。

到達目標

- (1) レポートで使われる文法や表現を学び、効果的に使えるようになる。
- (2) 伝えたいことを明確に述べることができ、適切に要点を強調できる。
- (3) 重要な関連のある補足事項を取り上げて、論拠、論点を整然と展開して、レポートを書くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題	30	
上記以外	40	宿題20% 授業への参加度20%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語 A						担当教員	メルビル ケイコ オオヤ
講義コード	1120491	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201JPN205							

授業概要

様々な口頭発表が決められた時間内で、またコンピューターを使い聞き手にわかりやすい構成でアカデミックの単語、表現を使って発表できるようにする。
 クラスメイトと協働して文法、表現、構成を考え、理論的に口頭発表ができるようにする。
 様々な読み物を読み、その要旨を言えるようにし、また、そのトピックについて自分の意見をクラスメイトにしっかりと伝えられるようにする。
 異なる考え方も尊重しコミュニケーションを取れるようにする。
 グラフや表を使っている説明文を読んでグラフや表の説明を理解し、データの分析をクラスメイトと話し合いその分析が適切か考えられるようにする。
 身近なテーマで日本人にアンケート調査を行い、その結果をグラフや表にできるようにする。また、結果を分析し、考察、提案を日本語で発表し、質疑応答ができるようにする。

到達目標

- (1) 様々な口頭発表に慣れる。
- (2) アンケートを使った調査の方法を学び、結果を分析し考察を発表できるようになる。
- (3) データーから表やグラフなどの図が描けるようになる。
- (4) 様々な読み物を読み内容を正確に把握し、要旨をまとめ、クリティカルシンキングによって理論的に自分の意見を言えるようになる。
- (5) クラスメイトと協働的に課題に取り組み自己内省し自律的に学ぶことに慣れる。
- (6) 自分の考えを理解してもらうために情報を集められるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	構成の良さ 分かりやすさ (5%) 意見が書かれているか (5%) 字数や、形態が守られているか (5%)
上記以外	80%	単語・表現小テスト 20% アンケートを使った口頭発表 30% 授業の参加度 30%

授業時間数の3分の1以上欠席した者、またアンケートを使った調査の口頭発表を欠席した者は評価対象にしない。

課題の提出日を守る。

授業では予習をしてきたことを前提として授業を行うため、予習をしなくて授業に参加できなければ、参加点は満点にはならない。クラスメイトと

授業外学習

スピーチの準備をして指定された時間内で発表できるように練習しておくこと。
 授業の前に、読み物の課題の中でわからない漢字は読めるようにしておくこと。また、わからない単語は辞書で調べて理解しておくこと。難しい

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義で指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で適宜紹介する。

前提学力等

「実用日本語検定(J-TEST)B」程度、J-CAT 300点以上または「日本語能力試験(JLPT)N1」合格程度が望ましい。
 自分の意見を日本語で述べられることが望ましい。

履修資格

講義名	日本語 B						担当教員	メルビル ケイコ オオヤ
講義コード	1120492	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201JPN206							

授業概要

この授業ではクラスメイトと協働的に課題に取り組むことが多い。課題や授業内で様々な現代の社会問題について映像をみたり、読み物を読んだりし、その問題について理論的に自分の意見を言えるようにする。賛成、反対などの意見の主張の仕方を学び、身近な問題についてミニディベートを行う。最後に日本または、学生の出身国の社会問題をトピックとしたプレゼンテーションの構築の仕方を学び、それを発表する。また、発表を聞きながらメモを取り、質疑応答を行う仕方も練習する。

到達目標

- (1) デベートを通して、賛成、反対の意見の主張の仕方を学ぶ。
- (2) 様々な社会問題について、読解や映像を通して、背景を理解し、批判的思考を行い自分の意見を論理的に述べるようになる。
- (3) プレゼンテーションで使用する表現を学び、使えるようになる。
- (4) グラフを使ったスライドの作り方に慣れる。
- (5) 他者の発表を聞いてメモを取り、質疑応答の仕方を身につける。
- (6) 自分のプレゼンテーションを自己評価し、改善できるようになる。
- (7) クラスメイトと協働的に課題に取り組む自己内省し自律的に学ぶことに慣れる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20%	構成の良さ 分かりやすさ (5%) 意見が書かれているか (5%) 字数が守られているか。文法と表現の正確さ (7%)
上記以外	60%	授業内でのショートスピーチとクイズ 20% 社会問題についての最終口頭発表 30% 授業の参加度 30%

授業時間数の3分の1以上欠席した者、また社会問題の最終口頭発表を欠席した者は評価対象にしない。

課題の提出日を守る。

授業では予習をしてきたことを前提として授業を行うため、予習をしなくて授業に積極的に参加できなければ、参加点は減点される。

授業外学習

スピーチの準備をして指定された時間内で原稿を読まずに発表できるように練習していただくこと。

授業の前に、映像や読み物の課題の中でわからない漢字は読めるようにしておくこと。また、わからない単語は辞書で調べて理解しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義で指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で適宜紹介する。

前提学力等

「実用日本語検定(J-TEST)B」程度、J-CAT 300点以上または「日本語能力試験(JLPT)N1」合格程度が望ましい。
自分の意見を日本語で述べられることが望ましい。

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火1限)						担当教員	Oliver Cakebread-Andrews
講義コード	1120730	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

The aim of this course is to develop your abilities to give various kinds of presentations in English. You will learn presentation techniques using PowerPoint, FlipGrid etc. through various exercises as pair and group work.

到達目標

- (1) Students will be able to give presentations in English at various levels of discourse.
- (2) Students will practice making themselves understandable to their audience.
- (3) Students will be able to present following a logical structure.
- (4) Students will acquire the vocabulary necessary for their presentations.
- (5) Students will improve their listening skills and be able to ask pertinent questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	15	Final presentation
レポート課題	45	Midterm presentations (3 x 15%)
上記以外	40	Homework (20%); Participation (20%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before. The homework will basically be to prepare for the next presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	National Geographic Learning	978-4-86312-351-9
2				
3				

Make sure to bring at least your smartphones, and I would recommend a tablet or laptop too.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火1限)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120731	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

This class teaches English presentation techniques to help students understand presentations as a tool for communicating their ideas and arguments to others. Through exercises, students will be guided to plan and create their own presentations in English and to develop the ability to speak in English with appropriate pauses, emphasis, and intonation. Students will also be encouraged to develop a positive attitude in expressing their reactions and asking questions about the content of others' presentations.

到達目標

- (1) To understand a basic overview of presentations as a tool for communication.
- (2) To be able to write one's thoughts and arguments accurately and effectively in English for presentations.
- (3) To be able to deliver one's ideas and arguments accurately and effectively in English presentations.
- (4) To understand the content of presentations in English and be able to ask questions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Goals (1),(2),(3), and (4): Evaluated by class presentations (25%) Goals (1),(2),(3), and (4): Evaluated through submission of assignments, participation in weekly activities, quizzes, etc. (75%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Listen to the audio files and watch the videos that come with the textbook, or watch the presentation videos on You Tube, etc., and use them as reference for your own presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present: A Guide to Better Presentations	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	センゲージラーニング	9784863123519
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火2限)						担当教員	Oliver Cakebread-Andrews
講義コード	1120732	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

The aim of this course is to develop your abilities to give various kinds of presentations in English. You will learn presentation techniques using PowerPoint, FlipGrid etc. through various exercises as pair and group work.

到達目標

- (1) Students will be able to give presentations in English at various levels of discourse.
- (2) Students will practice making themselves understandable to their audience.
- (3) Students will be able to present following a logical structure.
- (4) Students will acquire the vocabulary necessary for their presentations.
- (5) Students will improve their listening skills and be able to ask pertinent questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	15	Final presentation
レポート課題	45	Midterm presentations (3 x 15%)
上記以外	40	Homework (20%); Participation (20%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before. The homework will basically be to prepare for the next presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	National Geographic Learning	978-4-86312-351-9
2				
3				

Make sure to bring at least your smartphones, and I would recommend a tablet or laptop too.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火2限)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120733	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

This class teaches English presentation techniques to help students understand presentations as a tool for communicating their ideas and arguments to others. Through exercises, students will be guided to plan and create their own presentations in English and to develop the ability to speak in English with appropriate pauses, emphasis, and intonation. Students will also be encouraged to develop a positive attitude in expressing their reactions and asking questions about the content of others' presentations.

到達目標

- (1) To understand a basic overview of presentations as a tool for communication.
- (2) To be able to write one's thoughts and arguments accurately and effectively in English for presentations.
- (3) To be able to deliver one's ideas and arguments accurately and effectively in English presentations.
- (4) To understand the content of presentations in English and be able to ask questions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Goals (1),(2),(3), and (4): Evaluated by class presentations (25%) Goals (1),(2),(3), and (4): Evaluated through submission of assignments, participation in weekly activities, quizzes, etc. (75%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Listen to the audio files and watch the videos that come with the textbook, or watch the presentation videos on You Tube, etc., and use them as reference for your own presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present: A Guide to Better Presentations	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	センゲージラーニング	9784863123519
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火2限)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1120734	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

This course is designed to develop students' communication and English language skills in order to create and deliver an effective presentation. It provides students with the basic tools and practices necessary to prepare and present their own ideas with confidence in English. Students will acquire knowledge on the features of an effective presentation, verbal and non-verbal communication in a presentation, and how to apply these skills to deliver or attend a presentation in English with confidence.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Identify features of an effective presentation and integrate them in a presentation
2. Use slides and visual aids effectively to deliver an enthusiastic and well-practiced presentation
3. Provide constructive feedback and ask relevant questions to a presenter
4. Deal with nerves and think more positively about public speaking

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	Mid-term presentation (30%) End-of-term presentation (50%)
レポート課題		
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

This course is focused on presentation skills and I recommend personal studies on how to prepare and give effective presentations.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen, Malcolm Kostiuik	National Geographic Learning	978-4-86312-351-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火2限)						担当教員	未定*
講義コード	1120735	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

This class is an introduction to persuasive writing. Students will learn what persuasive writing is and write on a variety of topics. We will also do pre- and post-writing activities like word maps, outlines, and peer review. Students will also give presentation on some of the writing topics from this class.

到達目標

Students will be able to speak English with good pronunciation, fluency, and good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary and sentence patterns). Their English will also be grammatically correct.

Students will be able to write grammatically correct, complex sentences and paragraphs that are spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Bring a dictionary or use your smartphone as a dictionary in this class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火3限)						担当教員	Oliver Cakebread-Andrews
講義コード	1120736	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

The aim of this course is to develop your abilities to give various kinds of presentations in English. You will learn presentation techniques using PowerPoint, FlipGrid etc. through various exercises as pair and group work.

到達目標

- (1) Students will be able to give presentations in English at various levels of discourse.
- (2) Students will practice making themselves understandable to their audience.
- (3) Students will be able to present following a logical structure.
- (4) Students will acquire the vocabulary necessary for their presentations.
- (5) Students will improve their listening skills and be able to ask pertinent questions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	15	Final presentation
レポート課題	45	Midterm presentations (3 x 15%)
上記以外	40	Homework (20%); Participation (20%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before. The homework will basically be to prepare for the next presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	National Geographic Learning	978-4-86312-351-9
2				
3				

Make sure to bring at least your smartphones, and I would recommend a tablet or laptop too.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火3限)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1120737	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

This course is designed to develop students' communication and English language skills in order to create and deliver an effective presentation. It provides students with the basic tools and practices necessary to prepare and present their own ideas with confidence in English. Students will acquire knowledge on the features of an effective presentation, verbal and non-verbal communication in a presentation, and how to apply these skills to deliver or attend a presentation in English with confidence.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Identify features of an effective presentation and integrate them in a presentation
2. Use slides and visual aids effectively to deliver an enthusiastic and well-practiced presentation
3. Provide constructive feedback and ask relevant questions to a presenter
4. Deal with nerves and think more positively about public speaking

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	Mid-term presentation (30%) End-of-term presentation (50%)
レポート課題		
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

This course is focused on presentation skills and I recommend personal studies on how to prepare and give effective presentations.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen, Malcolm Kostiuik	National Geographic Learning	978-4-86312-351-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火3限)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1120738	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

どの言語であれ、昨今プレゼンテーションを行う機会は増えてきているように思いますが、一度やってみるとその難しさや奥深さに気づかされるかもしれません。しかし、実際のところ、プレゼンのノウハウを知った上で経験を積んでいけば向上が見込めるものでもあると言えます。本授業は、「何」を「どのように」話すかというスキルを様々なアクティビティによって養っていくことで、英語によるプレゼンテーション能力の向上に努めることを目的としています。

到達目標

- (1) 英語のプレゼンテーション能力の向上
、アウトプットすることが出来るようになる
- (2) プレゼンテーションに関するノウハウを体得する
(3) 自分の考えを英語で整理し

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		成績評価備考を参照

40% 授業の出席及び参加
20% 授業内の課題
40% プレゼンテーション

授業外学習

ディスカッションやプレゼンテーションの「場数」をたくさん踏むこととなりますので、是非オープンな姿勢で授業に取り組んでもらえれば幸いです。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen, Malcolm Kostiuk	National Geographic Learning	9784863123519
2				
3				

英和辞書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 A (火3限)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1120739	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	201ENG207							

授業概要

In this class, students will build on current skills in using English for:

- making informal and formal presentations more interesting and appealing
- using a wide range of eye contact, gesture and voice control strategies
- talking confidently and answering questions about familiar, popular, globally important and and difficult topics
- using pictures and design to influence how your audience feel about a topic.

到達目標

- (1) To understand a basic overview of presentations as a tool for communication.
- (2) To be able to write one's thoughts and arguments confidently and effectively in English for use in presentations.
- (3) To be able to deliver one's ideas and arguments confidently and effectively in presentations in English
- (4) To understand the content of presentations in English and be able to ask questions in English.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	Concept quizzes (20%)
レポート課題	20	Written scripts x4 (5%x4=20%)
上記以外	60	Presentations x4 (15%x4=60%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present: A Guide to Better Presentations.	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	Cengage Learning	9784863123519
2				
3				

Bring your textbook and a device for research. It is also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火1限)						担当教員	Oliver Cakebread-Andrews
講義コード	1120740	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

The aim of this course is to develop your abilities to give various kinds of presentations in English. You will learn presentation techniques using PowerPoint, FlipGrid etc. through various exercises as pair and group work.

到達目標

- (1) Students will be able to give presentations in English at various levels of discourse.
- (2) Students will practice making themselves understandable to their audience.
- (3) Students will be able to present following a logical structure.
- (4) Students will acquire the vocabulary necessary for their presentations.
- (5) Students will improve their listening skills and be able to ask pertinent questions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	15	Final presentation
レポート課題	45	Midterm presentations (3 x 15%)
上記以外	40	Homework (20%); Participation (20%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before. The homework will basically be to prepare for the next presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	National Geographic Learning	978-4-86312-351-9
2				
3				

Make sure to bring at least your smartphones, and I would recommend a tablet or laptop too.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火1限)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120741	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

This class continuously teaches English presentation techniques to help students understand presentations as a tool for communicating their ideas and arguments to others. Through exercises, students will be guided to plan and create their own presentations in English and to develop the ability to speak in English with appropriate pauses, emphasis, and intonation. Students will also be encouraged to develop a positive attitude and various skills in expressing their reactions and asking questions about the content of others' presentations.

到達目標

- (1) To understand a basic overview of presentations as a tool for communication.
- (2) To be able to write one's thoughts and arguments accurately and effectively in English for presentations.
- (3) To be able to deliver one's ideas and arguments accurately and effectively in English presentations.
- (4) To understand the content of presentations in English and be able to ask questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Goals (1),(2),(3), and (4): Evaluated by class presentations (25%) Goals (1),(2),(3), and (4): Evaluated through submission of assignments, participation in weekly activities, quizzes, etc. (75%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Listen to the audio files and watch the videos that come with the textbook, or watch the presentation videos on You Tube, etc., and use them as reference for your own presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present: A Guide to Better Presentations	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	センゲージラーニング	9784863123519
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火2限)						担当教員	Oliver Cakebread-Andrews
講義コード	1120742	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

The aim of this course is to develop your abilities to give various kinds of presentations in English. You will learn presentation techniques using PowerPoint, FlipGrid etc. through various exercises as pair and group work.

到達目標

- (1) Students will be able to give presentations in English at various levels of discourse.
- (2) Students will practice making themselves understandable to their audience.
- (3) Students will be able to present following a logical structure.
- (4) Students will acquire the vocabulary necessary for their presentations.
- (5) Students will improve their listening skills and be able to ask pertinent questions.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	15	Final presentation
レポート課題	45	Midterm presentations (3 x 15%)
上記以外	40	Homework (20%); Participation (20%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before. The homework will basically be to prepare for the next presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	National Geographic Learning	978-4-86312-351-9
2				
3				

Make sure to bring at least your smartphones, and I would recommend a tablet or laptop too.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火2限)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1120743	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

This class continuously teaches English presentation techniques to help students understand presentations as a tool for communicating their ideas and arguments to others. Through exercises, students will be guided to plan and create their own presentations in English and to develop the ability to speak in English with appropriate pauses, emphasis, and intonation. Students will also be encouraged to develop a positive attitude and various skills in expressing their reactions and asking questions about the content of others' presentations.

到達目標

- (1) To understand a basic overview of presentations as a tool for communication.
- (2) To be able to write one's thoughts and arguments accurately and effectively in English for presentations.
- (3) To be able to deliver one's ideas and arguments accurately and effectively in English presentations.
- (4) To understand the content of presentations in English and be able to ask questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	Goals (1),(2),(3), and (4): Evaluated by class presentations (25%) Goals (1),(2),(3), and (4): Evaluated through submission of assignments, participation in weekly activities, quizzes, etc. (75%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Listen to the audio files and watch the videos that come with the textbook, or watch the presentation videos on You Tube, etc., and use them as reference for your own presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present: A Guide to Better Presentations	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	センゲージラーニング	9784863123519
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火2限)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1120744	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

This course is designed to develop students' communication and English language skills in order to create and deliver an effective presentation. It provides students with the basic tools and practices necessary to prepare and present their own ideas with confidence in English. Students will acquire knowledge on the features of an effective presentation, verbal and non-verbal communication in a presentation, and how to apply these skills to deliver or attend a presentation in English with confidence.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Identify features of an effective presentation and integrate them in a presentation
2. Use slides and visual aids effectively to deliver an enthusiastic and well-practiced presentation
3. Provide constructive feedback and ask relevant questions to a presenter
4. Deal with nerves and think more positively about public speaking

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	Mid-term presentation (30%) End-of-term presentation (50%)
レポート課題		
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present: A Guide to Better Presentations	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	センゲージラーニング	9784863123519
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火2限)						担当教員	未定*
講義コード	1120745	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

この授業では、プレゼンテーションのさまざまな型について理解し、より効果的かつ魅力的なプレゼンテーションを実施する力を養う。その過程において、正しい英語を書く力(ライティング)、正しく発音し、伝える力(スピーキング)、英語の参考文献を読む力(リーディング)、そして相手の発表を正しく聞き取る力(リスニング)という総合的な英語力の養成を行う。また、他者のプレゼンテーションを客観的に評価する力を養う。

到達目標

- (1) さまざまなプレゼンテーションのタイプについて理解する。
- (2) プレゼンテーションにおいて、英語で自分の考えや主張を正確かつ効果的に書くことができる。
- (3) プレゼンテーションにおいて、英語で自分の考えや主張を正確かつ効果的に伝えることができる。
- (4) 英語によるプレゼンテーションの内容を理解し、質問や意見を述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業を5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。また、3回の遅刻で欠席1回とみなす。授業中は携帯電話等の使用を認めない。授業外においてプレゼンテーションを行う機会は設けない為、発表当日は必ず出席すること。

授業外学習

テキスト付属の音声ファイルや動画を視聴したり、You Tube等でプレゼンテーションの動画を視聴し、プレゼンテーションの知識を深めるとともに、自分の発表の参考にすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Winning Presentations	Akira Morita他	成美堂	9784791934249
2				
3				

英和辞書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火3限)						担当教員	Oliver Cakebread-Andrews
講義コード	1120746	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

The aim of this course is to develop your abilities to give various kinds of presentations in English. You will learn presentation techniques using PowerPoint, FlipGrid etc. through various exercises as pair and group work.

到達目標

- (1) Students will be able to give presentations in English at various levels of discourse.
- (2) Students will practice making themselves understandable to their audience.
- (3) Students will be able to present following a logical structure.
- (4) Students will acquire the vocabulary necessary for their presentations.
- (5) Students will improve their listening skills and be able to ask pertinent questions.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	15	Final presentation
レポート課題	45	Midterm presentations (3 x 15%)
上記以外	40	Homework (20%); Participation (20%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before. The homework will basically be to prepare for the next presentation.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	National Geographic Learning	978-4-86312-351-9
2				
3				

Make sure to bring at least your smartphones, and I would recommend a tablet or laptop too.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火3限)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1120747	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

This course is designed to develop students' communication and English language skills in order to create and deliver an effective presentation. It provides students with the basic tools and practices necessary to prepare and present their own ideas with confidence in English. Students will acquire knowledge on the features of an effective presentation, verbal and non-verbal communication in a presentation, and how to apply these skills to deliver or attend a presentation in English with confidence.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Identify features of an effective presentation and integrate them in a presentation
2. Use slides and visual aids effectively to deliver an enthusiastic and well-practiced presentation
3. Provide constructive feedback and ask relevant questions to a presenter
4. Deal with nerves and think more positively about public speaking

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	Mid-term presentation (30%) End-of-term presentation (50%)
レポート課題		
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present: A Guide to Better Presentations	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuk	センゲージラーニング	9784863123519
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火3限)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1120748	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

どの言語であれ、昨今プレゼンテーションを行う機会は増えてきているように思いますが、一度やってみるとその難しさや奥深さに気づかされるかもしれません。しかし、実際のところ、プレゼンのノウハウを知った上で経験を積んでいけば向上が見込めるものでもあると言えます。本授業は、「何」を「どのように」話すかというスキルを様々なアクティビティによって養っていくことで、英語によるプレゼンテーション能力の向上に努めることを目的としています。

到達目標

- (1) 英語のプレゼンテーション能力の向上
、アウトプットすることが出来るようになる
- (2) プレゼンテーションに関するノウハウを体得する
(3) 自分の考えを英語で整理し

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	成績評価備考を参照

40% 授業の出席・参加
20% 授業内の課題
40% プレゼンテーション

授業外学習

ディスカッションやプレゼンテーションの「場数」をたくさん踏むこととなりますので、是非オープンな姿勢で授業に取り組んでもらえれば幸いです。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present	Herman Bartelen, Malcolm Kostiuk	National Geographic Learning	9784863123519
2				
3				

英和辞書を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	実用英語演習 B (火3限)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1120749	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG208							

授業概要

This course is designed to develop students' communication and English language skills in order to create and deliver an effective presentation. It provides students with the basic tools and practices necessary to prepare and present their own ideas with confidence in English. Students will acquire knowledge on the features of an effective presentation, verbal and non-verbal communication in a presentation, and how to apply these skills to deliver or attend a presentation in English with confidence.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

1. Identify features of an effective presentation and integrate them in a presentation
2. Use slides and visual aids effectively to deliver an enthusiastic and well-practiced presentation
3. Provide constructive feedback and ask relevant questions to a presenter
4. Deal with nerves and think more positively about public speaking

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	Mid-term presentation (30%) End-of-term presentation (50%)
レポート課題		
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.

2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Ready to Present: A Guide to Better Presentations	Herman Bartelen & Malcolm Kostiuik	センゲージラーニング	9784863123519
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初級) A						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120771	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG101							

授業概要

初級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N5に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において、意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。N5レベルの漢字(100字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	期末試験
レポート課題		
上記以外	80	授業内試験20%(到達目標2、4、5について筆記試験を行う。) 小テスト20%(到達目標1、3、5について、小テストを行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、2、4、5について、復習演習を課す。)

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパンタイムズ	978-4789014403
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパンタイムズ	978-4789014410
3				

便宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初級) B						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120772	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG102							

授業概要

初級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N5に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において、意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べるができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。N5レベルの漢字(100字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	期末試験
レポート課題		
上記以外	80	授業内試験20%(到達目標2、4、5について筆記試験を行う。) 小テスト20%(到達目標1、3、5について、小テストを行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、2、4、5について、復習演習を課す。)

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパンタイムズ	978-4789014403
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパンタイムズ	978-4789014410
3				

便宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初級) A						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120773	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG103							

授業概要

初級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N5に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において、意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べるができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。N5レベルの漢字(100字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	期末試験
レポート課題		
上記以外	80	授業内試験20%(到達目標2、4、5について筆記試験を行う。) 小テスト20%(到達目標1、3、5について、小テストを行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、2、4、5について、復習演習を課す。)

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムズ	978-4789014403
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムズ	978-4789014410
3				

便宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初級) B						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120774	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG104							

授業概要

初級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N5に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において、意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。N5レベルの漢字(100字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	期末試験
レポート課題		
上記以外	80	授業内試験20%(到達目標2、4、5について筆記試験を行う。) 小テスト20%(到達目標1、3、5について、小テストを行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、2、4、5について、復習演習を課す。)

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムズ	978-4789014403
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムズ	978-4789014410
3				

便宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初級) A						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120775	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG105							

授業概要

初級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N5に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において、意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。N5レベルの漢字(100字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	期末試験
レポート課題		
上記以外	80	授業内試験20%(到達目標2、4、5について筆記試験を行う。) 小テスト20%(到達目標1、3、5について、小テストを行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、2、4、5について、復習演習を課す。)

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパンタイムズ	978-4789014403
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパンタイムズ	978-4789014410
3				

便宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初級) B						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120776	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG106							

授業概要

初級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N5に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 授業で学んだ日常生活の場面において、意味がとれるように間を長くおきながら、非常にゆっくりと注意深く発音してもらえれば、発話を理解できる。
- (2) 非常に短い簡単なテキストを、身近な名前、単語や基本的な表現を一つずつ取り上げて、必要であれば読み直したりしながら、一文一節ずつ理解することができる。
- (3) 限られた日常生活の場面で簡単な方法でやり取りができる。ゆっくりとした繰り返し、言い換え、修正に全般的に頼ってコミュニケーションでき、質疑応答ができる。
- (4) 簡単な表現や文を書くことができる。人物や場所について、単純な字句を並べて、述べることができる。
- (5) ひらがな、カタカナの読み書きができるようになる。N5レベルの漢字(100字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	20	期末試験
レポート課題		
上記以外	80	授業内試験20%(到達目標2、4、5について筆記試験を行う。) 小テスト20%(到達目標1、3、5について、小テストを行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、2、4、5について、復習演習を課す。)

授業時間数の4分の1以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパンタイムズ	978-4789014403
2	げんき ワークブックI	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパンタイムズ	978-4789014410
3				

便宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

便宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初中級) A						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120777	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG107							

授業概要

初中級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通して、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N4に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 発話がはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域(例: 基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理)に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。
- (6) N4レベルの漢字(200字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	15	期末試験(到達目標2、4、6について筆記試験を行う)
レポート課題		
上記以外	85	授業内確認テスト(15%×3回)45%(到達目標2、4、6について筆記試験を行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、3、4、6について、復習問題を課す。) 小テスト20%(到達目標6について、小テストを行う。)

4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

適宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初中級) B						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120778	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG108							

授業概要

初中級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通して、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N4に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域(例: 基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理)に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。
- (6) N4レベルの漢字(200字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	15	期末試験(到達目標2、4、6について筆記試験を行う)
レポート課題		
上記以外	85	授業内確認テスト(15%×3回)45%(到達目標2、4、6について筆記試験を行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、3、4、6について、復習問題を課す。) 小テスト20%(到達目標6について、小テストを行う。)

4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

適宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初中級) A						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120779	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG109							

授業概要

初中級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通して、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N4に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 発話がはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域(例: 基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理)に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。
- (6) N4レベルの漢字(200字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	15	期末試験(到達目標2、4、6について筆記試験を行う)
レポート課題		
上記以外	85	授業内確認テスト(15%×3回)45%(到達目標2、4、6について筆記試験を行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、3、4、6について、復習問題を課す。) 小テスト20%(到達目標6について、小テストを行う。)

4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

適宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初中級) B						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120780	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG110							

授業概要

初中級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N4に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域(例: 基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理)に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。
- (6) N4レベルの漢字(200字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	15	期末試験(到達目標2、4、6について筆記試験を行う)
レポート課題		
上記以外	85	授業内確認テスト(15%×3回)45%(到達目標2、4、6について筆記試験を行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、3、4、6について、復習問題を課す。) 小テスト20%(到達目標6について、小テストを行う。)

4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

適宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初級) A						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120781	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG111							

授業概要

初級で学んだ基礎項目を復習しながら、4技能のバランスがとれた初中級レベルの日本語能力を養う。日常会話を練習し、初級より自然で円滑なコミュニケーションの方法を身につける。

到達目標

- (1) 日常生活において物事を説明する表現力を習得する。
- (2) 自分の考えが話せるように談話能力をつける。
- (3) 初級より複雑な、目的に合った日本語を運用できるようにする。
- (4) 文の構造と意味・機能を総合的に理解する力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題		
上記以外	70	小テスト25% 宿題20% 授業への参加度25%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	みんなの日本語初級 第2版		スリーエーネットワーク	9784883196036
2	みんなの日本語初級 第2版		スリーエーネットワーク	9784883196463
3				

初回授業で紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初級) B						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120782	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG112							

授業概要

初級で学んだ基礎項目を復習しながら、4技能のバランスがとれた初中級レベルの日本語能力を養う。日常会話を練習し、初級より自然で円滑なコミュニケーションの方法を身につける。

到達目標

- (1) 日常生活において物事を説明する表現力を習得する。
- (2) 自分の考えが話せるように談話能力をつける。
- (3) 初級より複雑な、目的に合った日本語を運用できるようにする。
- (4) 文の構造と意味・機能を総合的に理解する力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	
レポート課題		
上記以外	70	小テスト25% 宿題20% 授業への参加度25%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	みんなの日本語初級 第2版		スリーエーネットワーク	9784883196036
2	みんなの日本語初級 第2版		スリーエーネットワーク	9784883196463
3				

初回授業で紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(初中級) A						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120783	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG113							

授業概要

初中級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通して、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N4に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域(例: 基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理)に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。
- (6) N4レベルの漢字(200字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	15	期末試験(到達目標2、4、6について筆記試験を行う)
レポート課題		
上記以外	85	授業内確認テスト(15%×3回)45%(到達目標2、4、6について筆記試験を行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、3、4、6について、復習問題を課す。) 小テスト20%(到達目標6について、小テストを行う。)

4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

適宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(中級) B						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120784	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG114							

授業概要

初中級レベルの基本的語彙および文法事項の習得を目標に、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4スキルを総合的に学ぶ。授業では発音と日本語特有のリズムに慣れるため音声・映像教材を用いて、聴解力を養う。ペアまたは3人以上のグループでのコミュニケーション活動を通じて、日常会話を練習する。日本語能力検定試験N4に合格できる程度の聴解・読解力を身につける。

到達目標

- (1) 発話をはっきりとゆっくりとした発音ならば、最も直接的な優先事項の領域(例: 基本的な個人や家族の情報、買い物、その地域の地理)に関連した句や表現が理解できる。
- (2) よく使われる語で書かれた、国際的共通語彙もかなり多い、短い簡単なテキストが理解できる。
- (3) 人物や生活・職場環境、日課、好き嫌いなどについて、単純な記述やプレゼンテーションができる。
- (4) 「そして」「しかし」などの簡単な接続詞でつなげた簡単な表現や文を書くことができる。
- (5) 大学生活や自由時間に関わる身近な日々の事柄について、直接的で簡単な情報交換を必要とする通常の課題ならコミュニケーションできる。
- (6) N4レベルの漢字(200字程度)の読み書きができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	15	期末試験(到達目標2、4、6について筆記試験を行う)
レポート課題		
上記以外	85	授業内確認テスト(15%×3回)45%(到達目標2、4、6について筆記試験を行う。) 宿題20%(毎回到達目標1、3、4、6について、復習問題を課す。) 小テスト20%(到達目標6について、小テストを行う。)

4分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

復習としての家庭学習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	げんきII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷恭子	ジャパントイムス	978-4789014434
2	げんき ワークブックII	板野永理・池田庸子・大野裕・品川恭子・渡嘉敷 恭子	ジャパントイムス	978-4789014441
3				

適宜紹介

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎（中級） A						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120785	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG115							

授業概要

本科目は文法に特化し、中級レベルの文型や表現に関する演習を行う。授業では初級レベルからの文型を復習しながら、N3レベルの文型を学び、語彙を増やしていく。毎週、課題として、日本語能力試験N3の文法・聴解・読解問題を解き、N3レベルを合格できる程度の言語能力をつける。

到達目標

- (1) 家族、趣味や関心、仕事、旅行、時事問題など、本人の日常生活に関わる大部分の話題について、多少間接的な表現を使ってでも、自分の言いたいことを表現できる語彙や用言を習得する。
- (2) 明確な描写や、自分の視点の表明、議論の組み立てが十分に可能なだけの語彙、文構造を使える。
- (3) 頻繁な繰り返しを避けるための言い換え表現を使うことができる。
- (4) 日本語能力試験N3レベルの文法を理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標1～4について筆記試験を行う）
レポート課題		
上記以外	70	授業内試験 30%（到達目標1～4について筆記試験を行う） 宿題15%（到達目標1～4を確認するため演習問題を課す） 授業への参加度 25%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

復習を重視し、毎回宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎（中級） B						担当教員	柴川 真由美
講義コード	1120786	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG116							

授業概要

本科目は文法に特化し、中級レベルの文型や表現に関する演習を行う。授業では初級レベルからの文型を復習しながら、N3レベルの文型を学び、語彙を増やしていく。毎週、課題として、日本語能力試験N3の文法・聴解・読解問題を解き、N3レベルを合格できる程度の言語能力をつける。

到達目標

- (1) 家族、趣味や関心、仕事、旅行、時事問題など、本人の日常生活に関わる大部分の話題について、多少間接的な表現を使ってでも、自分の言いたいことを表現できる語彙や用言を習得する。
- (2) 明確な描写や、自分の視点の表明、議論の組み立てが十分に可能なだけの語彙、文構造を使える。
- (3) 頻繁な繰り返しを避けるための言い換え表現を使うことができる。
- (4) 日本語能力試験N3レベルの文法を理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	期末試験（到達目標1～4について筆記試験を行う）
レポート課題		
上記以外	70	授業内試験 30%（到達目標1～4について筆記試験を行う） 宿題15%（到達目標1～4を確認するため演習問題を課す） 授業への参加度 25%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

復習を重視し、毎回宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(中級) A						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120787	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG117							

授業概要

「日本語能力試験N2」レベルの問題を解き、合格できる力を身につけていく。

到達目標

- (1) 幅広い話題について書かれた文章の内容が理解できる。
(2) 日本語能力試験N2に合格できる力を身につけ、総合的な日本語能力を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	
レポート課題		
上記以外	65	小テスト 35% 宿題、授業への参加度 30%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

復習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(中級) B						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120788	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG118							

授業概要

「日本語能力試験N2」レベルの問題を解き、合格できる力を身につけていく。

到達目標

- (1) 幅広い話題について書かれた文章の内容が理解できる。
(2) 日本語能力試験N2に合格できる力を身につけ、総合的な日本語能力を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	
レポート課題		
上記以外	65	小テスト 65% 宿題、授業への参加度 30%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

復習を重視し、毎回宿題を課す。
適宜小テストを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(中級) A						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120789	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG119							

授業概要

日本語能力試験N2レベルの聴解に特化した問題演習を主に行う。授業では中級レベルからの文型を復習しながら、N3及びN2レベルの文型を学び、語彙を増やしていく。「日本語能力試験N3・2」の聴解問題を解き、N2レベルに合格できる程度の言語能力をつけるようにする。

到達目標

- (1) 日本語能力試験N2レベルの文法を理解できるようになる。
- (2) 日本語能力試験N2レベルの聴解力を身につける。
- (3) 比較的ゆっくりとはっきりと話された、身近な話題が理解できる。
- (4) 学校・仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	
レポート課題		
上記以外	65	小テスト 35% 宿題、授業への参加度 30%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	日本語基礎(中級) B						担当教員	上野山 愛弥
講義コード	1120790	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXG120							

授業概要

日本語能力試験N2レベルの聴解に特化した問題演習を主に行う。授業では中級レベルからの文型を復習しながら、N3及びN2レベルの文型を学び、語彙を増やしていく。「日本語能力試験N3・2」の聴解問題を解き、N2レベルに合格できる程度の言語能力をつけるようにする。

到達目標

- (1) 日本語能力試験N2レベルの文法を理解できるようになる。
- (2) 日本語能力試験N2レベルの聴解力を身につける。
- (3) 比較的ゆっくりとはっきりと話された、身近な話題が理解できる。
- (4) 学校・仕事上の話題について、簡単な事実関係の情報が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	35	
レポート課題		
上記以外	65	小テスト 35% 宿題、授業への参加度 30%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介

前提学力等

履修資格

講義名	健康・体力科学（フィットネスプログラム）						担当教員	中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140010	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実	
ナンバリング番号	101EXR102							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、運動・栄養・休養と健康の関わりやその必要性を理解し、生活習慣の健全化への動機づけを明確にする。実技では、種々のトレーニングを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力と適切な運動プログラム作成能力を育て、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得する。

到達目標

- (1)健康・体力の維持増進に必要な運動・栄養・休養の科学的知識を理解する。
- (2)各自の目的（健康維持、体力向上、肥満予防および解消等）に応じた安全で効果的なフィットネスプログラムを作成することができる。
- (3)身体の状態を把握、体力テストに基づき運動の種類、運動強度、運動時間、運動頻度をプログラムすることができる。
- (4)フィットネスプログラムの内容に従い実践し、生理的变化や運動の効果を確認し、フィットネスプログラムの内容を考察する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	40	到達目標（1）および（4）についてレポートを提出する。
上記以外	60	毎回の授業における到達目標（2）（3）および（4）について「実習計画・記録用紙」を記入し、提出する。

実技が必須の授業であるため、欠席回数が4回以上の場合、原則として当該科目の成績評価の対象とはならない。遅刻や早退は1/3欠席扱いとする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	使用しない			
2				
3				

授業に必要な資料は適宜配布する。もしくは電子ファイルでOne Driveにアップロードする。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

既往症や運動実践に問題がある場合は、必ず教員に伝えること

履修資格

講義名	健康・体力科学 (サッカー)						担当教員	中尾 泰史 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140040	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実技	
ナンバリング番号	101EXR102							

授業概要

当該授業では、サッカー競技を実践し自身の体に関する気づきや自己体力の理解を深める。またチーム単位での活動に重点を置き、性別や運動能力の異なる学生同士が積極的にコミュニケーションをとりながら、安全かつ合理的な方法で練習やゲーム運営を実践していく。なおサッカー競技に必要とされる技術と専門能力については、継続的な練習によって各自の運動能力に見合った水準でその向上を目指す。このように積極的な身体活動を実践しながら、生涯における身体活動の重要性を再確認し、意識的な運動習慣が自身の健康保持増進に必要な不可欠となることを体現する。

到達目標

- (1) サッカー競技に必要とされる技術・専門能力および自己体力の向上を目指す。
- (2) 生涯における運動実践の気づきを高め継続的、運動習慣を身につけておくことの重要性を理解する。
- (3) チーム単位での活動の中で他社と積極的に関わりながら、主体性をもった行動ができる能力を養成する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	まとめのレポート課題と授業内の小レポートを実施。
上記以外	70%	実技、取り組み方、態度、コミュニケーションに関する評価。

- ・成績は実技評価70%、レポート課題30%とする。
- ・原則、欠席が4回を超える場合、単位認定はしない。
- ・遅刻や早退は1/3欠席扱いとする。

授業外学習

- ・サッカー関連の書籍やYouTube等を活用し、自分に適した専門技術の習得方法を学習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業用資料は、適宜、配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

普段から自分の体力を把握するよう心がけ、授業前日は、しっかり体調管理をしておくこと。

履修資格

講義名	健康・体力科学（卓球）						担当教員	芳田 哲也 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140090	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実技	
ナンバリング番号	101EXR102							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、卓球を通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

到達目標

- (1) 卓球の基本技術を習得し、ゲームの楽しさを味わう。
- (2) 生涯スポーツとしての卓球を楽しむための練習計画を作成できるようになる。
- (3) 運動学的あるいは力学的観点から卓球の技術を分析し技術の習得を目指す。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	授業の到達目標(1)～(3)を達成するために、どのように授業に取り組み、どのような効果が得られたか?その科学的根拠をまとめたレポートを作成し、提出されたレポートを評価対象とする。
上記以外	60%	授業の到達目標(3)に関する実技学習課題の達成度や授業への取り組み度について評価する

- (1) 欠席回数が4回以上(1単位につき)のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- (2) 怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

授業外学習

卓球の道具やルール(ダブル・シングルス)、練習方法などは授業時間外に学習しておくことが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	健康・体力科学（テニス）						担当教員	多胡 陽介 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140120	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101EXR102							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、テニスを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

到達目標

- (1) テニスの練習やゲームを通じて、技能や体力の向上を図る。
- (2) 自己の課題を明確にし、改善方法を考えることができる。
- (3) テニスの指導計画を立て、グループのメンバーに実践できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標の(2)(3)に応じてレポート課題を課し、記述の具体性について評価する。
上記以外	40%	到達目標の(1)に応じて技能向上の程度や授業への積極性を実技学習課題として評価する。

授業外学習

テニスの動画や書籍をみることにより技術の要点について理解しておくこと

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	テニススキルアップマスター	石井宏樹	新星出版社	4405086915
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康・体力科学（ヘルスサイエンス）						担当教員	東田 一彦 / 中井 直也
講義コード	1140150	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実	
ナンバリング番号	101EXR102							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。また、実技では、実験的な運動を行い、身体活動が引き起こす生理的な応答反応を体験し、どのような仕組みで起こるかを理解する。

到達目標

- (1)身体活動の科学的法則性を理解し、望ましい健康増進の手法を学ぶ。
(2)地域や職域における生涯スポーツの普及発展の中心的な役割を担う人材の育成をめざす。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		(1)身体活動の科学的法則性を理解し、望ましい健康増進の手法を学ぶ。 (2)地域や職域における生涯スポーツの普及発展の中心的な役割を担う人材の育成をめざす。
レポート課題		(1)(2)についてレポートで評価する A:よく理解出来ている B:理解出来ている
上記以外	40	(1)(2)についてレスポンスシートで評価する A:よく理解出来ている B:理解出来ている

- ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の授業で資料を配布する

前提学力等

履修資格

講義名	健康・体力科学（バスケット）						担当教員	岩瀬 雅紀 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140180	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実技	
ナンバリング番号	101EXR102							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技ではバスケットボールを通してスポーツ科学（心拍数・視機能）の知識を活かした安全で合理的な実践能力を育てスポーツの文化的意義を理解しスポーツ享受能力を高める。また生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

到達目標

- (1) ゲームに必要な基礎技術、持久力、素速さ、瞬発力、動きの柔軟性、的確な判断力を養う。
- (2) バスケットボールの戦術及び科学的要素（心拍数・視機能）を理解しゲームでの攻防を楽しむ。
- (3) グループワーク及びチームワークを通してコミュニケーション能力や協調性、自主性を養う。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(1)、(2)、(3)は提出課題と自己評価及びチーム評価
上記以外	60%	(1)、(2)、(3)は実技の達成度とチームワーク

- ・「実技学習課題」60%と「レポート課題」40%で評価する。
- ・欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは原則として当単位は認めない。
- ・但し怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し対応の指示を受けること。

授業外学習

グループの練習担当者が各回の授業でのテーマを中心に一日の練習を計画する。その練習計画を基に練習し授業の後半のリーグ戦で練習の成果を試す。バスケットボールの運動と心拍数及び視機能の関連について考察する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	使用しない			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	担当者作成のプリント			
2				
3				

バスケットボールの運動とルール・心拍数・視機能に対する担当者作成のプリントを適宜配布する

前提学力等

履修資格

講義名	健康・体力科学（ニュースポーツ）						担当教員	東田 一彦 / 中井 直也
講義コード	1140240	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実	
ナンバリング番号	201EXR101							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、ニュースポーツを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

到達目標

- (1) 身体活動の科学的法則性を理解し、望ましい健康増進の手法を理解する
- (2) 生涯スポーツとしてのニュースポーツの文化的意義を理解し、基本技術を習得する。
- (3) 地域や職域における生涯スポーツの普及発展の重要性について理解する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	60	(1)～(3)について、レポートにより評価する A：非常によくできている B：できる
上記以外	40	(1)～(3)について、授業での姿勢、言動により評価する A：非常によくできている B：できる

- ・ 欠席回数が4回以上（1単位につき）のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内でテキストを配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康・体力科学（ソフトボール）						担当教員	岩瀬 雅紀 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140250	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実技	
ナンバリング番号	201EXR101							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技ではソフトボールを通してスポーツ科学（心拍数・視機能）の知識を活かした安全で合理的な実践能力を育てスポーツの文化的意義を理解しスポーツ享受能力を高める。また生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

到達目標

- (1) グループワーク及びチームワークを通じて技能や体力の向上を図る。
- (2) 生涯にわたるスポーツライフを設計し実践する能力を育成する。
- (3) チームでの活動に必要な態度を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	(1), (2), (3)は提出課題と自己評価及びチーム評価
上記以外	60%	(1), (2), (3)は実技の達成度とチームワーク

- ・「実技学習課題」60%と「レポート課題」40%で評価する。
- ・欠席回数が4回以上(1単位につき)のときは原則として当該科目の単位は認めない。
- ・但し怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し対応の指示を受けること。

授業外学習

グループワーク担当者が各回の授業でのテーマを中心に一日の練習を計画してくる。その練習計画を基に練習し授業の後半のリーグ戦で練習の成果を試す。ソフトボールの運動と心拍数及び視機能の関連について考察する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	担当者作成のプリント			
2				
3				

ソフトボールの運動とルール・心拍数・視機能に対する担当者作成のプリントを適宜配布する

前提学力等

履修資格

講義名	健康・体力科学（バドミントン）						担当教員	多胡 陽介 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140260	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201EXR101							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、バドミントンを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

到達目標

- (1)バドミントンの練習やゲームを通じて、技能や体力の向上を図る。
- (2)自己の課題を明確にし、改善方法を考えることができる。
- (3)バドミントンの指導計画を立て、グループのメンバーに実践できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	到達目標の(2)(3)に応じてレポート課題を課し、記述の具体性について評価する。
上記以外	60%	到達目標の(1)に応じて技能向上の程度や授業への積極性を実技学習課題として評価する。

授業外学習

バドミントンの動画や書籍をみることにより技術の要点について理解しておくこと

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	DVDでよくわかる!バドミントン	中條 彪	西東社	4791614712
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康・体力科学（フィットネスプログラム）						担当教員	中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140290	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実	
ナンバリング番号	201EXR101							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、運動・栄養・休養と健康の関わりやその必要性を理解し、生活習慣の健全化への動機づけを明確にする。実技では、種々のトレーニングを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力と適切な運動プログラム作成能力を育て、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得する。

到達目標

- (1)健康・体力の維持増進に必要な運動・栄養・休養の科学的知識を理解する。
- (2)各自の目的（健康維持、体力向上、肥満予防および解消等）に応じた安全で効果的なフィットネスプログラムを作成することができる。
- (3)身体の状態を把握、体力テストに基づき運動の種類、運動強度、運動時間、運動頻度をプログラムすることができる。
- (4)フィットネスプログラムの内容に従い実践し、生理的变化や運動の効果を確認し、フィットネスプログラムの内容を考察する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	40	到達目標（1）および（4）についてレポートを提出する。
上記以外	60	毎回の授業における到達目標（2）（3）および（4）について「実習計画・記録用紙」を記入し、提出する。

実技が必須の授業であるため、欠席回数が4回以上の場合、原則として当該科目の成績評価の対象とはならない。遅刻や早退は1/3欠席扱いとする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	使用しない			
2				
3				

授業に必要な資料は適宜配布する。もしくは電子ファイルでOne Driveにアップロードする。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

既往症や運動実践に問題がある場合は、必ず教員に伝えること

履修資格

講義名	健康・体力科学（フィットネスプログラム）						担当教員	中井 直也 / 東田 一彦	
講義コード	1140290	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実		
ナンバリング番号	201EXR101								

授業計画										
回数	テーマ	概要				予習 / 復習				
第1回	全体ガイダンスと履修コース（種目）の決定	健康・体力科学 の授業の進め方、種目の説明の後、履修コース（種目）を決定する。				2	シラバスを熟読し、希望コースを決			0.
第2回	フィットネスプログラムクラスのガイダンス	フィットネスプログラムクラスの授業について説明する。その後、体力測定 1 を行う。				2	体力測定 1 の項目について調べる			0.
第3回	体力測定 2	体力測定 2 を行う。				2	体力測定 1 の項目が反映される身体			0.
第4回	目標設定	体力測定 2 の項目について調べる				2	体力測定 2 の項目が反映される身体			0.
第5回	フィットネスプログラムの理論 1 と運動実践	体力測定の結果から現在の体力レベルを理解する。フィットネスプログラムの理論を理解し、自らの体力および健康につ				2	各年代、性別の体力測定結果の平均			0.
第6回	フィットネスプログラムの理論 2 と運動実践	運動が身体に及ぼす影響を理解し、運動実践を行う。				2	設定した目標を達成する運動プログ			0.
第7回	フィットネスプログラムの理論 3 と運動実践	有酸素運動能力を高めるフィットネスプログラムの理論を理解し、運動実践を行う。				2	有酸素運動と無酸素運動の違いにつ			0.
第8回	栄養素の機能 1 と運動実践	最大筋力および筋持久力を高めるフィットネスプログラムの理論を理解し、運動実践を行う。				2	実践した運動内容の効果をまとめる			0.
第9回	栄養素の機能 2 と運動実践	3 大栄養素の役割および摂取方法を理解し、運動実践を行う。				2	有酸素運動能力を高める運動の種			0.
第10回	水分補給と運動実践	ビタミン、ミネラルの役割および摂取方法を理解し、運動実践を行う				2	実践した有酸素運動の強度と心拍数			0.
第11回	疲労・休養と運動実践	熱中症と水分補給の重要性を理解し、運動実践を行う。				2	レジスタンス運動の種類、強度、頻			0.
第12回	生活習慣病と運動実践	疲労のメカニズムと休養の意義を理解し、運動実践を行う。				2	最大筋力と筋持久力の違いについて			0.
第13回	サプリメントと運動実践	生活習慣病と運動との関係を理解し、運動実践を行う。				2	各食品に含まれる栄養素を調べ、食			0.
第14回	加齢と運動実践	サプリメントの種類と機能を理解し、運動実践を行う。				2	自身の摂取エネルギーと消費エネル			0.
第15回	体力測定	加齢による身体機能の変化と生涯スポーツの重要性を理解し、運動実践を行う。				2	ビタミン、ミネラルの種類と機能を			0.
		体力測定を行い、これまでの運動実践が身体機能に及ぼす影響を理解する。				2	自身のビタミン、ミネラルの摂取量			0.
							熱中症と水分補給について調べる			0.
							自身の 1 日の水分摂取量を調べる			0.
							中枢性疲労と末梢性疲労について調			0.
							スマートフォンのアプリで自身の睡			0.
							生活習慣病について調べる			0.
							自身の血圧と血圧に影響を及ぼす因			0.
							サプリメントについて調べる			0.
							サプリメントの市場調査を行う			0.
							加齢が身体に及ぼす影響について調			0.
							自身の実年齢と体内年齢（生理学的			0.
							授業期間での体力測定値の変動を予			0.
							最終レポートにむけてこれまでの運			3
担当者から										

講義名	健康・体力科学（卓球）						担当教員	中尾 泰史 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140310	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実技	
ナンバリング番号	201EXR101							

授業概要

当該授業では、卓球競技を実践し自身の体に関する気づきや自己体力の理解を深める。またグループ単位での活動に重点を置き、性別や運動能力の異なる学生同士が積極的にコミュニケーションをとりながら、安全かつ合理的な方法で練習やゲーム運営を実践していく。なお卓球競技に必要とされる技術と専門能力については、継続的な練習によって各自の運動能力に見合った水準でその向上を目指す。このように積極的な身体活動を実践しながら、生涯における身体活動の重要性を再確認し、意識的な運動習慣が自身の健康保持増進に必要な不可欠となることを体現する。

到達目標

- (1) 卓球競技に必要とされる技術・専門能力および自己体力の向上を目指す。
- (2) 生涯における運動実践の気づきを高め継続的、運動習慣を身につけておくことの重要性を理解する。
- (3) グループ単位での活動の中で他社と積極的に関わりながら、主体性をもった行動ができる能力を養成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	まとめのレポート課題と授業内の小レポートを実施。
上記以外	70%	実技、取り組み方、態度、コミュニケーションに関する評価。

- ・成績は実技評価70%、レポート課題30%とする。
- ・原則、欠席が4回を超える場合、単位認定はしない。
- ・遅刻や早退は1/3欠席扱いとする。

授業外学習

- ・卓球関連の書籍やYouTube等を活用し、自分に適した専門技術の習得方法を学習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業用資料は、適宜、配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

普段から自分の体力を把握するよう心がけ、授業前日は、しっかり体調管理をしておくこと。

履修資格

講義名	健康・体力科学（テニス）						担当教員	芳田 哲也 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140340	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実技	
ナンバリング番号	201EXR101							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義では、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、テニスを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツの文化的意義を理解し、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得し、さらにライフスキルの形成を促進する。

到達目標

- (1) テニスの練習やゲームを通じて、技能や体力の向上を図る。
- (2) 生涯にわたるスポーツライフを設計し、実践する能力を育成する。
- (3) グループワークを通して、コミュニケーション能力や協調性、自主性を養う。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	授業の到達目標(1)～(3)を達成するために、どのように授業に取り組み、どのような効果が得られたか？その科学的根拠をまとめたレポートを作成し、提出されたレポートを評価対象とする。
上記以外	60%	授業の到達目標(1)と(3)に関する実技学習課題の達成度や授業への取り組み度について評価する

- (1) 欠席回数が4回以上(1単位につき)のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- (2) 怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。

授業外学習

テニスの道具やルール(シングルス・ダブルス)は授業外に学習しておくことが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	健康・体力科学（ボディコンディショニング）						担当教員	原田 圭子 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140470	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実技	
ナンバリング番号	201EXR101							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義ではヘルスリテラシーの向上を目標に、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、ボディコンディショニングを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得する。

到達目標

- (1) ボディコンディショニングを通じて、自らの身体状態に即した運動実践の動機づけ、運動継続による効果の確認、筋力や柔軟性の向上を目指す。
- (2) 運動の科学的知識に基づいた、生涯における健康・体力の維持増進に必要な手法を学ぶ。
- (3) レジスタンス運動やストレッチングの特徴や効果を理解し、安全で効果的なプログラム方法を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	40	到達目標である(1)(2)(3)を題材にしたレポートにより、それらの達成度について評価する。
上記以外	60	到達目標である(1)および(3)講義への参加姿勢で評価する

- ・欠席回数が4回以上(1単位につき)のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。
- ・遅刻や早退は1/3欠席扱いとする。

授業外学習

- ・運動継続の理解を深め、効果を体感するために、授業で実践したコンディショニングを自宅でも実践してみる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業に必要な資料は適宜配布する。もしくは電子ファイルでOne Driveにアップロードする。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康・体力科学（ボディコンディショニング）						担当教員	原田 圭子 / 中井 直也 / 東田 一彦		
講義コード	1140470	単位数	1	開講期	後期	授業方法	実技			
ナンバリング番号	201EXR101									

授業計画												
回数	テーマ	概要					予習/復習					
第1回	全体ガイダンス	健康・体力科学 の授業の進め方、種目の説明の後、履修コース（種目）を決定する。					2	シラバスを熟読し、希望コースを決定し、決定コースの授業内容について復習				0.
第2回	種目別ガイダンス	ボディコンディショニングクラスの授業について説明する。その後、運動実践を行う。					2	社会に流布しているエクササイズに授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第3回	運動処方の方法と運動実践	運動処方の方法を理解し、運動実践を行う。					2	FITTの原則について調べる授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第4回	体力の理論と運動実践	体力とその構成要素を理解し、運動実践を行う。					2	体力の構成要素、それぞれの違いに授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第5回	トレーニングの原理原則と運動実践	トレーニングの原理原則を理解し、運動実践を行う。					2	トレーニングの原理原則について予授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第6回	ストレッチングの理論と運動実践	ストレッチングの理論を理解し、運動実践を行う。					2	ストレッチングの種類による目的・授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第7回	レジスタンストレーニングの理論1と運動実践	レジスタンストレーニングの理論を理解し、運動実践を行う。					2	レジスタンストレーニングの種類に授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第8回	レジスタンストレーニングの理論2と運動実践	最大筋力・筋持久力を高めるレジスタンストレーニングの理論を理解し、運動実践を行う。					2	筋力の分類について調べる授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第9回	上肢の機能解剖と運動実践	上肢の機能解剖を理解し、運動実践を行う。					2	上肢の大筋群について調べる授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第10回	下肢の機能解剖と運動実践	下肢の機能解剖を理解し、運動実践を行う。					2	下肢の大筋群について調べる授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第11回	身体重心、バランス能力の理解と運動実践	身体重心・バランス能力の理論を理解し、運動実践を行う。					2	支持基底面について調べる授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第12回	運動・身体活動と運動実践	運動と身体活動量の違いを理解し、運動実践を行う。					2	身体活動量について調べる授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第13回	身体の発育発達と運動実践	年齢による身体機能の変化と生涯スポーツの重要性を理解し、運動実践を行う。					2	加齢が身体に及ぼす影響について調授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第14回	運動不足症と運動実践	運動不足がもたらす身体的な問題について理解し、運動実践を行う。					2	運動不足が身体に及ぼす影響について授業で行った運動実践を復習し、日				0.
第15回	まとめ	これまでの運動実践が身体機能に及ぼす影響を考察し、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解する。					2	これまでの運動実践をまとめる最終レポートにむけてこれまでの運				1
担当者から												

講義名	健康・体力科学（ボディコンディショニング）						担当教員	原田 圭子 / 中井 直也 / 東田 一彦
講義コード	1140500	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実技	
ナンバリング番号	201EXR101							

授業概要

健康や体力、スポーツ文化に対する認識を深め、生涯を通じた心身の健康の保持増進を図るため、科学的にその知識や方法を講義と実技を一体化して実施する。講義ではヘルスリテラシーの向上を目標に、身体活動と健康の関わりや身体活動の必要性を理解し、生涯スポーツへの動機づけを明確にする。実技では、ボディコンディショニングを通してスポーツ科学の知識を生かした安全で合理的な実践能力を育て、スポーツ享受能力を高めるとともに、生涯にわたって運動習慣が継続できる自律的態度および実践能力を体得する。

到達目標

- (1) ボディコンディショニングを通じて、自らの身体状態に即した運動実践の動機づけ、運動継続による効果の確認、筋力や柔軟性の向上を目指す。
- (2) 運動の科学的知識に基づいた、生涯における健康・体力の維持増進に必要な手法を学ぶ。
- (3) レジスタンス運動やストレッチングの特徴や効果を理解し、安全で効果的なプログラム方法を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	40	到達目標である(1)(2)(3)を題材にしたレポートにより、それらの達成度について評価する。
上記以外	60	到達目標である(1)および(3)講義への参加姿勢で評価する

- ・欠席回数が4回以上(1単位につき)のときは、原則として当該科目の単位は認めない。
- ・ただし、怪我・病気等で欠席の場合は担当教員に事情を説明し、対応の指示を受けること。
- ・遅刻や早退は1/3欠席扱いとする。

授業外学習

- ・運動継続の理解を深め、効果を体感するために、授業で実践したコンディショニングを自宅でも実践してみることを。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業に必要な資料は適宜配布する。もしくは電子ファイルでOne Driveにアップロードする。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Japan Studies I : Influences of Geography on Culture & Society						担当教員	倉茂 好匡
講義コード	1150011	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

This course will focus on Japan's natural scenery, in particular the general topography of Japan. Natural scenery is affected with the climate of the region. In addition, since tectonic activity is very high in Japan, topography in Japan is very unique. Thus, in this course, students will consider why such topography exists in Japan, based on basic knowledge of geomorphology. In addition, these typical topographies are closely related to culture, civilization, and the religion of the region. The students will understand how Japanese people use these topographies for their living.

到達目標

- (1) To provide students with a basic understanding of the nature of Japan's general topography, and how Japanese people recognizes its beauty.
(2) To provide students with a basic understanding of Japanese general culture, civilization, and religion; and how these topographies are used in living.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	The essay(s) will be scored as follows: S (10 point): Excellent essay with sufficient information and well considered opinion. In addition, the essays are very logical.
上記以外	20	Quality of presentation is judged similar to the scoring policy of the essays.

If you write essays only referred Wikipedia, its score will be zero. You should write your opinion and/or your impression through your study about the scenery and related culture.

授業外学習

Homeworks are required for each lecture. The students write essays about unique topography shown in the lecture, reading some WEB sites related to the topography.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Japan Studies II : Japanese politics and diplomacy I						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150012	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

Students will be divided into different teams. Each team will represent a different region of Japan. Each student will also be assigned a political party affiliation. Each team will be responsible for researching their region in order to understand its unique characteristics and view on current issues in Japan. Students will need to continually research their region to understand how current issues specifically impact their region. Students will represent their regions in in-class debates and work towards achieving their region's goals. Students will also research their political parties.

到達目標

1. To learn more about and be able to compare one's own culture and traditions through comparative inquiries of Japan and Japanese thoughts.
2. To recognize culture as something conditioned by our way of thinking.
3. To gain skills to facilitate inquiry into globalization and its impacts from the perspectives of others.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	Essay assignment on the related topic of this course
上記以外	60	Class engagement 30%: Active participation in the class is assessed. Presentation and discussion 30%: Group discussion and presentation on the given topic

Attendance is required.

授業外学習

The students are required to update the knowledge of the related topics happening in Japan.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	Japan Studies III : Japanese society and culture I						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1150013	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

This course elucidates contemporary Japanese culture and society from various angles. Students will learn about various current topics in Japan and how they are portrayed in the media. By contributing to the texts and videos about these social topics, students will learn a find a greater understanding of the material as well as become more discerning in their own media diet about Japan. Active participation in this course is required.

到達目標

To learn issues happened/happening in Japan related to culture and society, and to understand Japan's current situation.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	15	Final presentation related to one of the three semester topics
上記以外	85	Class participation 15%, Reading Circle Assignments 25%, Writing Assignments 20%, Journal 25%,

Students need to attend the class on time, whether the classes are in person or online.

授業外学習

The students are required to update the knowledge of the related topics happening in Japan.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Japan Studies IV : Nature, History and Food Culture						担当教員	倉茂 好匡
講義コード	1150014	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

In Japan, each prefecture has its own food culture, and it is related with nature and history of the prefecture. For example, traditional food in Shiga Prefecture is related with ecology of Biwa Lake, and the ecosystem of Biwa Lake is very unique in the world. In this course, several typical example prefectures such as Shiga, Tokyo, Osaka Kyoto, Okinawa and Hokkaido are at first considered. Further, each students search about your interested prefecture to explain its food culture and related nature and history.

到達目標

- (1) Understand typical nature of each prefecture in Japan.
- (2) Understand typical food culture of each prefecture in Japan

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	41	The first essay: 2 points Another essays: 3 points each. If you have any small mistake, such as miss type, you can get only 2 points.
上記以外	59	Presentation at class No.2 to No.14, each presentation will be scored with full mark of 3 points. The scoring policy is similar to that of essays.

If the number of prefectures selected by students is less than eight, the teacher will select prefectures for the rest classes considering their locations, difference in nature and history.

授業外学習

The students are required to update the knowledge of the related topics happening in Japan.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Japan Studies V : Japanese society and culture II						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1150015	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

This course elucidates contemporary Japanese culture and society from various angles. Students will learn about various current topics in Japan and how they are portrayed in the media. By contributing to the texts and videos about these social topics, students will learn a find a greater understanding of the material as well as become more discerning in their own media diet about Japan. Active participation in this course is required.

到達目標

To learn issues happened/happening in Japan related to culture and society, and to understand Japan's current situation.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	15	Final presentation related to one of the three semester topics
上記以外	85	Class participation 15%, Reading Circle Assignments 25%, Writing Assignments 20%, Journal 25%,

Students need to attend the class on time, whether the classes are in person or online.

授業外学習

The students are required to update the knowledge of the related topics happening in Japan.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Independent Study						担当教員	未定*
講義コード	1150017	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

This course is a small research project that a student and a supervisor decide the topic and the content of the project. The student MUST consult with the course coordinator 6 WEEKS BEFORE the course registration period. The course coordinator will find a potential supervisor based on the student's research interest. The student needs to talk with the potential supervisor. When the potential supervisor agrees with the student's research proposal, the student is allowed to register the course. The expected outcome will vary based on the consensus between the supervisor and the student.

到達目標

Can acquire a deeper knowledge of the area of study. This includes the acquisition of the research methods and of the writing method of the research paper.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

The student is expected to work hard on the research project.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

The reading list will be given by the supervisor.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

The reading list will be given by the supervisor.

前提学力等

The student needs to have some specific knowledge of the proposed area of research. The student is expected to be independent on the research project.

履修資格

講義名	Independent Study						担当教員	未定*
講義コード	1150018	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

This course is a small research project that a student and a supervisor decide the topic and the content of the project. The student MUST consult with the course coordinator 6 WEEKS BEFORE the course registration period. The course coordinator will find a potential supervisor based on the student's research interest. The student needs to talk with the potential supervisor. When the potential supervisor agrees with the student's research proposal, the student is allowed to register the course. The expected outcome will vary based on the consensus between the supervisor and the student.

到達目標

Can acquire a deeper knowledge of the area of study. This includes the acquisition of the research methods and of the writing method of the research paper.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

The student is expected to work hard on the research project.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

The reading list will be given by the supervisor.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

The reading list will be given by the supervisor.

前提学力等

The student needs to have some specific knowledge of the proposed area of research. The student is expected to be independent on the research project.

履修資格

講義名	異文化理解 A ~ オーストラリアの異文化理解 ~						担当教員	国際交流委員会
講義コード	1150020	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号	101HUM112							

授業概要

夏季休業中の約3週間、オーストラリア ディーキン大学付属英語学校で一般英語コースを受講する。午前中2時間の授業と1時間の自主学習、午後2時間の授業を受講する。週末には、大学周辺地域へのフィールドトリップ（別料金）あり。現地の滞在はホームステイ（現地の一般家庭）を予定している。出発までに数回の研修を実施する（後日通知、出席必須）。この科目は自ら履修登録はせず、後日USPoにて掲載される応募用紙に記入の上、国際化推進室に提出すること。

到達目標

英語によるコミュニケーション能力の向上、国際感覚の涵養、異文化理解の促進および、課題発表会におけるプレゼンテーション能力の向上。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

帰国後に発表会を開催し、与えられた課題に従った発表をPPTで行う（100%）。発表会開催日、および発表課題は後日通知。成績評価は「認定」。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書はなし。事前研修で必要に応じて資料配布あり。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

現地での授業等は全て英語で行われるため、受講者は英語で質疑応答が出来る語学力と積極性が求められる。定員は15名とし、応募者多数の場合は語学力に応じて選抜を行う。

履修資格

講義名	異文化理解A～オーストラリアの異文化理解～						担当教員	国際交流委員会
講義コード	1150020	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号	101HUM112							

授業計画

1. 事前研修

- ・事前オリエンテーション
- ・留学生活について
- ・危機管理セミナー
- ・英語集中講座など

2. 現地での研修内容：

- ・General English Program (一般英語プログラム)

初級から上級レベルまで10クラスあり、学生それぞれの目的に応じた英語力がつくように工夫された授業で、確実に英語力をつけていく。自信を持って英語でコミュニケーションができるようになることを目指し、教室の勉強だけではなくカリキュラムにそった課外授業も多く取り入れている。授業は1日5時間（午前中2時間の授業と1時間の自主学習、午後2時間の授業）で、ポキャブラリー力のアップや日常生活に応じた英語表現、発音や流暢さなどにも力を入れている。

- ・週末のフィールドトリップ（別料金）

希望者は、大学周辺地域へのフィールドトリップに参加できる。

行先：グレートオーシャンロードとフィリップ島

3. 帰国後の報告会

担当者から

現地でのホームステイを通して、オーストラリアの日常生活を体験するとともに、日常英語会話力の向上も期待できる。

講義名	Intensive Japanese Language						担当教員	
講義コード	1150025	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

This is a four-week intensive Japanese language course for exchange students. The course is ONLY for international students who have applied for the program at the home institution. The detail of the course will be announced at the beginning of the course. The students take the course three hours a day.

到達目標

To advance your Japanese language skill as much as possible

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Some materials will be provided in the class

前提学力等

履修資格

講義名	Intensive Japanese Culture						担当教員	
講義コード	1150026	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

THIS IS AN OPTIONAL COURSE OF INTENSIVE JAPANESE LANGUAGE (Course registration cord:1150025). The students who will take Intensive Japanese Language can ONLY register this course. The course is composed of lectures and study tours. The detail of the contents will be announced at the beginning of the Intensive Japanese Language.

到達目標

To understand Japan and Japanese culture deeper.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

The students who will take Intensive Japanese Language can ONLY register this course.

履修資格

講義名	Japanese Culture and Society in Community [Japanese Culture and Society in Community]						担当教員	未定* / 国際交流委員会
講義コード	1150027	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号								

授業概要

This course is ONLY for the international students who have applied for the USP Summer Program 2020 from the OUTSIDE of Japan. The detail of the course contents will be announced at the orientation. This course will be done in Oumi-Hachiman city, Shiga.

到達目標

Can understand Japanese culture and society in Oumi-Hachiman city.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

This course is ONLY for the international students who have applied for the USP Summer Program 2020 from the OUTSIDE of Japan. The course will be done in Oumi-Hachiman city.

履修資格

講義名	Japanese Culture and Society in Community						担当教員	未定* / 国際交流委員会
講義コード	1150028	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号								

授業概要

This course is ONLY for the international students who have applied for the USP Summer Program 2020 from the OUTSIDE of Japan. The detail of the course contents will be announced at the orientation. This course will be done in Konan city, Shiga.

到達目標

Can understand Japanese culture and society in Konan city.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

This course is ONLY for the international students who have applied for the USP Summer Program 2020 from the OUTSIDE of Japan. The course will be done in Konan city.

履修資格

講義名	異文化理解B～アジア・オセアニアの異文化理解～						担当教員	国際交流委員会 / 未定*
講義コード	1150030	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号	101HUM113							

授業概要

春季休業中の3週間、オーストラリア（メルボルン）のディーキン大学の語学コースを受講する。南米・アフリカ・アジアなど多方面からの留学生による混合クラスでの学習。授業は、毎日5時間（週20時間）の英語学習（主にプロジェクト学習と、4技能学習（聞く・読む・話す・書く））で構成され、期間中2回は午後に郊外学習も予定されている。週末には滞在地域周辺への選択制のフィールドトリップあり（Great Ocean Road, Phillip Island）。現地の滞在はホームステイ。学生が運営する課外活動への参加や、学内トレーニングジムの利用可。渡航前に数回の事前研修があり、出席は必須（予定は後日通知）。定員制限なし。
この科目は自ら履修登録はしないこと。後日USPoにて掲載される応募用紙に記入の上、国際化推進室に提出することで履修登録となる。

到達目標

ディーキン大学語学コースに参加する多様な出身国からなる留学生たちと英語でコミュニケーションができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

現地での成績 20%、留学報告会 40%、留学報告書 40%
留学報告会および留学報告書のテーマは後日、登録者あてに通知する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

英語を使うことに対して積極的であること

履修資格

講義名	異文化理解B～アジア・オセアニアの異文化理解～						担当教員	国際交流委員会 / 未定 *
講義コード	1150030	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号	101HUM113							

授業計画

- 事前講義
 ・ガイダンス
 ・留学生活
 ・危機管理セミナー

その他、応募・渡航のための事務説明が数回あり（出席必須）。後日、登録者あてに通知する。

- 帰国後
 ・留学報告会
 ・留学報告書

担当者から

講義名	経済学～現代経済論～						担当教員	鈴木 康夫
講義コード	1150110	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM111							

授業概要

現代経済の成り立ちの(大まかな)経緯から、基本的な性質や機能とその役割、問題点について概略的に学ぶ。ミクロとマクロの両面から経済の諸側面(景気と物価、国際経済、産業、雇用、経営、財政、金融など)について初歩的な内容を学ぶ。また、日本経済の代表的な現象を参考にして、歴史・文化・制度と構造、理論、政策に関するその基本的な学習をなるべく総合的に行う。

基本的には、対面授業を予定するが、感染症の大流行や大学設備の使用制限が発生した場合などでは、遠隔授業になるかもしれない。

到達目標

(1)基礎的な経済学の知識を習得する。(2)基礎的な経済理論や経済分析の考え方の概略を理解できる。(3)新聞の経済欄や政治・経済的なニュース、経済解説の報道を理解できる。(4)国際経済情勢を大まかに理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	約75%	到達目標(1)と(2)および(3)のための基礎知識の理解度を100点法で評価し、滋賀県立大学の成績方式に基づく評価基準とそれらの表現に基づき成績を決定する。
レポート課題	約25%	到達目標(1)と(2)に基づく(3)のための基礎知識の理解度に基づき問題意識の的確さや論説の構成・整合性・重要度・説得力などの内容を評価し、期末評価に組み入れる。 なお、授業の展開によっては他の形式の課題に代替することもある。
上記以外	0	

なお、授業の進行によってはレポート提出を到達度確認小テストや他の形の課題で代替することがあります。あるいは、課題の評価を加え、定期試験(レポート試験の予定は無い)の評価と総合して成績を決定する。

授業外学習

授業は主にノート講義または印刷物を用いた講義になる予定なので、まず、シラバスと講義ノートまたは印刷物および指示参考書に従って予習すると効果的な学習ができます。学習した範囲について一般の経済学入門書(大学図書館に備えてある入門や初等向けの経済学の文献)で復習または

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

一般に市販されている本ではなく、生協で扱ってもらえる有料の冊子体の印刷物を用意するかもしれません。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ケインズ革命とマクロ経済学	鈴木康夫	昭和堂	4-8122-0301-5
2				
3				

上記の本「1」は、どこの本屋さんにも在庫が無いかもしれません。これらの書物ではカバーできないところもあるが、授業中に適宜提示し補足す

前提学力等

高校卒業程度の知識で充分です。つまり、1回生に適した授業科目です。あるいは、3回生に就職活動前の経済知識の大まかなおさらいにも適しています。

履修資格

講義名	アジア・フィールド実習 ～アジアのSDGs～						担当教員	丸尾 雅啓 / 高橋 卓也 / 原田 英美子	
講義コード	1150116	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法			
ナンバリング番号									

授業概要

アジアの環境問題および持続可能な発展への課題（以下、環境問題等）をそれが生起している場の自然条件および社会条件と合わせて理解し、その解決策を検討する能力を海外現地教員による講義、事例調査とワークショップを通じて養うことを目標とする。そのために、問題を俯瞰的にとらえる能力、異なる社会的・文化的背景を有する人々とのコミュニケーション能力、専門的知識を問題解決に応用する能力を養う。授業の形態は、海外（アジア地域）の大学と連携し、アジア地域の環境問題等の現場を対象とした講義、フィールドワーク、ワークショップ形式で行うこととする。使用言語は英語とする。夏季休暇中または後期定期試験終了後に10日間程度の海外集中プログラムとして実施する。新型コロナウイルス感染症の対応に伴い、オンライン開催の可能性もある。

到達目標

- (1) アジアの環境問題等を自然条件、社会条件を踏まえ俯瞰的にとらえることができる。
- (2) アジアの学生と具体的な問題を通じてコミュニケーションできる。
- (3) 本コースで学んだ知識に基づき、具体的な環境問題等の解決策を提案することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

事前学習と帰国後のレポート作成・提出を課す。また、海外での集中講義期間中に、ワークショップの準備のための課題を適宜課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

英語でのコミュニケーションがある程度できる学力を有していること。概ねTOEICスコア550点以上の学力を基準とする。

履修資格

講義名	アジア・フィールド実習 ～アジアのSDGs～						担当教員	丸尾 雅啓 / 高橋 卓也 / 原田 英美子	
講義コード	1150117	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法			
ナンバリング番号									

授業概要

アジアの環境問題および持続可能な発展への課題（以下、環境問題等）をそれが生起している場の自然条件および社会条件と合わせて理解し、その解決策を検討する能力を海外現地教員による講義、事例調査とワークショップを通じて養うことを目標とする。そのために、問題を俯瞰的にとらえる能力、異なる社会的・文化的背景を有する人々とのコミュニケーション能力、専門的知識を問題解決に応用する能力を養う。授業の形態は、海外（アジア地域）の大学と連携し、アジア地域の環境問題等の現場を対象とした講義、フィールドワーク、ワークショップ形式で行うこととする。使用言語は英語とする。夏季休暇中または後期定期試験終了後に10日間程度の海外集中プログラムとして実施する。新型コロナウイルス感染症の対応に伴い、オンライン開催の可能性もある。

到達目標

- (1) アジアの環境問題等を自然条件、社会条件を踏まえ俯瞰的にとらえることができる。
- (2) アジアの学生と具体的な問題を通じてコミュニケーションできる。
- (3) 本コースで学んだ知識に基づき、具体的な環境問題等の解決策を提案することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

事前学習と帰国後のレポート作成・提出を課す。また、海外での集中講義期間中に、ワークショップの準備のための課題を適宜課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

英語でのコミュニケーションがある程度できる学力を有していること。概ねTOEICスコア550点以上の学力を基準とする。

履修資格

講義名	人間関係の科学B～コミュニケーションを考える～[こころのテクノロジー]						担当教員	高梨 克也 / 丸山 真央 / 大野 光明 / 谷口 友梨
講義コード	1150130	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM171							

授業概要

人間関係学科では、「発達」と「コミュニケーション」を主たるキーワードとして、心理学、社会学、教育学の3分野から、人間や社会のあり方を読み解いたり、新たな可能性を検討したりしている。
「人間関係の科学B-コミュニケーションを考える」では、「コミュニケーション」に焦点をあてて、心理学、社会学、教育学の3分野それぞれからのアプローチを通して、そのあり方や新たな可能性について考える機会を提供することをめざす。

到達目標

- (1) 日常の社会生活や会話、政治、社会運動、学校教育、メディアなどの多様な場面におけるコミュニケーションの様相を理解したうえで、そのあり方や新たな可能性に関する自身の考えを持つことができる
- (2) 講義内容に関する自身の考えを、適切な根拠に基づいて、論理的に説明することができる
- (3) 他者との協働を通して、お互いの考えに学び合うとともに、それをふまえて自身の考えを深めることができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	各教員が指示するレポートや講義中の課題等

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは使用せず、適宜、必要な資料等を配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書等についても、講義中に紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	人間関係の科学A～発達を考える～						担当教員	上野 有理 / 松嶋 秀明 / 中村 好孝 / 杉浦 由香里 / 原 未来
講義コード	1150135	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

人間関係学科では、「発達」と「コミュニケーション」を主たるキーワードとして、心理学、社会学、教育学の3分野から、人間や社会のあり方を読み解き、新たな可能性を検討している。「人間関係の科学A-発達を考える」では、「発達」に焦点をあてて、心理学、社会学、教育学の3分野それぞれのアプローチを通して、そのあり方や新たな可能性について考える機会を提供することをめざす。

到達目標

- (1) 生物としてのヒトの発達の特徴や、乳幼児から高齢者に至るまでの発達の様相を理解したうえで、そのあり方や新たな可能性に関する自身の考えを持つことができる。
(2) 講義内容に関する自身の考えを、適切な根拠に基づいて、論理的に説明することができる。
(3) 他者との協働を通して、お互いの考えに学び合うとともに、それをふまえて自身の考えを深めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	各教員が指示するレポートや講義中の課題等

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	人間関係の科学A～発達を考える～						担当教員	上野 有理 / 松嶋 秀明 / 中村 好孝 / 杉浦 由香里 / 原 未来
講義コード	1150135	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業計画

講義は、複数の学科教員によるオムニバス形式とする。乳幼児期、学童期、思春期、青年期、高齢期と、発達の軸に沿って講義を進める。

担当者から

講義名	暮らしの中の材料 ~材料の歴史~ [材料史]						担当教員	北村 千寿 / 仲村 龍介
講義コード	1150140	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM132							

授業概要

人類は日々の生活を便利に、快適に、そして活動しやすくするためにいろいろな材料を見だし、利用し、今日の文明を築き上げてきた。現在の豊かな暮らしは有史以来の材料の発達の結果であり、新しい材料の発見は時には歴史を変える役割もしてきた。このような材料の発達の経過と材料が社会の進歩に貢献してきた歴史や地域の特性について、それらの材料を金属やセラミックスなどの無機材料と繊維、高分子などの有機材料に分けて説明し、モノづくりの大切さについて理解を深める。
第1~7回は北村が担当し、第8~14回は仲村が担当する。
キーワード： 歴史、ゴム、紙、繊維、洗剤、漆、洗剤、色素、鉄鋼、半導体、蓄電池、レアメタル

到達目標

- (1) 多様な有機材料の性質や発見の経緯と歴史を理解し説明できる。
(2) 鉄鋼、半導体および蓄電池の素材開発の歩みを理解し、日本が強みとする(してきた)産業の歴史との関係を交えて説明できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	到達目標で示す(1),(2)については、それぞれ授業中の課題・レポート(50%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
上記以外		

第1回から第7回までと第8回から第14回まででそれぞれ課題・レポートを適宜与える。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に適宜プリント配布する

前提学力等

履修資格

講義名	差別と人権(同和問題)～人として生きる権利について考える～					担当教員	本田 可奈子/川端 智子/森本 安紀/ 岡本 紀子/片山 将宏/杉本 正紹	
講義コード	1150150	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM151							

授業概要

人権・差別とはそもそも何か、人権と差別について、国内外の具体的な様々な事象から学習し、考察することで、自分と他者との人権擁護を実践しようとする意識を高め、実際の行動に結びつける実践力を培うことをめざす。

到達目標

- (1) 様々な人権問題、差別問題に対して、当事者への深い洞察力を持ち、その感情に共感できる態度を形成する。
- (2) 様々な人権問題、差別問題に対して、科学的に評価・判断し、解決のための方策を考えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	100%	形態は、各担当者より、授業時に説明する。 6名の教員によるため、各担当教員の受け持ち時間の配分をもとに評価を行う。評価基準は、到達目標をもとに担当教員ごとに示され、最終評価は各教員の評価の配分をもとに100点に概算して行う
上記以外	0%	

- ・全講義時間の3分の1の欠席は、評価の対象とならない。
- ・理由なく開始後20分を経過して入室したものは、出席と認めず、出席カードや授業中レポートも受け取らない。
- ・レポートが未提出の場合は、その時間の評価点は加算されず、0点となる。

授業外学習

予習：各回のタイトルおよび概要に関連する日常生活で遭遇する事象や報道情報などを意識的に捉える。
復習：予習した経験知と授業内容を統合し、レポートの記述内容に反映する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「プリント配付」

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「適宜紹介」

前提学力等

特に定めない。

履修資格

講義名	自然科学入門～自然科学の歴史と技法～[自然科学の視点]						担当教員	松岡 純
講義コード	1150180	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM133							

授業概要

【概要】

現代社会は自然科学とその応用である技術を楽しむ。したがって「自然科学は世界をどう見るか」への理解は、科学技術や人間・社会の定量化・モデル化において重要である。モノの価値から知の価値へと豊かさの指標が転換期にある現在、自然科学という知の構造を理解する意義は大きい。しかし科学の成果に比べ、科学を生み出す過程は見え難い。そこで本講では科学史や担当教員の経験に基づく実例を多用して、自然科学の思考法について学ぶ。

【キーワード】

自然科学, 思考法, 論理, 実験, 観測, 数量化, モデル, 構造, 世界観

到達目標

- (1) 自然科学における世界観を, その歴史の変遷を踏まえて理解する。
- (2) 実験に基づく自然科学について, そのアプローチの方法論を理解する。
- (3) 自然科学において重要なモデル化の考え方とその方法論を理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	45	次の内容の3回のレポートを各15%とする。 レポート1: 自然科学における思考法の変遷について課題を纏める。(到達目標(1)) レポート2: 自然科学で使われる思考法を具体的事例へ応用する。(到達目標(2))
上記以外	55	毎回の小テスト(所要時間は数分程度)を, その回の授業内容について実施する。

毎回の小テストは7割以上の提出を必須とする。

授業外学習

初回授業の配布資料で指示する。
授業の後で復習として, 授業内容を自分なりにノートにまとめてみる, 特に「(ビザンチン帝国の崩壊) (ギリシャ系文化人のイタリアへの移

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業資料を毎回配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

前提学力等

履修資格

講義名	自然のしくみB～自然災害から生きのびるために～[自然現象のしくみ]						担当教員	倉茂 好匡
講義コード	1150185	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM134							

授業概要

日本ではさまざまな種類の自然災害が発生します。そのような自然環境下で生活するわれわれは、それらの自然災害と共存して生活していかざるを得ません。ある程度は人間の技術で「災害を防止する」ことも可能です。しかし、地震や火山噴火などを人間が制御することはできません。洪水を制御するにも、ダムや堤防等に対応可能な範囲のものならなんとかありますが、「想定外」のものが生じたなら相当に危険なことになります。ですから、われわれは自然環境を引き起こすような自然現象を正しく理解し、それに応じた「そなえ」をしておかなくてはなりません。そこでこの授業では、各種自然災害を引き起こすような自然現象に視点をあて、それらがどのようなメカニズムで生じるのか、どのような規模の災害が生じるのかをまず理解していただきます。それを受けて、普段からどのような「そなえ」が必要なのかを各自に考えていただきます。

到達目標

- (1) 自然現象を引き起こすさまざまな自然現象について、その特徴を科学的用語を用いて説明できるようになる。
- (2) 災害発生時を想定し、その自然現象の特徴に対する理解に基づいて自らの対応策を考えることができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	55	毎回の宿題の評価基準：1回5点満点。以下の基準で採点する。0点：読み取ることができない、要求された内容がまったく書かれていない。1～4点：要求された内容の一部しか書かれていない。誤字脱字がある。段落分けが不足している。意味不明の文章がある。(各項目に該当する場合、それぞれ満点より1点減とする)5点：要求された内容が
上記以外	45	「毎回のレスポンスペーパー」の評価基準：1回3点満点。以下の基準で採点する。0点：読み取ることができない、必要事項がまったく書かれていない。1点：必要事項の一部は書かれている。大きな論理エラーがある(記述不足を含む)。段落構成がない。2点：必要事項はすべて書かれているが、誤字脱字がある。小さい論理エラーがある。3点：必

授業外学習

「小説を読んで」の宿題に指定する小説は、後記「参考書」欄を参照のこと。1つの小説のボリュームがかなり多いので、授業計画では「小説1の読書に10時間、小説2の読書に20時間」を要したと仮定して記載している。実際には、平均して15時間程度で読めるものである。このため、この宿

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

石黒耀著：「死都日本」「富士覚醒」「震災列島」

前提学力等

文法的に正確な日本語で記述できること。
高等学校2年生程度の物理学の知識があると若干有利である。

履修資格

講義名	自然のしくみA～生物の多様性保全と持続的な資源利用のために～[自然保護論]						担当教員	荒木 希和子
講義コード	1150190	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	101HUM131							

授業概要

古来より、人間社会では多様な地球上の資源が様々な形で利用されてきました。しかし、これまで有限な資源を多用することで発展してきた産業においては、資源の枯渇や環境汚染などの問題が深刻化しており、今後は生物資源の利用が求められています。しかし、生物資源利用の可能性を最大限に保つためには、生態系を含む生物多様性を維持し、持続可能な方法で資源を利用しなければなりません。近年はバイオテクノロジーなどの科学技術の進展とともに、人間社会の発展と環境問題の解決において、多様な生物と生態系機能に配慮したより有効な生物資源の利用が期待されています。この授業では、過去から現在までの人間社会と自然環境の関わり、生物多様性ならびに生物資源の価値についての理解を深めてもらいます。そして最後に、これからの生物資源利用について自らの考えをまとめてもらいます。

到達目標

- (1) 人間社会と自然環境との関わりについて理解できるようになる。
- (2) 生物多様性と生物資源の危機を理解できるようになる。
- (3) 生物多様性ならびに生物資源の価値について理解できるようになる。
- (4) 持続可能な社会についての提言を持てるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	最終課題レポート(30%)：これからの生物資源利用に関するレポートについて評価
上記以外	70	(1) レスポンスペーパー(30%)：授業15回の回答シートについて評価(2点/回) (2) 課題レポート(40%)：4題の課題について評価(10点/回)

授業外学習

予習：次の授業内容とレスポンスペーパーの記入事項を提示するので、内容を確認して回答を考えておいてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考図書、資料、関連するウェブサイト情報について、授業内で紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	農業と環境B～微生物と生活～[植物の病気]						担当教員	
講義コード	1150223	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM179							

授業概要

農林業をとりまく微生物の世界に目を向け、食料生産などに有用な様々な微生物について紹介する。初心者や専門外の学生向けに応用微生物学を解説することを目的としている。微生物分類や性質の詳細は「応用微生物学」などの専門科目を履修して勉強すること。

到達目標

- (1) 微生物の定義と性質の概要を説明することができる。
- (2) 農林業に関連する微生物の世界について興味を示すことができる。
- (3) 発酵微生物について理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の講義でプリントを配布する。指定図書，参考書は講義の中で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	生活と健康～健全な日常生活を生きる～						担当教員	川端 智子/馬場 文/小野 あゆみ/ 渡邊 友美子/生田 宴里/玉川 あゆみ/ 下通 友美/喜多下 真里/松井 宏樹/
講義コード	1150225	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM178							

授業概要

人間の健康について多角的に捉え、発達過程や様々な生活環境と健康との関連性を振り返り、自らの生活をより健康的に整えられるための工夫を検討する。
人間看護学部教員によるオムニバス形式の授業で、各回異なるテーマで講義を行う。

到達目標

- (1) 生活習慣と健康との関連性を理解する
- (2) 自らの生活習慣を健康の視点から振り返り、問題点を検討することができる
- (3) 健康的な生活に向けて、行動変容をおこすことができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	レポートを課す授業は10回。どの回でレポートを課すかについては、初回の授業ガイダンスで示す。1回の評価割合を6%とし、レポート課題による評価割合は、6%×10回=60%となる。
上記以外	40	小テストを行う授業は5回。どの回で小テストを行うかについては、初回の授業ガイダンスで示す。1回の評価割合を6%とし、小テストによる評価割合は、6%×5回=30%となる。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

毎授業で小テストまたはレポートを課し、評価を行う。

授業外学習

配布資料を復習して、自分自身の健康管理や日常生活に役立てていくことを期待しています。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の授業で資料配布する（紙および電子）

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	生命・人間・倫理～人間の尊厳と権利～						担当教員	糸島 陽子 / 本田 可奈子
講義コード	1150230	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM154							

授業概要

人間の生命の尊厳と権利の尊重についての基本的な考え方、倫理原則、倫理理論を学ぶ。また、現代の生命倫理・医療倫理に関する具体的な問題や課題に視点を当て、看護の立場から適切な判断や解決の方略を考える。

到達目標

- (1) 現代社会における倫理的課題とその解決方略について説明することができる。
(2) 人に対する深い洞察力を持ち、人の尊厳と権利を擁護について説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	課題レポート 20% 課題レポート 10%
上記以外	70	ミニ討議・コメント 5%×14回

毎回ミニ討議を行うため、遅刻・欠席は評価の対象とします。

授業外学習

講義に関する項目については、事前に教科書を読み参加してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	テキストブック生命倫理	霜田求	法律文化社	9784589038951
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義中に紹介します。

前提学力等

履修資格

講義名	電子社会と人間～高度情報化社会の成り立ちと私たちの生活～						担当教員	柳澤 淳一
講義コード	1150270	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101HUM175							

授業概要

現在の私たちの生活は高度情報化社会における電子・情報分野の先端技術に支えられている。これは科学・技術の驚異的な進歩によるが、その変化があまりに急速だったため、個人の生活や社会に及ぼす影響には光の部分と影の部分が出てきた。科学・技術は、最終的には私たちの生命や社会生活に優しいものでなくてはならず、科学・技術と社会や人間との関わり合いや、科学・技術を発展させる、またはそれを利用する者としての社会的責任について認識を深めることは、社会の一員である我々にとって必要不可欠である。本講義では、我々と現在の高度情報化社会との関係について、生活を取り巻く環境からその歴史、機器の仕組み、実生活への応用例、ネット社会での生き方、これからの社会、などについて、主に電子・情報分野の視点から講述する。

到達目標

電子・情報技術を、単に与えられたブラックボックスとして受け身的に使うだけでなく、背後にある原理や現状の問題点まで理解することで積極的にそれぞれの専門分野に応用し、利用していけるような素養を身につけるきっかけにすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	初回の講義時に、電子社会との関わりに関連した話題の小レポートを課す(20%)。また、最終回の講義において、講義を通じて学んだことを含む総合的なレポートを課す(50%)。
上記以外	30	講義の理解度を確認するための簡単な小レポートを毎回課す。

6回以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて資料を配付する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：関連した文献を講義中に適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	人間と病気～人類と病気との出会いと戦いの歴史～						担当教員	安原 治
講義コード	1150430	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM180							

授業概要

人類の歴史は病気との闘いの歴史でもある。人類はその時代時代で、生命を脅かす病気に出会い、その病を克服するために悪戦苦闘を続けてきた。その結果、多くの病気が「死に至る病」から、「克服できる病」あるいは「ともに歩む病」へと変わりつつある。しかし、その一方で新興感染症のように以前は全く知られていなかった新しい疾患が出現したり、すでに克服したかのように思われていた感染症が再び流行したりするようになり、大きな医学的課題となっている。また、寿命の延長に伴って、認知症に代表される神経難病が、今後解決すべき課題として注目を集めるようになっていく。

本講義では、胃・心臓の病気、生活習慣病、感染症、がん、神経難病を中心に重要な疾患を取り上げ、人類がどのように病気と出会い、その原因を究明し、克服してきたか、病気の歴史を振り返りながら病気がおこるしくみを解説する。また、最近の医療技術の進歩には目をみはるものがあり、人間の生も大きく変わろうとしている。ここでは、最新の医学についても触れ、未来の医学を展望する。

到達目標

- (1) 胃腸、心臓、免疫、神経のおおよそのしくみが理解できる
- (2) がん、感染症、生活習慣病、神経難病など、主要な病気の発生機序が理解できる
- (3) 病気研究の歴史をとおして、科学的思考の過程が理解できる
- (4) 主要な病気の現在の状況と今後の展望が理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	レポート4回+レスポンスペーパー1回(各20点)
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	人間 vs. 病気	安原 治	サンライズ出版	978-4883257263
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高校「生物基礎」と「生物」(または旧課程「生物II」)を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	都市・建築を考える～川の未来学～						担当教員	村上 修一
講義コード	1150451	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号								

授業概要

本科目では、専門家あるいは一般市民として必ず関わりを有することになる、川の問題をとりあげる。まず、国内における川の未来像の決め方について現状が理解できるよう、河川行政に関する資料を用いて説明する。次に、川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになるために、特定の事例を紹介しながら問題点について説明する。その上で、川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになるために、参考となる国内外の事例を紹介し、改善策案出のポイントを説明する。

到達目標

- (1) 国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。
- (2) 川の未来像の決め方における問題点を特定できるようになる。
- (3) 川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標 (1) : ワークシート1 (30%) 到達目標 (2) : ワークシート2 (30%) 到達目標 (3) : ワークシート3 (40%)

ワークシート1, 2, 3は、それぞれ第5, 10, 14回の授業時間内に履修生が記述し、回収される。第6, 11, 15回に解説が行われ、履修生は理解を深める。

授業外学習

授業時間内に紹介される参考図書資料や参考サイトを閲覧すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第十堰日誌	姫野雅義	七つ森書館	978-4822811426
2	吉野川住民投票 市民参加のレシピ	武田真一郎	東信堂	978-4798911922
3	再帰的近代の政治社会学 吉野川可動堰問題と民主主義の実験	久保田滋 他	ミネルヴァ書房	978-4623050826

授業時間内に参考図書資料や参考サイトを紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	農業と環境A～農業と環境～						担当教員	大久保 卓也
講義コード	1150456	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

農業は世界各地で自然環境に大きな影響を及ぼしてきた。例えば、農業用水の取水による河川、湖沼、地下水の水量の減少・枯渇、耕地や放牧地の拡大による森林の減少、生態系の変化などである。農業散布の生態系への影響についても多くの研究事例が報告されている。このように農業は自然環境や水産業等の当事者以外の人間に対してマイナスの影響を及ぼしている。しかし、近年、水田の多面的機能として環境面でのプラス影響も指摘されており、農業のプラス面・マイナス面の両者を知り、環境と調和した農業の在り方を考えることが大事である。本講義では、農業の環境への影響について国内外の事例をみて学習する。また、環境保全型農業の現状について学習する。

滋賀県の協力により、県内の農業経営者や流通販売等の関連産業従事者を講師に農業の現場を学ぶ講義を数回行う予定です。

到達目標

農業と環境との関わりについて、過去の歴史、事例を学ぶことによって理解する。また、現在の農業の実状を知り理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	毎回、講義内容に関する宿題(レポート)を提出してもらいます。その内容によって評価します。
上記以外		

出席回数が全体の2/3未満の者は評価対象外とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	都市・建築をつくる～比較都市論～						担当教員	川井 操
講義コード	1150470	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM173							

授業概要

都市と何か、その定義（本質）、起源（成立）をめぐる問いは、極めて広範な領域に関わり、今日の都市を理解する上でも必要不可欠である。まずは、都市を媒介とする知の領野（都市生態学 都市地理学 都市社会学 環境心理学 都市史 都市文学 都市の現象学 都市の記号学……）を総覧しながら、原理的な問題を議論したい。そして、都市の類型、都市の歴史を理解する枠組みについて整理したい。具体的な視点とするのは、都市の形態、空間構成、計画理念である。そこでは、可能な限り多様な都市のあり方をとりあげたい。また、多様な構成原理を明らかにしたい。特に、非西欧における都市を積極的にとりあげたい。目指すは、世界都市論、世界都市（計画）史である。

到達目標

都市の歴史について洋の東西を問わずその概要について基本的知識を身につける。また、都市の成り立ちに関する基本的な理論について理解するとともに、様々な分野からの都市研究の方法があることを理解する。また、都市計画の方法、まちづくりの方法について基本的知識を得る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：指定図書：『都市史図集』（彰国社）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	都市計画の世界史	日端康雄	講談社現代新書	4062879328
2	都市史図集	都市史図集編集委員会	彰国社	439500489X
3				

前提学力等

世界史についての基礎的知識をもっていることが望ましい。

履修資格

講義名	キャリア形成への道A～考えるための道具～						担当教員	高松 徹
講義コード	1150511	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

本学のモットーである「学生の育つ大学」を実現するために、学生自身が様々な視点から思考して、自己と向き合い、他者を知ることを学ばせる。さらに、学生の学習意欲向上や将来像を持たせる。
この講義は、さまざまな思考の視点をオムニバス形式で授業を展開して学ばせる。
学生個々に必要な知的能力、論理的思考や判断力の基礎を考えさせるとともに、将来設計能力を職業理解の視点から考えさせるとともに、さらに、自ら学ぶための重要な要素である情報活用力について考えさせる。
講義資料の配布、課題レポートの提出、は県大ポータルUSPo、Microsoft Teams、などを使用します。

到達目標

書く力をつける（小論文：論理的に考え文章にまとめる。説得力のある文章を書く。）
読む力をつける（推薦図書などを読み、物の見方、考え方を多方面から知る。）
聞く力をつける（他者から学ぶ。判断基盤となる情報を得る。）
話す力をつける（自分の意見や体験から説得力をもって表現する。プレゼンテーションを行う。）
総合的に、思考力、判断力、表現力をつけることを目指す。
書籍や資料を読み、自分の意見をまとめて書く。相手に伝わるように話したり、発表する。他人の意見を聞いてディスカッションする。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	70	内容・着眼点30%、説得力・わかりやすさ20%、文章力・表現力・語彙力20%
上記以外	30	授業内での発表、討論への参加

欠席3回を超えると不合格

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各授業ごとにプリントなどを配布して、ディスカッションすることを基本とする。

前提学力等

履修資格

講義名	機械の再発見						担当教員	山根 浩二
講義コード	1150520	単位数	2	開講期	後期	授業方法	対面	
ナンバリング番号	101HUM174							

授業概要

授業概要：日常生活には、多くの機械や道具が使われているが、その基本となっているのは、てこ、滑車、ねじ、歯車、カムなどの紀元前に考案され使用されてきたものである。日頃から私たちが使用し親しんでいる機械や道具類の仕組みを知ることが、さらなる便利な使いやすい機械やおもしろい動作をする機械をつくるヒントになる。そこで、本講義では、日常接している機械を例にとり、いかに巧みな機械要素が利用されているのかを説明し、機械要素を再発見する。講義は、機械に興味をもっているが、機械に関する専門的な知識がない人でも理解できる内容とする。

キーワード：メカニズム、機械、器械、道具、機構、デザイン

到達目標

- (1) 基本的な機械要素の名称が言える
- (2) 基本的な機械要素を説明できる
- (3) いくつかの機械要素からなる機械や道具を挙げることができる
- (4) 新たなメカニズムをプレゼンテーションにより概説できる(対面授業に限る)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	原則、定期試験は実施しない
レポート課題	45	宿題の全週提出し満点を45ポイントとして評価。未提出1週毎に5ポイント減点。
上記以外	55	中間まとめ試験を25ポイント、最終まとめ試験を30ポイントで評価

毎回講義の終わりに、理解度チェックのために、Formsを利用したクイズへの回答を求めますので、マイクロソフトのTeamsやFormsが使えるようにしておくこと。
なお、クイズへの回答結果は成績には含めません。

授業外学習

Teamsで課題(宿題)を提示する際に、所定のワードファイルに解答を記載してTeamsで提出すること。なお、図を書くなど、自筆が必要な場合は、それを写真に撮り、ワードファイルに貼付けて提出すること。提出されたワードファイルは、教員の受領印(電子印)とフィードバックがある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書はありませんが、講義資料は、PDFファイルあるいはパワーポイントファイルで原則として講義の1週間前にTeamsで配信します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義資料を事前にスマホ、タブレット、PCなどのBYOD(Bring Your Own Device)にダウンロードするなど、当日、閲覧できるようにしておくこと。

前提学力等

とくになし

履修資格

講義名	キャリア形成への道B～キャリアデザイン～						担当教員	高松 徹
講義コード	1150530	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM124							

授業概要

学生一人ひとりが自身の将来を描き、人間形成とキャリア・職業観の育成、職業・進路の選択および決定ができる能力を培う。このために、昭和30年以降の日本の経済成長、消費者の行動、デフレの到来などが労働環境に及ぼした影響について明らかにする。更にリアルタイムでビジネスの世界で起きている現象・出来事を知り、そこから新たなビジネスの可能性や未来予測などを自分達自身で考え、発表し、クラスで共有していく。また、自己のキャリアについて広い観点から考えることの重要性に気づき、勉学・課外活動も含めた学生生活のあり方について考える動機付けとする。

到達目標

- (1) キャリアデザインの必要性を理解できる。
- (2) 将来設計のための経済や企業の見方を習得できる。
- (3) ビジネスや企業の仕組み、多様な働き方、各業界の動向を理解できる。
- (4) 自己のキャリアデザインを描くことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	毎回の授業ごとに課すレポート課題を授業時間内の15分で完成させて提出させる。 20%：講義の内容を理解できているか。 40%：レポート課題への解答が妥当か。
上記以外	20	グループディスカッションを数回行う。 20% ディスカッションに積極的に参加し発言しているか。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	Japan Studies ~ Introduction to Japanese Law ~						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150545	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

This course focuses on culture through the use of legal materials including cases, articles, and treatises, as well as other relevant materials. We will explore cultural differences between the United States and Japan and discuss by looking at real-life situations. We will observe the evolution of Modern Japan by examining the development of its government and legal institutions. Throughout the course, we will examine how culture affects legal development and discuss how these developments reflect and enhance culture. Because the course is offered on-site in Japan, we have a unique opportunity to observe Japan. These observations should be incorporated into writing assignments, class discussion, and presentations.

到達目標

1. To learn more about and be able to compare one's own culture and traditions through comparative inquiries of Japan and Japanese thoughts.
2. To recognize law as something conditioned by our way of thinking.
3. To gain skills to facilitate inquiry into globalization and its impacts from the perspectives of others.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	Midterm exam
レポート課題	30	Students will write one one-page paper on what they've learned in class. 3x10% There is also one final three-page paper. 1x30
上記以外	40	Presentation = 20% and participation = 20% for in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to actively participate will cause grades to be reduced.

授業外学習

Students should come with an open mind and attitude.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	Japan Studies ~ Introduction to Japanese Culture and Society~						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150555	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

This course focuses on culture through the use of manga, books, documentaries, and other native Japanese materials and experiences. We will explore cultural differences between the United States and Japan and observe the evolution of Modern Japan by examining Japanese life through history and other social sciences. We will take a critical look at the evolution of modern Japan from a closed society (Edo Period) to one of the world's economic superpowers. We will look specifically at how modern Japanese cope with the struggles of everyday life, how the sexes interact, and how the Japanese maintain their "unique" cultural identity in this global world. Because the course is offered on-site in Japan, we have a unique opportunity to observe Japan. These observations should be incorporated into writing assignments, class discussion, and presentations.

到達目標

1. To learn more about and be able to compare one's own cultural and traditions through comparative inquiries of Japan and Japanese thoughts. 2. To recognize culture as something conditioned by our way of thinking. 3. To gain skills to facilitate inquiry into globalization and its impacts from the perspectives of others.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		There is no test.
レポート課題	60	Students will write three one-page papers on what they've learned in class. 3x10% There is also one final three-page paper. 1x30
上記以外	40	Presentation = 30% and participation = 10% for in class and group activities.

Students are expected to actively participate in class. Failure to actively participate will cause grades to be reduced.

授業外学習

Students should come with an open mind and attitude.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	World Societies ~This American Life: Examining American Culture through Stories~ [Model United States of America]						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150560	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

Using short stories and essays from famous speculative fiction writer Harlan Ellison, this course explores contemporary American culture through stories. By reading stories, we will be able to discuss cultural differences and similarities between the United States and Japan and compare preconceived notions of 'America' with the realities of their experiences. This course confronts current issues in the United States such as immigration policies, homelessness, the rise and effects of social media, and gun violence. Through writing assignments, class discussions, and presentations, we will analyze aspects of the stories with historical and social lenses to enhance our understanding of what it means to be American today.

到達目標

- (1) Gain insight into what it means to be "American".
- (2) Become more self-reflective of one's own culture through comparative analyses with Americans' stories.
- (3) Develop cross-cultural understanding through perspective-taking and recognizing and challenging stereotypes.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	Final presentation (10%); Final reflection paper (10%)
上記以外	80	Homework/class preparation (50%); Discussion leader role (15%); Participation (15%)

- Participation is based on: 1) active engagement in group work, and 2) preparedness for class.
- Also, each class will have several discussion leaders that will lead small groups in discussion.

授業外学習

- In-class activities rely heavily on students' preparation. Weekly homework assignments (Reading guides) are to be completed while completing each reading.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Harlan 101: Encountering Ellison	Harlan Ellison	Edgeworks Abbey	978-0983622338
2				
3				

Additional readings may be assigned in addition to the textbook.

前提学力等

履修資格

講義名	World Societies ~Model United Nations~ [Model United Nations]						担当教員	Benjamin John McCracken
講義コード	1150570	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

Model United Nations is an educational simulation in which students take on the roles of delegates from various United Nations member states. Representing a country other than their own and roleplaying in the Model United Nations committees will provide students with opportunities to become more knowledgeable about and empathetic towards the experiences of others around the world. In order to participate in committee meetings and debate issues as a delegate, they will also gain experience in conducting research, practice developing persuasive arguments in negotiation, and engage in teamwork and coalition-building activities. Class activities will include analyzing current events, practicing perspective-taking, and recognizing stereotypes and 'cultural universals.'

到達目標

- (1) Be aware of and analyze the histories and political systems of a selection of countries and current international issues.
- (2) Become competent speakers in debates and discussions and in presenting persuasive arguments.
- (3) Learn how to conduct research and survey the news with a critical lens.
- (4) Practice looking at issues comprehensively and creating solutions to complex global issues.
- (5) Develop critical thinking, debating, and writing skills and enhance cross-cultural understanding.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	10	Final reflection paper
上記以外	90	Homework/class preparation (55%); Country presentation (5%); Committee leader role (10%); Participation (20%)

Participation is based on: 1) active engagement in group work and debates, and 2) preparedness.

授業外学習

In-class activities rely heavily on students' preparation. Weekly homework assignments include Country Information Sheets, Position Papers, and Draft Resolutions.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

There is no assigned textbook. All materials will be provided by the instructor.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	キャリア形成への道C～キャリアデザイン特講～						担当教員	濱口 桂
講義コード	1150580	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号								

授業概要

ビジネス社会に必要な、「思考力」「発想力」「表現力」、そして「コミュニケーション力」を実践的に身につけるため、毎回テーマ・プログラムを変えての主にグループワークやグループディスカッション等でのアクティブラーニング型授業となります。
授業の開始後すぐに毎回グループ分けを行いますので、遅刻厳禁となります。

遅刻するとグループに入れないため授業に参加できない可能性がありますのでご注意ください。
グループディスカッションやグループワーク、発表など、授業中は発言や質問、発表、およびワークなどへの積極的に参加することが成績評価の基準となります。

到達目標

- (1) 自ら情報収集し考え行動できる力
- (2) AIに出来ない創造性やアイデア発想力
- (3) 他のメンバーと協働しながら目標達成できるアライアンス力

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業内でのアウトプット a. 授業時間中での発言・発表・質問など b. 授業時間中に実施したグループワーク等で作成した成果物

授業開始直後に毎回グループ分けを実施するため遅刻者はグループワーク等に参加できなくなるため、遅刻厳禁となります。
遅刻者および途中退出者はその授業での成績評価対象外となりますので注意してください。
成績評価の方法については、1回目の授業で詳細をお伝えしますので、出来るだけ出席してください。

授業外学習

ビジネス全般をテーマとして扱っていきます。普段からビジネスニュースについては、すでにアンテナを立てて情報収集に努めてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

日本経済新聞や日経MJ新聞、ビジネス雑誌等の記事をコピーして配布することがあります。

前提学力等

履修資格

講義名	Contemporary Japanese Culture						担当教員	倉茂 好匡
講義コード	1150592	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

This lecture is composed of two parts. At first, you will learn about natural disasters in Japan, in particular about typhoon, earthquake and volcanic eruption. Further, you will recognize how to evacuate in such cases, because you may meet these disasters during your stay in Japan. Secondly, you will learn about many kinds of Japanese culture through practical lessons by experts and workshops.

On this page, we will show a course syllabus in case that exchange students cannot visit Japan. In this case, this course will be provided on-demand or live via On Line.

到達目標

This course is a thematic series of lectures aimed at attaining a comprehensive understanding of the rich culture of Japan, both past and present. Students will become familiar with Japanese culture through lectures. Through this series, students will be introduced and gain a general understanding such subjects as environmental science, language arts, history and art.

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90	The essay(s) will be scored as follows: S (10 point): Excellent essay with sufficient information and well considered opinion. In addition, the essays are very logical.
上記以外	10	Your presentation will be scored similar to the scoring policy of the essays.

Plagiarism will not be tolerated and will result in termination of class registration. Tardiness will affect your final assessment.

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

In case of On-Demand class, teaching material will be sent before the class time.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Maximum number of the participants will be 15. Students who wish to enroll this course must connect with the Office of International Programs and Development beforehand.

履修資格

講義名	地域共生論						担当教員	鶴飼 修/岩間 憲治/伊丹 君和/ 米田 照美/松嶋 秀明/香川 雄一/ Jimenez Verdejo Juan Ramon/坂本 眞一/関
講義コード	1170010	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	102BAS101							

授業概要

他者と共感し豊かな対話の中で育まれる地域共生の意義を理解し、自ら率先して地域で実践することの大切さを学ぶ。本授業は、本学学生が身につけることを目指す能力：変革力を構成する「コミュニケーション力」「構想力」「実践力」の3のうち、「コミュニケーション力」の育成に重点をおいた導入科目として位置づける。環境、工学、人間文化、人間看護の各分野から提起される「地域共生」に係る課題、提示される観点、提供される事例を踏まえ、グループ討議を繰り返しながら「自己」「他者」「地域」それぞれの特性への理解を深めるとともに、各自のスキルの向上をめざす。

毎回グループワークを行います。コミュニケーションの苦手な人は練習の機会としてください。

座席は指定されるので、事前にUSPoで確認し授業開始前に着席できるようにすること。座席入替は3回あります。

レポート提出はTeamsを利用する予定です。

到達目標

自己の強みや弱みを把握できている。地域共生の概念と自己の専門性とのつながりを理解し説明することができる。（自己認識）

他者・地域とのコミュニケーションをはかるための基礎的な作法を理解し説明することができる。（親和力）

様々な専門分野における地域共生の概念を理解し説明することができる。

自己の考えを自分の言葉で整理し、他者に発信できる。（自信創出力）

自己の意見、他者意見の対話を通じて成果物を作成することができる。（協働力・統率力）

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	75	・5点×15回=75点
上記以外	25	・グループ成果物 5点×5回=25点 ・グループ成果物は相互評価によるボーナスポイントがある

原則テキスト内に記載のルーブリックによる。
5回以上欠席すると単位の取得は困難と思われる。

授業外学習

毎回宿題を課す。テキストを参照のこと。
初回授業時までには初回分の宿題をしてくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域共生論 改訂版	地域共生論運営委員会	サンライズ出版	
2				
3				

テキストは学内生協で付録資料2点（観光マップ、統計でわかる滋賀）と一緒に購入すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域診断法						担当教員	鶴飼 修
講義コード	1170040	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	191CNW201							

授業概要

私たちの生活は、日々判断の連続です。判断には、対象の本質を見極める能力が必要です。人とのつきあい、就職先の選定、将来のマイホーム購入、あるいは仕事のやり方、新しい取り組みへのチャレンジなど、物事の判断をしなければならない機会がたくさんあります。この授業では、そうした判断を行う際の「物事の見方」を修得します。物事をうわべだけで判断するのではなく、分解・再構築してその本質的な特徴を見出す手法を「地域」をテーマとした「地域診断法」「エコロジカルプランニング」という手法を通じて身につけます。

到達目標

地域診断法の理念、意義、手法および地域における地域資源・地域特性とその「つながり」について説明することができる
 具体的地域を対象にエコロジカルプランニングを用いた簡易な地域診断法を実践する事ができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	79	地域診断法の理念、意義、手法および地域における地域資源・地域特性とその「つながり」について説明することができる：ミニレポート=49%、 具体的地域を対象にエコロジカルプランニングを用いた簡易な地域診断法を実践する事ができる：グループレポート
上記以外	21	理解度確認中間ふりかえりにて、中間試験を行う。

評価方法

- 基準点6点(7点満点の場合) = ほぼ妥当な解答
- 評価の視点

授業外学習

グループで成果物を作成するため時間外の活動が生じる場合がある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

現在新しい教科書を作成中です。発刊されたらお知らせします。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域診断法	鶴飼修責任編集・近江環人地域再生学座編	新評論	4794808909
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	システム思考法						担当教員	田口 真太郎
講義コード	1170050	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	291CNW202							

授業概要

システム思考の理念・手法を用いたケーススタディを通じて、複雑で多様な地域課題に創造的な解決策を提示する能力の修得を目指す。具体的には、地域課題を整理する最初のステップとして、システムの図示化を通じた課題整理の基本を習得することを目的とする。その後の「地域デザインA、B、C、D」の実践的な学びで想定されるシチュエーションを考慮し、社会や経済、自然環境などの多面的な見方で原因を究明し、より根本からの課題解決の組み立て方の基礎を学んでいく。

到達目標

- (1) システム思考の理念及び手法を理解している
- (2) 課題解決にシステム思考の手法を用いることができる
- (3) 課題解決にあたって、システム思考の手法を用いて創造的な提案ができる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	授業内で課す複数の課題に対し、以下のポイントで評価する。 課題解決にシステム思考の手法を用いることができる 課題解決にあたって、システム思考の手法を用いて創造的な提案ができる
上記以外	60	システム思考の理念及び手法を理解しているか、授業態度とミニレポートで評価する。

授業外学習

グループで成果物を作成するため時間外の活動が生じる場合がある

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて資料を配付する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	学習する組織 システム思考で未来を創造する	ピーター M セング	英治出版	4862761011
2	システム×デザイン思考で世界を変える 慶應SDM「イノベーションのつくり方」	前野隆司 (著)他	日経 B P	4822249948
3				

前提学力等

履修資格

講義名	問題解決デザイン論						担当教員	鶴飼 修
講義コード	1170060	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	291CNW203							

授業概要

デザイン思考の理念・手法を用いた問題解決デザインのケースワークを通じて、様々な問題に創造的な解決策を提示する能力の修得を目指す。具体的には、デザイン思考が求められる社会的背景および、その理念と意義を理解し、具体的なケースを用いてデザイン思考の手法を理解し、自らが活用できるようワーキングを行い、課題に対して創造的な解決方法の提示を試みる。

到達目標

- (1) デザイン思考の理念及び手法を理解している
- (2) 課題解決にデザイン思考等の手法を用いることができる
- (3) 課題解決にあたって、デザイン思考等の手法を用いて創造的な提案ができる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	(1) デザイン思考の理念及び手法を理解している：ミニレポート5% × 11回 + 最終レポート15%
上記以外	30	(2) 課題解決にデザイン思考の手法等を用いることができる：演習課題（グループ）15% (3) 課題解決にあたって、デザイン思考等の手法を用いて創造的な提案ができる：演習課題（個人）15%

授業外学習

授業は、毎回ワークシートを配布し、授業時間中に記入し提出する形で行います。成果物を作成するため時間外の活動が生じる場合があります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	デザイン思考が世界を変える	ティム・ブラウン著 千葉敏生訳	バカノファイヴン文庫	4150504075
2				
3				

教科書に指定した本は文庫本は絶版です。生協にはありませんので中古市場で各自購入してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考VTR（第1回の時に上映します）：https://www.ted.com/talks/tim_brown_urges_designers_to_think_big?language=ja

前提学力等

近江楽士（地域学）副専攻科目「地域診断法」、「システム思考法」を履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	地域デザイン A						担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平
講義コード	1170070	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	291CNW301							

授業概要

2022年度は9月中旬～下旬の夏季集中講義期間に3日間開講予定。

地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主体的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。

提案した内容が地域で実践されたり、人びととの対話をきっかけに地域での新たな活躍の場を獲得するなど、学生にとっても様々なチャンスにつながる機会になっている。

夏季3日間の集中講義として行う。

学生、院生成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。

地域から提起されたホットでリアルなフィールドや課題に挑む。

地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。

到達目標

- (1) 様々な地域再生事業の概要及び実施手法について理解し説明できる。
- (2) フィールドワークやワークショップによって地域の現状と課題についての確に把握し整理することができる。
- (3) 地域課題・地域再生に資する事業を企画し提案することができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)(2)(3)についてはワークブックへの記入と提出(60%)、グループワークの成果(20%)、およびプレゼンテーション(20%)により評価する。

授業外学習

フィールドワークを踏まえた地域再生提案の作成に向けて、チーム毎に相談したうえで授業時間外に作業を行う場合がある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	使用しない			
2				
3				

授業時に配布するワークブックにより進める

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域再生 滋賀の挑戦 エコな暮らし・コミュニティ再生・人材育成	近江環人地域再生学座編	新評論	
2	地域診断法 鳥の目、虫の目、科学の目	近江環人地域再生学座編	新評論	
3	近江楽座のススメ - 学生力で地域が変わる	近江楽座学生委員会編著	ラトルズ	

前提学力等

履修資格

講義名	地域デザイン B						担当教員	鵜飼 修 / 上田 洋平
講義コード	1170080	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	291CNW302							

授業概要

2022年度は6月4日(土)、6月26日(日)、7月16日(土)、7月24日(日)の4日間開講予定。

本学の教室でのレクチャーと連携自治体である日野町での現地授業(フィールドワーク)により構成(日野町への交通手段として貸切バスを利用する予定)

地方自治の現場における政策形成過程を体験しながら、行政の仕組みと力を活かした地域課題解決のあり方を学ぶとともに、地域の実情に即した政策形成に必要な知識とスキルを身につける。また、これからの自治体行政を担う人材に求められる役割や能力について、現場の職員との議論や共同作業を通じて理解する。

自治体の現役職員と学生の混成チームを編成し、ともにフィールドワークやワークショップに取り組む。
リアルな地域課題を題材として、具体的な政策の形成・提案に挑戦する。
公務員を志望する学生にとっては公務員インターンシップと同等の学びと実績につながる。

到達目標

地域課題解決やまちづくりに果たす行政の役割や機能について理解し説明できる。
地域の実情に即した政策形成の要点について理解し説明できる。
自治体行政を担う人材に求められる役割や能力について理解し説明できる。
地域の実情に即した政策や課題解決策について提案できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)(2)(3)についてはワークブックへの記入と提出(60%)、到達目標に示す(4)についてはグループワークの成果(30%)、およびプレゼンテーション(10%)により評価する。

授業外学習

アクセス等 フィールドへの移動は貸し切りバス等を手配。
費用負担 大学および貸し切りバス乗車集合場所までの交通費、昼食代は各自負担

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	使用しない			
2				
3				

ワークブックを使って進める

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域デザインC						担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平
講義コード	1170090	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	291SEP301							

授業概要

少子高齢化・人口減少時代において、地域の活性化の手段として「コミュニティ・カフェ」等に代表される「居場所づくり」の必要性が高まっている。この授業では、そうした居場所づくりの事例研究と実践を通じて、居場所づくり・コミュニティ・カフェのノウハウを学ぶ。

おおよその予定（開催日時は受講生全員で相談の上決定します）

- 10月（未定）日 オリエンテーション 日時はUSPoで連絡します。
- 10月 コミュニティ・カフェの事例と経営手法に関する勉強会（2回予定 ゼミ形式）
- 11月 コミュニティ・カフェの実践事例の視察（1-2件予定 教員による引率）
- 12月 コミュニティ・カフェの企画・広報・段取り（グループ作業）
- 1月 コミュニティ・カフェの実践（実施は1日限りの予定）
- 2月 ふりかえりワークショップ（半日）
- 3月 レポート作成（各自）、提出

・開講日程及び開講の形態はプロジェクトやチームの状況に合わせて相談しながら設定する。

到達目標

コミュニティ・カフェとはどのようなものか説明できる。
 コミュニティ・カフェの経営のポイントを説明できる。
 コミュニティ・カフェの運営を実践することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	コミュニティ・カフェとはどのようなものか説明できる。 20% コミュニティ・カフェの経営のポイントを説明できる。 20% コミュニティ・カフェの運営を実践することができる。 60%

授業外学習

各自による事前学習、グループワークでの時間外作業が求められる。
 視察、フィールドワーク、企画、実践は、メンバーと調整し、授業時間に限らず変則的に実施される。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

資料は適宜配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

- ・近江楽士（地域学）副専攻に登録していることが望ましい。
- ・地域診断法、システム思考法を履修済みであることが望ましい。

履修資格

講義名	地域デザインD						担当教員	西岡 孝幸 / 鶴飼 修
講義コード	1170100	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	ゼミ	
ナンバリング番号	291SEP302							

授業概要

社会や地域の課題解決に向けた事業化のプロセスを学ぶ。

優れた事業計画を有する者やチームについては、地元企業や産業支援機関などのサポートを受けながら計画の実現を目指す。開講日程や講義の形態については事業計画や履修生の状況に合わせ相談しながら設定し、チームに分かれてのフィールドワークや現地訪問、個別指導やワークショップを行う。本講義は事業計画の実現を目指す中でノウハウを実践的に学修するのが目的であり、事業化を最終目的とするものではない。しかし、実現可能性のあるものについては、そのまま事業化を進めることも想定している。なお、授業計画は目安であり、状況に合わせて柔軟に対応する。

2. 成果物

上市した場合：事業報告書と事業計画書を提出する。

上市出来なかった場合：場合当該事業化に向けた活動の中で見えてきた問題・課題の整理と課題解決策について報告書（活動報告書）を提出す

到達目標

1. ゴール

事業計画の実現に向けた環境の整備を行う。事業計画の無い者については、事業計画の作成から進める（事業のテーマについては最低限保有していること）。

ゴールは事業計画の対象となるモノやサービスの市場への供給（以下、上市とする）。上市には至らぬケースでも上市までの活動とする。

市場に供給可能な事業計画が策定できる
事業計画の魅力を伝えるプレゼンテーションができる
事業化に向けた必要なノウハウを実践できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	活動ごとに課すレポート内容 30%
上記以外	70%	事業計画書または事業報告書（事業計画書まで到達しない）30% プレゼンテーション20% メンター評価20%

評価対象は出席率60%以上とする。出席率60%未満は評価の対象としない。

授業外学習

授業はゼミナール形式で行い、各自の活動は授業外の時間に行う。メンター先の企業や金融機関、産業支援機関などへの訪問と事業計画のプレゼンテーションの実施やフィールドワークも想定される。活動時には

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	デザイン思考の授業	佐宗邦威	日経ビジネス人文庫	
2	通勤大学MBA『事業計画書』	池上重輔	通勤大学文庫総合法令	
3				

必要な資料は適宜配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『調査・リサーチ活動の進め方』	酒井隆	日経文庫	
2				
3				

・松下芳生（2002）『マーケティング戦略ハンドブック』PHP研究所

前提学力等

近江楽士（地域学）副専攻のSEコースを履修しているか、ソーシャル・ビジネス概論およびビジネスプランニングを履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	歴史と文化[近江の歴史と文化]						担当教員	京樂 真帆子
講義コード	1170110	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	102BAS103							

授業概要

近江の持つ地域的特性とそれを基盤とする文化の特質を歴史学的視点から探る。近年、近江の文化・歴史に関する研究が盛んである。その成果の一端を紹介していく。特に、近江文化の持つ歴史性に注目し、古代から現代への展開を追う。

到達目標

- (1)近江の歴史に関する基礎知識を理解し、それを日本の歴史との比較を通して論じることが出来る。
- (2)近江の文化に関する基礎知識を理解し、それを日本の文化との比較を通して論じることが出来る。
- (3)近江の歴史と文化の基礎知識に基づき、その保存と活用について具体的な提言が出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	毎回レスポンスカードをとり、2点満点で採点する。その合計点(2点×14回=28点)と、到達確認テスト(72点)の点数の合計(28点+72点=100点)で行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

高等学校での日本史Bの知識を前提として講義を進める。
また、漢文史料などの歴史史料や地図データなどを活用するので、高校で学習した国語・古典および漢文の基礎を理解していること。

履修資格

講義名	地域社会福祉論						担当教員	富永 豊
講義コード	1170120	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	102BAS104							

授業概要

大きな経済力とともに福祉国家としての高い福祉制度を持っていた日本の社会において、低成長経済の長期化や雇用形態の変化といった産業経済状況に加えて、家族形態の核家族化、少子高齢化や人口減少といった社会構造等の変化に伴い、豊であるはずのこの日本で医療や年金などの社会保障制度の行きつまり、そして孤独死や子ども・若者の自殺の増加、子どもの貧困と格差社会の広がりのほか、児童虐待を始めとする家庭等での暴力といった社会問題がクローズアップされています。また、労働者を人ではなくコストと捉えて生産性や効率性といった価値を優先する社会的風潮の高まりの中で、パワーハラスメントと長時間労働で精神的に追い詰められて自殺する事例は後を絶たない状況にあり、人の幸せとは何かがいまあらためて問われています。いうまでもなく社会福祉は、すべての人の幸せ(well-being)を目的とし、共生社会の実現を目指しています。その社会福祉の現状を見つめなおし、国民の安心や体験としての幸せのためにはどのような共通認識で何が必要なのか、この滋賀の社会資源にも目を向けながら皆さんと考察できればと思います。

到達目標

- (1) 我が国における社会福祉の仕組みや制度の概要について学ぶ。
- (2) 社会福祉制度の現状と課題について考察することができる。
- (3) 今後の社会福祉のあり方について考えられる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)について、択一式試験を行う。(40点) 到達目標(2)について、記述式試験を行う。(10点) 到達目標(3)について、論述式試験を行う。(10点)
レポート課題	20	到達目標(2)について、事前学習のためのレポート課題を課す。(4題)
上記以外	20	到達目標(3)については、上記の外に授業評価として、質疑や意見発表等を行うことで理解を深めることを重視する。

全講義数の2分の1以上を欠席した場合、および課題レポートの提出が2回未満の場合は、成績評価の対象とはしません。また、出席カードについて、本人以外のカードを不正に作成し提出した場合は、作成した本人も含めて欠席扱いとします。

授業外学習

講義資料(レジュメ)は、原則として事前に配布しますので、講義の日までに予習をして予備知識を得ておいてください。授業は、講義時間の制約上、基礎的な知識があることを前提に進めます。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「新社会福祉論・社会保障」	田畑洋一ほか3名編著	株式会社	ISBN978-4-7620-2372-9
2	「現代社会と福祉」	大橋謙策・白澤政和共著	ミネルヴァ書房	ISBN978-4-623-05396-4
3	「社会福祉学」	平岡公一ほか2名著	有斐閣	ISBN978-4-641-05376-2

前提学力等

履修資格

講義名	地域コミュニケーション論						担当教員	上田 洋平 / 鶴飼 修
講義コード	1170130	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	102BAS102							

授業概要

コミュニケーションとは何だろうか。「自分の意見が言える」こと？「人の話が聞ける」こと？それとも「空気を読む」ことだろうか？
 当講義では「comm nic re(分かち合う、共有する)」というこの語の由来に立ち返り、コミュニケーションとは何か、また地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景等について概観した上で、産官学さまざまな立場・現場で活躍する地域人との対話や共同作業を通じて、リアルな地域課題を地域に関わる皆で分かち合い、その解決策を立案するための基礎能力を身に付けること、「浴びるように他者と出会い、対話し、作業する」3日間の過程を通して「コミュニケーションの基礎体力」を養うことを目指す。

当科目は冬期実践ターム2月11日(金)、12日(土)、13日(日)の3日間、集中的に開講する。

到達目標

- (1) 地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景や意味について理解し説明することができる。
- (2) 対話や課題抽出、成果のとりまとめにかかる基礎的な技法について理解し実践することができる。
- (3) 上記の理解と実践に基づきチームワークによって成果を取りまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)(2)(3)について、課題レポート(ワークブックに記入する方式)により評価する。(3)については、チームワークの成果に対する評価も加味する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・副教材としてワークブックを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域づくり人材論						担当教員	上田 洋平
講義コード	1170140	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	102BAS105							

授業概要

地方創生、地方分権時代の到来が叫ばれるなか、現実には、時代創造の表舞台たる地域社会は今、コミュニティの衰退、活力の減衰、経済の沈滞等、山積する課題を抱えながら、暗中模索の状態にある。あたかも演劇における舞台転換、そのための暗転の最中のような状況である。各地でこの状況を突破する人材が切望される所以である。この暗転の後、まもなく訪れる新しい地域の時代、その幕開けを告げながら、舞台上に踊り出てくるのはどのような人たちであろうか。

当科目では、次代の地域社会を担う人材、地域の活性化を促す人材について、1) 地域における「人材」とは何か、2) 地域づくり人材が必要とされる背景、3) 地域づくり人材に求められる役割と能力、5) さまざまな地域づくり人材像、6) 地域づくり人材が生き生きと活躍する地域社会の展望等について、具体的な人とその活動を題材にとりながら議論する。

授業では実際に各分野で活躍している人々を教室に招き、その存在や体験に触れながら学ぶ。

到達目標

- (1) 地域社会で人材が求められている事実とその背景について理解し説明できること。
- (2) 地域づくりや地域再生、地域活性化に取り組む人材に求められる条件やそうした人材が備えるべき能力について理解し説明できること。
- (3) 地域づくりや地域再生、地域活性化を達成する上で、様々な人材が、様々な場面や段階において果たす役割について理解し説明できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	授業内容を踏まえた総括的なテーマを問うレポートを課す。
上記以外	60	毎回の授業に関して問う小レポートを貸す。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	使用しない			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

資料は授業中に配布する。参考書等は授業時に適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	びわこ環境行政論						担当教員	井手 慎司
講義コード	1170150	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	102BAS106							

授業概要

地方自治体の政策は、開発と保全の両方から地域環境に大きな影響を及ぼす。滋賀県をフィールドに各分野の政策立案にかかわる行政担当者の講義を通じて、地域環境政策の課題を学び、琵琶湖という環境資産をもつ地域の持続可能な発展への政策とその実施について考える。(なお、ゲスト講師の都合により、講義の順序が入れ替わることがある。)

到達目標

- (1) 滋賀県の現行の各種環境政策を説明できる。
- (2) 滋賀県の環境政策の変遷を説明できる。
- (3) 持続可能な滋賀社会のビジョンについて自らの考えを述べることができる。
- (4) 持続可能な滋賀社会を実現する政策について自らの考えを述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	25	到達目標で示す(1)(2)(3)(4)については、(1)7%、(2)7%、(3)7%、(4)4%で評価する。
レポート課題		
上記以外	75	到達目標で示す(1)(2)(3)(4)については、毎回の小テスト((1)20%、(2)20%、(3)20%、(4)15%)で評価する。

毎回、講義内容に関する小テストを課す。
また授業中は、それぞれの課題にどのような環境政策が有効かを考えながら講義を聞くようにする。

授業外学習

予習には同科目のTeams上に掲載する前年度の当該講義の講義資料と録画動画に加えて関連リンクの「滋賀の環境」を参考にする。
復習には同科目のTeams上に掲載する当該講義の講義資料と録画動画を参考にする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	多文化共生論						担当教員	
講義コード	1170170	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

日本における外国人住民の増加を受け、2006年に総務省が「地域における多文化共生推進プラン」を策定し、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく」多文化共生の地域づくりを推し進める必要性を打ち出した。滋賀県においても、2010年に「滋賀県多文化共生推進プラン」を策定、5年間の計画期間が終了するため、さらに検討を行い、2015年3月に「滋賀県多文化共生推進プラン（改訂版）」を策定した。この授業では、教育や医療、行政などの各現場で多文化共生にとりくんでいる方をゲストスピーカーに招きながら、多文化共生の地域づくりにおける現状と課題について学び考える。

隔年開講につき、2023年度に開講します。2022年度は不開講です。
授業計画は暫定です。ゲストスピーカーの調整により変更の可能性があります。

到達目標

多文化共生の地域づくりにおける現状と課題（特に滋賀県の現状と課題）を説明することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	【期末レポート】40% 地域や対象（学校など）を特定した上で、当該地域等の多文化共生の現状と課題、課題への対応状況について、具体的にまとめる。
上記以外	40	【小レポート】 事前配付資料、当日配付資料、講義内容、グループワーク等を踏まえて、出される課題に従って書く（複数回実施）

授業外学習

翌回の講義内容に関する事前配付資料を読み込み、グループワークの準備をする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	移住者が暮らしやすい社会に変えていく30の方法	移住労働者と連帯する全国ネットワーク	合同出版	978-4772603898
2	にほんでいきる 外国からきた子どもたち	毎日新聞取材班	明石書店	9784750351193
3	多文化共生キーワード事典【改訂版】	多文化共生キーワード事典編集委員会	明石書店	978-4750331966

前提学力等

履修資格

講義名	地域産業・企業から学ぶ社長講義						担当教員	高松 徹 / 倉茂 好匡
講義コード	1170180	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	102BAS108							

授業概要

滋賀県の産業・経済の特徴を行政や金融からの視点で理解するとともに地元の産業構造や地元産業界、地域企業が抱える課題や特色を学ぶ。さらに、滋賀県の代表企業等のトップに産業界ニーズ、社会人として要求される人材、およびこれから社会人になる学生に期待される能力などについて直接学生に語っていただく。
 講義依頼先は、毎年同じではなく、変更することがある。
 毎回、講義当日に講義担当者から出される講義に関する課題レポートを提出する。
 講義に関する質問は、講義終了直後でも受け付け、その場で回答していただくが、後日でも受け付け、質問・回答を講義サイトに掲示する。
 課題レポート、講義後質問のためのファイルはUSPoまたはTeamsを使って掲示し、ダウンロードして、作成後提出する。提出期限は、講義終了後1週間程度とする。

到達目標

- (1) 滋賀県の経済・産業の特徴を理解できる
- (2) 情報の整理力と理解力(各講義内容を系統づけて理解できる。)
- (3) 課題発見力(講義内容から重要な情報を整理し自己のキャリアに繋げる課題を発見できる。)
- (4) コミュニケーション力(講義中の質疑応答、グループディスカッションでの質疑応答ができる。)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	30%: 滋賀県の経済・産業の特徴を理解できている。 30%: 講義内容から重要な情報を見つけかつ整理できている。 20%: 授業の準備ができている。
上記以外	20	20%: 質疑応答やグループディスカッションに参加している。

社長による講義のため、遅刻者は教室に入ることできません。
 レポートとグループディスカッションで成績を評価します。したがって、欠席回数が3回を超えたときは、不合格とします。

授業外学習

各講義には、事前準備が必要です。準備する内容を講義中に説明します。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	SDGsと滋賀のローカル・イノベーション[近江の暮らしとなりわい]						担当教員	上田 洋平
講義コード	1170190	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	102BAS109							

授業概要

2021年度は8月19日、20日、21日の3日間の集中講義として開講する。

近江・びわ湖を深掘りすると、ひろい世界につながっていた。加盟国の圧倒的賛成をもって採択された「SDGs (Sustainable Development Goals: 2015年国連サミット)」をめぐる動きに見られるように、持続可能な共生社会の実現を目指す取り組みが、世界各国で加速している。滋賀県はこの潮流にいち早く呼応し、世界共通の目標を滋賀というローカルな現場で達成することに名乗りをあげ、注目を集めている。

日本の縮図とも言われ、日本の歴史の舞台裏としても古来重要な位置を占めてきた近江。里山、人里、里湖、里島それぞれの風土に根差して鍛え上げられた近江各地の暮らしとなりわい。そこには人々が、また、人と自然が「ともに、ここで、無事に」生きていくために必要な知恵と経験が蓄積されており、それらの多くは、単にローカルな経験に留まらず、持続可能な世界の実現に資する普遍的価値をもつ。

当科目では、近江の暮らしとなりわいの現場における様々なことなみを事例として、持続可能な共生社会の実現に必要な知見を導き出すとともに、SDGsの考え方に照らして、ローカルな現場の実践・課題と、グローバルな実践・課題とがどのように関わっているのか、その関わりによ

到達目標

- (1) 地域の風土とそれに根差した暮らしとなりわいの概要や特質を、具体的な地域の暮らしや事業の事例を踏まえて理解し説明できること。
- (2) SDGsの考えに照らして、グローバルな課題・目標とローカルな解決・実践とのかかわりを理解し説明できること
- (3) 持続可能な共生社会を担い創造する主体としての自己の役割と可能性について各自の意見を形成すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)～(3)について、当日配布するワークブックへの記述内容、グループディスカッションの成果を踏まえて評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	使用しない(ワークブックを用いて学修)			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	近江の美						担当教員	印南 比呂志
講義コード	1170200	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	102BAS110							

授業概要

近江の美と名づけられた当科目は、必ずしも洒落た芸術やデザインを追い求めるのではなく、日常見られる生活の中で刻まれた「美」を掘り起こすようなまなざしを養うことを重視する。
特に、近江には、古来より琵琶湖とその山々に囲まれた豊かな自然とその恵みを活用した美術工芸が根付き、多くの職人が近江に集い、自身の技を磨いてきた。こうした営みから編み出された「美」、作品を通じて湧き上がる「感性」がどのように醸成されてきたかを振り返る。さらに最前線で活躍する職人、企業家、編集者、デザイナー、アーティストなどによるゲスト講師を招聘して、担当教員との対談によりさらに美意識を深めていく。
初回の授業において、この授業に対する履修希望調書をとる。授業に対する姿勢と履修動機を評価し、履修者を第2回目の授業より100名程度に絞ることとする。そのため、初回授業には必ず出席すること。

到達目標

滋賀県で培われてきた伝統工芸、伝統的建築、祭事にはじまり、独自の産業として培われてきたファッション産業、地域ブランド、さらにはそうした観光資源を活用したツーリズムなどの事例を知り、本学が所在する滋賀県内で日常的に垣間見えるさまざまな「美」を意識できる。また、感銘を受けた美の要素が何であったのか表現（レポートやプレゼンテーション）でき、そこで得られた経験から、滋賀に埋もれた「美」の再認識し、自分自身の「美のまなざし」を育み、そうした視点を、第三者に伝えることを到達目標とする。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	毎回の授業でのレスポンスシート（レポート）及び、最終レポート課題により評価する。
上記以外		

毎回の授業態度などを観察する。（研究室のアシスタントが授業中にチェックする）

授業外学習

毎週の授業テーマに関する地域、人、ものについて事前に調べてチェックしておく。授業後はテーマとなった場所など訪問することを推奨する。副専攻や近江楽座などに積極的に参加するとよい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて、資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

伝統工芸、地域デザイン、自然景観、職人の匠の技、歴史などに、研究対象としての視点をもっていること。

履修資格

講義名	MBA入門～ビジネス・ゲームで学ぶ経営～[経営学序論]					担当教員	西岡 孝幸
講義コード	1170210	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義
ナンバリング番号	291SEP201						

授業概要

少子高齢化による人口減少や経済の成熟化に加え、今回のコロナウイルス禍では不確定で振れ幅の大きい社会に変貌することが予想される。このような時代を力強く生き抜き、社会を変革に導き貢献するためには社会の課題解決積極的に思考し活動のできる「起業家的人材」である。本講座ではビジネス的手法による課題解決を図ることのできる起業家的思考とスキルの習得を目指す。

本講義では企業経営とはなにかについて、ビジネス・ゲームという限定されたモデルを使い経験的に学ぶ。限定されたモデルと見え、体感することで得る気付きは経営の本質に迫るものがある。例を挙げると、組織運営におけるリーダーシップやコミュニケーション、協働といったものの重要性や会計の仕組みや付加価値をマネジメントするスキル、経営戦略の種類と手法、報告会における説明責任なども学ぶ。

なお、講義の多くをグループワークが占めるので議論や意見交換を重ねて意思決定をすることの重要性も学ぶことが出来る。経営や経済の知識を学ぶだけでなく、就職活動や社会人になってからでも、この講座での学びは十分に生かされるものと確信する。

到達目標

- (1) 企業経営に関する基礎的な知識(理念、付加価値、戦略、会計など)について理解し説明ができる。
- (2) 具体的な企業を対象とした簡単な企業分析ができる。
- (3) 課題解決に向けた効果的なプレゼンテーションができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標(1)については毎回授業時に課すレポートにより評価する(50%)
上記以外	50	到達目標(2)については授業後半に作成する企業分析報告書により評価する(20%)。到達目標(3)についてはグループワークによるプレゼンテーションの成果により評価する(30%)。

授業への出席率については60%以上を評価の対象とする。したがって、提出されたレポート他の成績が良くても出席が60%に満たない場合は不合格とする。

授業外学習

本講座はビジネス・ゲームなどで体感することで生じる「気づき」が大きな意味を持つ。この気づきの多い受講生と少ない受講生とでは学習効果の差は大きい。気づきを鍛えるには、日頃から新聞、ニュースなどに関心を持ちアンテナを高くしておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介、資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『16歳からの経営学』	勝見明	宝島社	
2	『これから始める簿記入門』	佐々木理恵	新星出版社	
3	「図解」わかるMBA!	池上重輔	PHP文庫	

・稲盛和夫(2013)『生き方』サンマーク出版

前提学力等

簿記の知識がある方が望ましいが必須ではない。

履修資格

講義名	ソーシャル・ビジネス概論[コミュニティとライフデザイン][地域社会とキャリア創生]						担当教員	鶴飼 修 / 西岡 孝幸
講義コード	1170225	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

社会的な課題や地域課題の解決手法としてのソーシャル・ビジネス(SB)やコミュニティ・ビジネス(CB)について概要を学ぶ。具体的には、前半では、SB、CBの理念について先駆者から学ぶとともに、代表事例を学習する。後半では、SB、CBを実践するための基礎的な知識を学ぶとともに、事例研究からそのノウハウを学ぶ。

到達目標

- (1) ソーシャル・ビジネスおよびコミュニティ・ビジネスとはどのようなものか説明ができる。(1~4回)
- (2) ソーシャル・ビジネスおよびコミュニティ・ビジネスの事例を紹介できる。(2~8回)
- (3) ソーシャル・ビジネスやコミュニティ・ビジネス実践のためのノウハウを説明できる。(9~13回)
- (4) 事例をもとに、ソーシャル・ビジネスやコミュニティ・ビジネスの簡易な事業計画が作成できる。(14, 15回)

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	78	到達目標の(1)~(3)については、毎回授業時に課すレポートによって評価する。各回6%×13回=78%
上記以外	22	到達目標の(4)については、授業時に行うワークショップの成果物やレポート、プレゼンテーションによって評価する。22%

60%以上の出席をもって評価の対象とする。したがって、レポートの評価が高くても出席率が60%を満たさない場合は不合格となる。

授業外学習

- ・グループワークを課す場合がある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

読み込む書籍の一部や講義スライドについては、事前にTeamsのファイルに配信します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	貧困のない世界を創る	ムハマド・ユヌス	早川書房	415208944X
2	近江商人ものしり帖	淵上 清二	サンライズ出版	978-4-88325-370-8 C0034
3	現代語訳 論語と算盤	守屋 淳	ちくま新書	978-4480065353

細内信孝著「コミュニティ・ビジネス」【旧版】も参考にします。

前提学力等

履修資格

講義名	ビジネス・プランニング[地域企業講座][地域中小企業講座]						担当教員	西岡 孝幸 / 鶴飼 修 / 酒井 道
講義コード	1170230	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	291SEP203							

授業概要

新たに事業を起す場合に必要となるビジネス・プランニング(事業計画)について学ぶ。受講生の皆さんが将来的に起業する場合においても、就職した先で、社内起業家として新事業を立ち上げる場合においても事業計画は必要である。本講座では事業計画がなぜ必要なのか、どのような役割を持つのかについて学ぶ。
また、ビジネス・モデルキャンパスを用い、その構造についての学びを深め、ビジネスプランの作成までのプロセスを経験する。

到達目標

最終的には現実に想定しうる社会および地域の問題・課題解決をテーマに事業計画を作成する。

到達目標としては

- (1) 事業計画の作成目的は何かを理解し説明できる。
- (2) 事業計画の構造を理解し説明できる。
- (3) 事業計画書を作成することが出来る。
- (4) 作成した事業計画に基づいて効果的な説明ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	到達目標(1)、(2)については毎回授業時間内に課すレポートにより評価する(50%)
上記以外	50	到達目標(3)については作成された事業計画書の内容により評価する(30%) 到達目標(4)については事業計画のプレゼンテーションの成果により評価する(20%)

出席率60%以上をもって成績評価の対象とする。したがって、レポートや事業計画書、プレゼンテーションが高評価であっても出席率60%未満では不合格となる。

授業外学習

企業経営は経済や社会の変化に大きく影響を受ける。したがって、常日頃より新聞記事やニュースに関心を持って行動してほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	通勤大学実践MBA「事業計画書」	池上重輔	通勤大学文庫	
2				
3				

必要資料は都度配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『儲けのしくみ』	酒井威津善	自由国民社	
2	事業計画に落とせるビジネスモデルキャンパスの書き方	西田泰典	クロスメディア・パブリッシング	
3	いちばんやさしいビジネスモデルの教本	山口高弘	インプレス	

参考書については講義で適宜紹介する。

前提学力等

簿記の知識はあった方が良いが必須ではない。

履修資格

講義名	彦根商工会議所寄附講義「世界遺産のまちづくり・人づくり」						担当教員	上田 洋平
講義コード	1170240	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

世界遺産とそれをめぐる人びとの営みについて様々な視点から議論することを通じて、地域固有の文化及び自然の遺産を守り・活かすまちづくりとそれを担う人材について総合的に学ぶ。

具体的には世界遺産とそれに関わるまちづくりについての基本・本質を押さえたうえで、全国各地の世界遺産及び世界遺産をめぐる人と状況に題材を採ったケースメソッド、彦根城（およびその関連遺産）の世界遺産登録に向けた産官民の取り組みを生きた教材とするワークショップ、文化遺産を活かしたまちづくり事業の提案等に取り組む。

これによりまちづくりの現場で生きる知と実践力、さらには世界市民として当事者として活動する動機や心構えを体得する。

国内世界遺産都市の担当者や当事者をゲストに招き、また、2024年に世界遺産登録を目指す彦根市の関係者や当事者とともに学ぶ。

当講義は彦根商工会議所による寄付講座として開講する。

到達目標

- (1) 世界遺産の本質について理解し説明できる
- (2) 世界遺産のまちづくりを進める上での課題とその解決の方向性について理解し説明できる
- (3) 世界遺産都市の「まちづくり」「ひとつづくり」「なりわいつくり」について考えをまとめ・提案できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	到達目標に示す(1)(2)については、授業毎に課す小レポートによって評価する
上記以外	40	到達目標に示す(3)については、チームでの議論や調査を踏まえて作成した提案の内容によって評価する

土曜または日曜に3コマ分連続で彦根城の現地見学を行う。

授業外学習

身近にある世界遺産とそれを擁するまちを訪問し、あるいは事前に調べることが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	使用しない			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

資料は授業中に配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	食と健康～食を通じた健康との関わり～						担当教員	佐野 光枝 / 福渡 努 / 矢野 仁康 / 奥村 万寿美 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 / 畑山 翔 /
講義コード	1170250	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

本講義では、食や運動が健康に与える影響について理解し、自分の食生活の現状を知ること、健康な人生を生きるための基礎知識を広く勉強する。

到達目標

- (1) 健康に生きるために自分が必要な栄養素を理解できる。
- (2) 健全で豊かな食生活を送ることを実践できる。
- (3) そのために必要な食品を選ぶことができる。
- (4) 運動や栄養が健康に及ぼす影響を理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業毎に記入・提出するレスポンスシートから評価する。

3分の1以上欠席した場合は成績評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要な場合は授業中にプリントを配布する

前提学力等

履修資格

講義名	食と健康～食を通じた健康との関わり～						担当教員	佐野 光枝 / 福渡 努 / 矢野 仁康 / 奥村 万寿美 / 遠藤 弘史 / 中井 直也 / 今井 絵理 / 東田 一彦 / 畑山 翔 /	
講義コード	1170250	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号									

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	ガイダンス / 栄養とは？	授業の概要説明。その後、「栄養」や「栄養学」とは何かについて解説する。					2	シラパスを読み、何を勉強する授業			2
第2回	食品の分類とその特徴	普段何気なく食べている食品の分類と、それぞれの食品学的・栄養学的特徴を解説する。					2	授業で出てきた赤字の部分を中心に			2
第3回	5大栄養素のはたらき	炭水化物、たんぱく質、脂質、ビタミン、ミネラルの体内での働きや代謝について、解説する。					2	自宅にはどのような食品があるのか			2
第4回	栄養素の代謝	各栄養素が体内でどのような運命をたどるのか、また代謝の観点からバランスのよい食事がどのようなものかについて解説する。					2	スーパーなど食料品を売っている店			2
第5回	食事が関わる病気	普段の食事がどのように健康の維持に関わっているか、また病気はどのような状態の事を示すのかを解説する。					2	5大栄養素のそれぞれの特徴について			2
第6回	栄養健康調査の統計データ	日本人における栄養素摂取状況についての主な情報源である国民健康・栄養調査の手法及びその知見について解説する					2	講義中に配布した資料などを用い			2
第7回	日本人の食事摂取基準と食事バランスガイド	我々はどの栄養素をどのくらい摂取すればよいのか、またバランスよく食べることにについて解説する。最後に自身の食事について振り返					2	食事内に含まれる栄養素の種類について			2
第8回	メッツの計算	メッツとエネルギー消費量の計算方法について解説する。					2	摂取した栄養素がどのように代謝さ			2
第9回	運動と栄養	運動と栄養が健康の維持・増進に及ぼす影響について解説する。					2	食事と病気の関わりについてのこれ			2
第10回	日本の食品衛生	わが国においてどのように食の安全が保たれているか、国民の安全が守られているかを解説する。					2	講義中に配布した資料などを用い			2
第11回	食べ物と薬	食べ物と薬は、私たちの健康の維持、病気の予防や治療に重要な役割を果たしているが、食事が薬の効果や安全性にどのような影響を与えるの					2	人がどのような食事内容を摂取して			2
第12回	食と健康に関する情報	健康への好影響/悪影響を謳う情報が氾濫している。これらの情報を扱う方法、評価する方法について解説する。					2	授業中の配布物などを見直し、日本			2
第13回	食と栄養と腎臓	腎臓はヒトが生きていく上で重要な臓器である。一方で「物を言わぬ臓器」とも呼ばれる。腎臓という臓器からみた食・栄養、そして健康					2	これまでの講義(1～6回)で分か			2
第14回	食べる力=生きる力	生涯にわたって「食べる力」=「生きる力」を育むことが重要です。今、様々な食をめぐる課題が山積しています。口腔機能が成長や栄養					2	授業中に配布したプリントを見直			2
第15回	妊娠中の食生活が赤ちゃんの健康に与える	両親の体形や食を含む生活習慣が子供に与える影響について解説する。その後15回の授業を振り返り、総まとめをする。					2	スマホなどを利用して、平日と休日			2
								運動量が多い日と少ない日の消費工			2
								これまでの運動体験とその運動に必			2
								今後の運動機会とその際に摂取すべ			2
								わが国では食品の安全がどのように守			1
								講義内容について理解が及ばなかつ			3
								講義予定内容について自身で調べて			1
								講義内容について理解が及ばなかつ			3
								食べ物と健康に関するどのような情			2
								予習でとりあげた食べ物と健康に関			2
								ヒトの腎臓がどこにあるか、何をし			2
								食生活と腎臓に関する病気を調べる			2
								口腔機能について調べる			2
								子どもの「かむ力」を発達させるた			2
								「遺伝」、「発生」、「エピジェネ			2
								本授業全体の復習をする。			2
担当者から											

講義名	名著から学ぶ環境問題～環境問題に関する教養を身につける～						担当教員	上河原 献二 / 井手 慎司 / 高橋 卓也 / 香川 雄一 / 林 宰司 / 村上 一真 / 和田 有朗 / 瀧 健太郎 / 平岡 俊一
講義コード	1170260	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

環境問題の名著を通して、対象とした環境問題、それに関する基本的な考え方を学ぶとともに、当該問題領域のその後の展開について学ぶ。それにより、環境問題に関する教養を身に付けるとともに、環境問題を考える力を養う。昨年度の授業資料ないし参考文献をオンライン上で掲示するので、各講義毎に予習すること。（同リンクは、履修登録者に4月上旬にUSPOにて連絡する。）また授業中に示す参考文献を読んで復習すること。

到達目標

各名著が対象とした環境問題、それに関する基本的考え方、当該問題領域のその後の展開について説明できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	各回講義後のレポート
上記以外	30	各回授業中の評価

10回以上出席かつ10回以上レポートを提出することを単位取得要件とする。

授業外学習

授業対象の各名著について、可能な範囲で、目を通しておくことが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	コンピュータとインターネット～マルチメディア情報システム～						担当教員	奥村 進
講義コード	1170280	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号								

授業概要

文系理系を問わず、大学生または社会人としてコンピュータやスマートフォンなどの情報機器を用いたり、インターネットにつながった様々な情報システムを利用したりすることは至極当然のことである。本講義では、最近の技術的背景をふまえたもて、情報機器や情報システムおよびその周辺を支えている基礎的事項について習得することが目的である。なお習得した知識は、ITパスポート試験(iパス)という国家試験につながる。

キーワード：コンピュータ、インターネット、ITパスポート試験(iパス)

到達目標

- (1) 企業と法務、経営戦略、システム戦略について理解し、基本的事項について説明できる。
- (2) 開発技術、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントについて理解し、基本的事項について説明できる。
- (3) 情報の基礎理論、コンピュータシステム、情報システムの要素技術について理解し、基本的事項について説明できるとともに、基礎的な計算問題を解ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	到達目標(1)、(2)、(3)とも客観式試験を行う。
レポート課題	20	到達目標(1)、(2)、(3)とも授業で扱った内容に関連する演習問題を課す。
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	【令和4年度】いちばんやさしいITパスポート	高橋 京介	SBクリエイティブ	4815613737
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	キタミ式イラストIT塾 ITパスポート 令和04年	きたみ りゅうじ	技術評論社	4297124491
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	地域と文化～近江の古民家～						担当教員	石川 慎治
講義コード	1170290	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

伝統的な集落・町なみの景観がよく残る滋賀県だが、それぞれの地区に特色がある。たとえば、建物の屋根は、その素材・形・通りに対する屋根の向きによって集落・町なみの表情が変わる。この講義では、こうした風景を形成する構成要素（素材・意匠）に着目し、近江の古民家を中心にしながら、「地域」と「文化」の関係について学ぶ。

到達目標

古民家や伝統的な集落・町なみに関する基礎知識を理解し、近江の地域文化を論じることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	55	第15回授業終了後に、レポート課題を課し、期限内に提出する。
上記以外	45	レスポンスペーパーを、毎回授業内で書いて提出する。

レポート課題(55%)とレスポンスペーパー(45%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	近江の古民家 素材・意匠	石川慎治	サンライズ出版	978-4-88325-184-1
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	電子システムの最先端						担当教員	学科教員 / 宮城 茂幸 / 作田 健 / 柳澤 淳一 / 乾 義尚 / 岸根 桂路 / 坂本 真一 / 一宮 正義 / 酒井 道 /
講義コード	1170320	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

1. 電子システムに関するテーマの最前線について紹介する。
2. 電子システムに関する多様なテーマの背景と意義、簡単な動作原理について説明するとともに、世の中の応用事例について紹介する。

到達目標

1. テーマの背景と意義を説明できる 40%
2. テーマの簡単な原理を説明できる 40%
3. テーマの世の中での応用例を説明できる 20%

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	1. テーマの背景と意義を説明できる 40% 2. テーマの簡単な原理を説明できる 40% 3. テーマの世の中での応用例を説明できる 20%
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	電子システムの最先端						担当教員	学科教員 / 宮城 茂幸 / 作田 健 / 柳澤 淳一 / 乾 義尚 / 岸根 桂路 / 坂本 眞一 / 一宮 正義 / 酒井 道 /
講義コード	1170320	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業計画

電子システムに関するテーマの最前線について紹介する。

紹介するテーマについて（テーマ紹介順番は第一回目の授業前に提示予定）

テーマ名（各テーマのキーワード）です。

- ・通信トレンドの変遷とそれらを支えるエレクトロニクス（通信）
- ・集積回路技術の最先端（集積回路）
- ・電波でできること～無線通信・非接触計測（電波）
- ・私たちの暮らしを支える半導体ナノテクノロジー（半導体、ナノテクノロジー）
- ・光波と電子波のインタープレイによる光学応答の増強（光波）
- ・半導体プロセスの最先端応用技術（半導体プロセス）
- ・安全安心な社会を支えるセンシング技術（センシング技術）
- ・電気エネルギーを利用した照明と空調調和の技術（照明）
- ・環境にやさしい新しい冷却システム（エアコンの原理と種類）
- ・電力系統を守る機器とシミュレーションの活用事例（電力系統）
- ・「メタ物質」- これまでの電波・光材料を超えて -（メタ物質）
- ・行動認識の未来（行動認識）
- ・進化する画像処理技術とその応用（画像処理）
- ・人工知能と社会（人工知能）
- ・数理モデリングと数学解析、特にニューラルネットワークについて（ニューラルネットワーク）

授業前に各キーワードについての調査を図書館やインターネットなどで予習を実施してください（2時間を目安）。また、授業内容と授業課題について復習を実施してください（2時間を目安）。

担当者から

この科目は、工学部の学生諸君に対しては自由科目で、成績の評点が60点以上であっても卒業要件単位には算入されません。

講義名	国際文化学概論～比較宗教論～						担当教員	間 永次郎
講義コード	1170340	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

本講義では19世紀より始まった「(比較)宗教学」(=学問として様々な宗教を捉える営み)の歴史と理論を学ぶ。これにより、諸宗教を感情論ではなく知的にとらえる方法と問題点を学んでいく。世界の様々な宗教についての知識を習得し、諸宗教の平和的共存の可能性を考えていくことは、現代のグローバル時代における重要な営みである。本講義の学びを通して、世界に無数にあるように見える宗教が、多くの場合、歴史的に互いに密接に繋がっていたこと、そして、宗教は決して「必然的に」対立するものではないことを見ていく。
授業計画については授業の進み具合や履修状況を鑑みて、適宜前後・変更する。

到達目標

本講義の目的は以下の三点にある。
 (1)世界の諸宗教の系譜とエッセンスを学ぶこと。
 (2)(比較)宗教学の歴史・理論・方法を学び、宗教を比較する際に陥りがちな対象の「序列化」と「実体化」の問題点を適切に理解すること。
 (3)グローバル時代に必要な諸宗教の平和的共存の道について考察していくこと。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80%	小テスト(30%)：授業2～3回に一度、小テストを行う。 期末テスト(50%)
レポート課題		
上記以外	20%	平常点(出席状況、コメントなど)

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回レジュメを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	宗教学を学ぶ	井上順孝	有斐閣	464118268X
2	グローバル化時代の宗教文化教育	井上順孝	弘文堂	4335160992
3				

井上の『宗教学を学ぶ』は授業内容と密接に関わるので、各自、精読しておくことをおすすめする。

前提学力等

特になし。

履修資格

講義名	教育実習・事前事後指導（高等学校免許・4年次）						担当教員	胡田 裕教 / 杉浦 由香里 / 原 未来
講義コード	1600010	単位数	3	開講期	前期実習	授業方法	演	
ナンバリング番号	304TEA215							

授業概要

教育実習とそれに関わる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価・反省を大学において行う。

到達目標

- (1) 授業における実践力を身につける。
 - (2) 児童生徒との関わりにおける実践的指導力を身につける。
 - (3) 学校教育の内容や学校システムを理解する。
- 上記をもとにして、教員に求められる資質を身につけ、学校現場の諸問題に対処できる力を養う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習および事前事後指導への参加態度や教育実習の省察に基づき執筆する教育実践記録の成果をもとに成績評価を行う。(まとめのレポート提出を含む。)

- (1) 正当な理由なき欠席・遅刻は一切認めない。
- (2) 万が一、正当な理由なき欠席・遅刻をした場合、該当学生の態度・意欲などの状況判断のうえ反省文を提出し、その内容に応じてその後の授業の参加を検討する。

授業外学習

- (1) 卒業生の「教育実践記録」をしっかりと読んでおくこと。
- (2) 個人またはグループにおいて自主的に授業実践の改善に努めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：なし。適宜プリントなどを配付する。参考書：授業内に随時紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「履修の手引」の「第3章 資格取得の手引」「2 各学部・学科における教育職員免許の取得について」の「(3)『教育実習・事前事後指導』について」を参照して、履修届けを提出すること。

履修資格

講義名	教育実習・事前事後指導（中学高校免許・3年次）						担当教員	胡田 裕教 / 杉浦 由香里 / 原 未来
講義コード	1600020	単位数	5	開講期	後期実習	授業方法	演	
ナンバリング番号								

授業概要

教育実習に関わる事前の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。このための事前の学習を大学において行う。

到達目標

- (1) 授業における実践力を身につける。
 - (2) 児童生徒との関わりにおける実践的指導力を身につける。
 - (3) 学校教育の内容や学校システムを理解する。
- 上記をもとにして、教員に求められる資質を身につけ、学校現場の諸問題に対処できる力を養う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		事前指導への参加態度や学習指導案などの成果をもとに成績評価を行う。（学習指導案とそれに関連する資料一式の提出を含む。）初回オリエンテーションへの出席を忘れないこと。

- (1) 正当な理由なき欠席・遅刻は一切認めない。
- (2) 万が一、正当な理由なき欠席・遅刻をした場合、該当学生の態度・意欲などの状況判断のうえ反省文を提出し、その内容に応じてその後の授業の参加を検討する。

授業外学習

- (1) 個人またはグループにおいて自主的に学習指導案の改善に努めること。
- (2) 個人またはグループにおいて自主的に授業実践の改善に努めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	教師をめざす学びのハンドブック	木村裕・杉浦由香里・原未来ほか	かがわ出版	978-4-7803-1021-4-C0037
2				
3				

初回授業に持参すること。その他は、講義の際に適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「履修の手引」の「第3章 資格取得の手引」「2 各学部・学科における教育職員免許の取得について」の「(3)『教育実習・事前事後指導』について」を参照して、履修届けを提出すること。

履修資格

講義名	教育実習・事前事後指導（養護教諭・3年次）						担当教員	森本 安紀 / 古株 ひろみ / 伊丹 君和 / 下通 友美 / 千田 美紀子 / 胡田 裕教 / 八木 利津子
講義コード	1600030	単位数	5	開講期	後期実習	授業方法	演習	
ナンバリング番号	304TEA217							

授業概要

教育実習（養護教諭）とそれに関わる事前事後の指導である。実際に教育現場で教育指導をするにあたり、児童・生徒を理解する方法や、養護教諭の役割について直接的、体験的な学習を深める。また、事前学習と、事後のまとめ、評価、反省を大学において行う。

到達目標

- (1) 学校における教育理念や内容などが理解できる。
- (2) 教育実習において、養護教諭の役割を理解するとともに、保健管理および保健指導の実際を学ぶ。
- (3) 教育実習生としてふさわしい態度で積極的に実習に取り組む。
- (4) 学校教育を推進するための教育システムが理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	
上記以外	100%	教育実習での記録も含めた実習評価 100% なお、評価方法は合否判定で行う。

- 1) 本講義は4回生で履修の教育実習事後指導と合わせて5単位の履修科目である。
- 2) 教育実習、事前事後指導に欠席の場合は、評価対象にならない場合がある。
- 3) 原則、全日程の出席を評価の対象とする

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリントを配付する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新訂版「学校保健実務必携（第5次改訂版）」	学校保健・安全実務研究会	第一法規	978-4-474-06863-6
2				
3				

参考書 授業内に適宜紹介する。

前提学力等

第3章資格取得の手引きの「各学部・学科における教育職員免許の取得について」の「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

履修資格

講義名	教育実習・事前事後指導（中学校免許・4年次）						担当教員	胡田 裕教 / 杉浦 由香里 / 原 未来
講義コード	1600040	単位数	5	開講期	前期実習	授業方法	演	
ナンバリング番号	304TEA216							

授業概要

教育実習とそれに関わる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価・反省を大学において行う。

到達目標

- (1) 授業における実践力を身につける。
 - (2) 児童生徒との関わりにおける実践的指導力を身につける。
 - (3) 学校教育の内容や学校システムを理解する。
- 上記をもとにして、教員に求められる資質を身につけ、学校現場の諸問題に対処できる力を養う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実習および事前事後指導への参加態度や教育実習の省察に基づき執筆する教育実践記録の成果をもとに成績評価を行う。(まとめのレポート提出を含む。)

- (1) 正当な理由なき欠席・遅刻は一切認めない。
- (2) 万が一、正当な理由なき欠席・遅刻をした場合、該当学生の態度・意欲などの状況判断のうえ反省文を提出し、その内容に応じてその後の授業の参加を検討する。

授業外学習

- (1) 卒業生の「教育実践記録」をしっかりと読んでおくこと。
- (2) 個人またはグループにおいて自主的に授業実践の改善に努めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：参考書：講義の際に、適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

「履修の手引」の「第3章 資格取得の手引」「2 各学部・学科における教育職員免許の取得について」の「(3)『教育実習・事前事後指導』について」を参照して、履修届けを提出すること。

履修資格

講義名	教育実習・事前事後指導（養護教諭・4年次）						担当教員	森本 安紀 / 古株 ひろみ / 伊丹 君和 / 下通 友美 / 千田 美紀子 / 胡田 裕教 / 八木 利津子
講義コード	1600050	単位数	5	開講期	通年実習	授業方法	演習	
ナンバリング番号	304TEA217							

授業概要

教育実習（養護教諭）とそれに関わる事前事後の指導である。実際に教育現場で教育指導をするにあたり、児童・生徒を理解する方法や、養護教諭の役割について直接的、体験的な学習を深める。また、事前学習と、事後のまとめ、評価、反省を大学において行う。

到達目標

- (1) 学校における教育理念や内容などが理解できる。
- (2) 教育実習において、養護教諭の役割を理解するとともに、保健管理および保健指導の実際を学ぶ。
- (3) 教育実習生としてふさわしい態度で積極的に実習に取り組む。
- (4) 学校教育を推進するための教育システムが理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1)～(4)教育実習での記録も含めた実習評価 100% なお評価方法は合否判定とする。

- 1) 本講義は3回生で履修の教育実習事前学習と合わせて5単位の履修科目である。
- 2) 教育実習、事前事後指導に欠席の場合は、評価対象にならない場合がある。
- 3) 原則、全日程の出席を評価の対象とする。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書 授業内に適宜紹介する。

前提学力等

第3章資格取得の手引きの「各学部・学科における教育職員免許の取得について」の「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

履修資格

講義名	教育相談						担当教員	胡田 裕教
講義コード	1600071	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

教育相談の歴史を確認し、学校現場に導入された背景や考え方について説明する。また、カウンセリングに関する基礎知識、発達についての心理学的見解、不登校やいじめなどの今日の問題を紹介する。その上で具体的な相談事例を用いて、個々の事例に即した教育相談における支援の在り方を検討する。

到達目標

- 教育相談を行う教員にとって必要な知識を理解する。
 (1) 学校現場に導入された教育相談の経緯や様々な考え方から、現在の立ち位置を理解する。
 (2) 一つ一つの問題に向き合い、個別に対応するときに必要となるカウンセリングの技法を理解する。
 (3) 教育相談の方法や連携・協働について理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70%	最終レポート
上記以外	30%	(1) 受講態度(個人の発言、ディスカッションへの取り組み、意欲・態度など) 15% (2) 毎授業後に実施するリフレクション・ペーパーの提出 15%

- (1) 正当な理由なき遅刻や途中退席は認めない。
 (2) 意欲と態度を重視する。
 (3) 遅刻は2回で欠席1回としてカウントする。

授業外学習

(1) リフレクション・ペーパーに記述した、予習内容と授業内容を通して得た「新たな問い」を手掛かりにして関連事項について、多面的かつ多角的に調べ、未確定ながらも自分なりの意見として言語化できるようにすること。(これらを授業内のペア討議、グループ討議につなげる。【他者

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストなどは特に定めず、講義中に適宜資料を配布する。また、参考文献を適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	進路指導						担当教員	胡田 裕教
講義コード	1600072	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

進路指導・キャリア教育の目的・内容・方法についての基礎的理解を図るとともに、進路指導については、青少年の職業観・勤労観の形成、進路選択・職業選択等に関する課題をとりあげ、対応の具体的方向性について学習する。キャリア教育においては、代表的なキャリア発達理論を紹介する。また、文部科学省が提示する新しい取り組みや先進的な学校の事例を多く取り上げる。その上で、社会との関わりの中でどのように生きていくことできるのかという問いについて検討する。

到達目標

- (1) 進路指導・キャリア教育の目的・内容・方法についての基礎的理解を図る。
- (2) 青少年の職業観・勤労観の形成、進路選択・職業選択等に関する課題をとりあげ、対応の具体的方向性について学習する。
- (3) 社会的・職業的自立の観点から、生き方指導としての基本的な考え方について習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70%	最終レポート
上記以外	30%	(1) 受講態度(個人の発言、ディスカッションへの取り組み、意欲・態度など) 15% (2) 毎授業後に実施するリフレクション・ペーパーの提出 15%

- (1) 正当な理由なき遅刻や途中退席は認めない。
- (2) 意欲と態度を重視する。
- (3) 遅刻は2回で欠席1回としてカウントする。

授業外学習

(1) リフレクション・ペーパーに記述した、予習内容と授業内容を通して得た「新たな問い」を手掛かりにして関連事項について、多面的かつ多角的に調べ、未確定ながらも自分なりの意見として言語化できるようにすること。(これらを授業内のペア討議、グループ討議につなげる。【他者

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストなどは特に定めず、講義中に適宜資料を配布する。また、参考文献を適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	教科教育法 (家庭科教育法)							担当教員	
講義コード	1600090	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講		
ナンバリング番号	204TEA107								

授業概要

中等教育(中学・高等学校)家庭科について、教科の意義や本質を理解した上で、学習指導要領に示されている教科目標や学習内容、また指導計画や評価などを学ぶ。本講義では主に中学校家庭科について、教材研究や指導案の作成、模擬授業とその検討を行い、家庭科指導の実践力と資質を養う。

(本授業では、受講生の人数や、実施日程により、授業内容の配置や時間数が変更されることがある。)

到達目標

- (1) 家庭科教育の歩みを知り、本質や意義を理解する
- (2) 中学校家庭科の目標や内容を理解する
- (3) 授業を立案し、指導案を作成することができる
- (4) 授業実践(模擬授業)ができる
- (5) 家庭科教員に求められる資質を高める

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1)(2)小テスト 10% (3)学習指導案 30% ワークシート 5%

授業外学習

宿題； 教材研究、学習指導案の作成、模擬授業の準備
最終課題は、改善した指導案と、ワークシート、模擬授業の反省を提出すること

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新しい技術・家庭 家庭分野		東京書籍	
2	中学校学習指導要領(平成29年告示)解説家庭編	文部科学省	開隆堂	
3				

中学校で使われている教科書のため、入手がむづかしいので、教師がまとめて購入します。不要な場合は、開講の7日前までに、教務にその旨伝えて

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 技術・家庭	文部科学省国立教育政策研究所	東洋館出版	
2	実践の指導力をつける家庭科教育法	多々野道子 伊藤圭子	大学教育出版	
3	すぐに使える家庭科授業ヒント集	下野房子	大修館書店	

初回に資料を配布するので、毎回忘れずに持参すること

前提学力等

2年次以上、教職課程論を履修済みが望ましい。

履修資格

講義名	教科教育法（工業科教育法）							担当教員	
講義コード	1600100	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

技術立国日本を支える有益な人材育成をすすめるためには、時代の進展に対応した学校教育の充実が求められています。本講では、高等学校工業科の教員免許状取得に必要な知識や教員としての授業方法さらには、生徒への具体的な指導について、自身の長年にわたる工業高校での教育実践をもとに講義を行います。
学校教育に携わる者（教員）として、必要な教育に関する法知識、教育者としての態度と資質について学生個々が考えることにより、よりよく行動できるよう学習します。

到達目標

- (1) 工業科教育の理解を深める
- (2) 生徒の人格形成に寄与できる教師としての力量と指導法を習得する
- (3) 学習指導法に係る基礎理論や知識を習得する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

--

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高等学校学習指導要領解説 工業編	文部科学省	実教出版	
2	高等学校学習指導要領解説 総則編	文部科学省	東洋館出版社	
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて、関係資料を配布

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	教科教育法（公民科教育法）						担当教員	西村 太志
講義コード	1600110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	204TEA109							

授業概要

高校公民科教育の目的と目標、内容、実践上の諸課題について探求し、社会科教師としての実践的力の基礎を身につけることをめざす。授業は3つの柱で構成する。1つめは、具体的な授業実践の学習を通して、公民科授業の役割や意義・基本的視点について学ぶ。2つ目は、具体的な授業実践の学習を通して、公民科で学習する各分野での力点について学ぶ。3つ目は、以上を踏まえて、学習指導案を作成し、各自がミニ模擬授業を行い、受講者全員で検討・議論する。

到達目標

- (1) 高校公民科教育の意義と役割について理解できる。
- (2) さまざまな授業実践例の理解を通じて、授業スキルを高められる。
- (3) 公民科授業の学習指導案を提案し、ミニ模擬授業を行うことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	(1) 授業への取り組み(グループ活動への関わり方・レスポンスカード・小論文などの総合点) 70% (2) 学習指導案と模擬授業 30%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

受講者各自に「模擬授業」を予定しています。テーマは自由です。各自でテーマを事前に考えておいてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特に指定しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『高等学校学習指導要領解説 公民編』	文部科学省	教育出版	978-4316300238
2	『社会・地歴・公民科教育法』	白井嘉一・柴田義松編著	学文社	978-4-7620-1957-10
3	『社会科の授業診断』	棚橋健治	明治図書	978-4-18-440017-7

その他必要な資料などは教室にて、適宜、紹介、配布する。

前提学力等

2年次以降の履修が望ましい。

履修資格

講義名	教科教育法（社会科教育法）						担当教員	藤本 奈美
講義コード	1600120	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号	204TEA113							

授業概要

中学校社会科教育での授業づくりに関する基本的な事項について、理論および具体的な実践事例を通じて学ぶ。また、実際に、中学校社会科の学習指導案を作成して模擬授業を行う。
この過程において、受講者同士での議論や模擬授業の相互検討を積極的に取り入れる。

到達目標

- (1) 中学校社会科教育に関する基本的な事項について理解する。
- (2) (1)を活かして、実際に学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。
- (3) 他者と議論したり、授業を検討し合ったりすることを通して、互いの授業を改善するための力量を高めることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	(1)指導案（最終版）(50%)
上記以外	50	(2)学習指導案および模擬授業(30%) (3)授業への取り組み（授業時のミニ課題など）(20%)

基本的に、模擬授業の実施は必須とする。
また、3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

授業時に指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学校学習指導要領（社会編）			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

2年次以降の履修、かつ中学校社会科の教科内容についてある程度理解していることが望ましい。

履修資格

講義名	教科教育法（地歴科教育法）						担当教員	鎌田 コリ
講義コード	1600130	単位数	2	開講期	前期	授業方法	プ	
ナンバリング番号	204TEA115							

授業概要

高校の地理・歴史の授業目的を考え、授業展開を考案してみる。小学校中学校の歴史の授業をふりかえり、高校での地歴の授業構成を考える。世界各国の学校制度も調べ、授業のありかたを考えてみる。模擬授業でそれを実践し、また他の人の模擬授業を生徒の立場で受けてみて、展開を検討してみる。

到達目標

授業を展開するには、授業者の知識と、生徒への理解が必要である。どう展開するかを考え、また他の展開を検討することで、授業の力を深めていく

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70%	世界各国の学校制度・授業内容のレポート発表10% 模擬授業の工夫・内容40% 最終授業時間に与えられた課題から授業案を作成し提出20%
上記以外	30%	毎週模擬授業の改正案を提出10% 模擬授業から試験問題を作成して提出10% 地歴関係新聞の記事を切り抜き、コメントをつけて提出10%

3分の2の出席は必要。毎回提出物を忘れずに出すこと。おくれても提出が必要。

授業外学習

新聞記事から、地歴に関係するものを切り取り、コメントを提出。知識を深めることとともに、関心を広める。地歴の嫌いな生徒の気持ちを理解できるように努力する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

高校時代の地歴の教科書・資料集。プリントなど持参のこと

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	教科教育法（農業科教育法）						担当教員	森 太郎
講義コード	1600140	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

高等学校学習指導要領解説 農業編より目標と内容の構造を解説し、それに基づき、科目「農業と環境」について、情報機器を取り入れた教材開発および学習指導案作成、模擬授業の指導を行う。また、高等学校での農業科教育について、学校現場での実際について解説する。さらに、高等学校に限らず一般的に理解すべき農業教育に関連する事項として、農と食料生産・環境・地域との関わりを解説し、それらの観点を取り入れた初等・中等教育における学習事例を解説する。

到達目標

(1) 高等学校 農業の学習指導要領について目標と内容を構造的に理解し、農業高校の生徒の特性に沿った授業設計を目指して情報機器を取り入れた教材開発研究および独創的な学習指導案の作成を行う力とそれらを評価し、改善する能力を身につける。
(2) 高等学校での農業科教育について、学校現場での実際について理解する。
(3) 一般的に理解すべき農業教育に関連する事項として、農と食料生産・環境・地域との関わりおよび、それらの観点を取り入れた初等・中等教育における学習について理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	到達目標(2)について、レポート課題を課す。(20%) 到達目標(3)について、レポート課題を課す。(20%)
上記以外	60	到達目標(1)について、作成・改善した学習指導案、学習指導案についての発表や模擬授業および、それらに関する議論から評価する。

授業外学習

学習指導案の作成については、授業内だけでなく予習、復習の時間も利用して完成させること。本講義では発表や議論する機会を多く設ける予定であるが、積極的な参加を求める。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高等学校学習指導要領解説 農業編	文部科学省	海文堂出版	9784303124915
2				
3				

web上で閲覧することも可能である。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

可能であれば、令和4年度用 新刊 農業と環境(高校の教科書)を購入して、持参ください。

前提学力等

履修資格

講義名	教科教育法 (理科教育法)						担当教員	石川 聡子
講義コード	1600150	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号	204TEA119							

授業概要

理科を学習する意義や科学の性質についてグループワークを通して理解を促す。その後、中等レベルの理科の教育目標、内容と系統性、評価、学習指導案の構成について説明した後、学習指導案の作成およびその修正と改善に取り組みさせる。教材研究の基礎や模擬授業の準備をおこなわせ、実際に模擬授業を通して授業のふりかえりや改善点について実践的に学修させる。

到達目標

- (1) 中等理科の教育目標、内容と系統性、評価について理解することができる。
- (2) 学習指導案の作成ならびに基本的な教材研究ができる。
- (3) 模擬授業およびその準備をおこなうとともに授業のふりかえりや改善について検討することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	中等理科の教育目標、内容と系統性、評価について理解することができる。
レポート課題	30	自らがこなった教材研究について説明できる。
上記以外	40	学習指導案を作成し、模擬授業の準備をおこなうことができる。 授業のふりかえりや改善について検討することができる。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

3日間の集中講義であるため、3日間での予習復習の時間を定めるのではなく、授業期間の前後を通して予習内容と復習内容に取り組むことによって、90時間の学修をおこなったとみなす。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	未来へひろがるサイエンス3		啓林館	9784402066284
2	中学校学習指導要領解説 理科編	文部科学省	大日本図書	9784477019796
3				

「未来へひろがるサイエンス3」は講義初日に販売します(定価769円)。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料			
2				
3				

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_rika.pdf

前提学力等

履修資格

講義名	教科教育法（英語科教育法）						担当教員	中谷 博美
講義コード	1600151	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	204TEA105							

授業概要

英語教育に関するさまざまな要因について学ぶとともに、その指導法についての理解を深める。その過程から外国語としての英語を日本人学習者が学ぶ際直面する問題を考える。同時にそれらの問題を克服する手助けに必要な知識を獲得し、学習者への対応、さらに自分自身の指導法を省察的な態度でみることを目指す。このクラスでは特に理論面を中心に学ぶ。

到達目標

- 英語教師に必要とされる英語教育の理論的知識の習得を目標とする。
- (1) 英語教育の歴史の変遷と学習指導要領について知る。
 - (2) 英語の特質、第二言語習得、教授法、指導と評価などの基礎となる知識を得る。
 - (3) 学習指導案の意義と作成法を学び、活用できる。
 - (4) 自分が目指すとする授業のイメージを持つ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	課題レポート2回（学習指導要領、英語指導法）20%、その他レポート3回 30%
上記以外	50	発表課題2回（学習指導要領、英語指導法）20%、毎回の学習内容まとめ 30%

欠席が4回以上となる場合は評価の対象としない。

授業外学習

授業連絡・資料配布・課題提出をTeamsを通して行います。また、PCまたはタブレットを授業で使用することがあります。環境を整えて授業に参加するようにしてください。質問等がある場合には、Teamsチャットにて連絡をしてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法	酒井英樹、廣森友人、吉田達弘 編著	大修館書店	9784469246223
2				
3				

授業における資料はTeamsにて配信する。

前提学力等

履修資格

講義名	教科教育法（家庭科教育法）							担当教員	
講義コード	1600160	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講		
ナンバリング番号	204TEA108								

授業概要

高等学校家庭科について、教科の意義や本質を理解した上で、学習指導要領に示されている教科目標や内容、また指導計画や評価などを学ぶ。教材研究を通して理解を深めた上で指導案の作成、模擬授業とその検討を行い、家庭科指導の資質と実践力を養う。

到達目標

- (1) 家庭科教育の意義を理解する
- (2) 高等学校家庭科の目標や内容を理解する
- (3) 授業を立案し、指導案を作成することができる
- (4) 授業実践（模擬授業）ができる
- (5) 教職に意欲をもち、家庭科教員としての資質を高める

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1)(2)(3) 学習指導案（改善を含む） 40% ワークシート 5% (4) 模擬授業 30%

授業外学習

宿題； 教材研究、学習指導案の作成、模擬授業の準備

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高等学校家庭基礎（教科書）		東京書籍	
2	高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説家庭編	文部科学省	教育図書	
3				

授業で使うテキストは、現行の高等学校の教科書である。入手がむづかしいので、担当者がまとめて購入するので、不要な場合は、開講3日前までに

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学校高等学校家庭科指導法	中間美砂子	建帛社	
2				
3				

初めに資料を配布するので、毎回忘れずに持参すること。

前提学力等

2年生以上、および教職課程論、教科教育法（家庭）を履修済みが望ましい。
家庭科教育法 で学習したことを復習してくること。（もう一度、前回の模擬授業をすることもある。）

履修資格

講義名	教科教育法（工業科教育法）						担当教員	
講義コード	1600170	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

技術立国日本を支える有益な人材育成をすすめるためには、時代の進展に対応した学校教育の充実が求められています。本講では、高等学校工業科の教員免許状取得に必要とする知識や教員としての授業方法さらには、生徒への具体的な指導について、自身の長年にわたる工業高校での教育実践をもとに講義を行います。工業教育に携わる者（教員）として、必要な態度と資質について深く考えさせ、教育実践力を身に付けるための基本について学び、授業スキルの向上とともに、教育者としての人材育成を図ります。

到達目標

- (1) 適切な授業資料（プリント）の作成
- (2) 授業実践力、学習指導力の向上
- (3) 工業科教員として必要な資質を修得

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、必要に応じて関係資料を配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	教科教育法（公民科教育法）						担当教員	西村 太志
講義コード	1600180	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	204TEA110							

授業概要

公民科教育法 で履修した学習内容を踏まえて、公民科目のねらいと教科内容に関わる教材を選択・精選・発掘し、それらを有機的に組み立てていく授業構成を学習する。
また、受講生各自が学習指導案を作成し、相互に検討した後、模擬授業を行う。その後の授業検討会を経て、修正した学習指導案を最終レポートとして提出する。

到達目標

- (1) 高校公民科教育の目標・目的をふまえた授業プランの作成ができる。
- (2) 自分の作成した授業プランに基づいた模擬授業を展開することができる。
- (3) 教師の立場および生徒の立場から、自分の模擬授業および他の受講者の模擬授業を的確に分析・評価できる。
- (4) 自分のめざす社会科・公民科の授業づくりの具体的なイメージができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	最終レポート課題（各自の学習指導案を修正し提出する） 40%
上記以外	60	授業への取り組み（グループ活動への関わり方・レスポンスカードなどの総合点） 20% 学習指導案と模擬授業 40%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

受講者各自に「模擬授業」を予定しています。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特に指定しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『高等学校学習指導要領解説 公民編』	文部科学省	教育出版	978-4316300238
2	『社会・地歴・公民科教育法』	白井嘉一・柴田義松編著	学文社	978-4-7620-1957-10
3	『社会科の授業診断』	棚橋健治	明治図書	978-4-18-440017-7

その他必要な資料などは教室にて、適宜、紹介、配布する。

前提学力等

2年次以降の履修が望ましい。
公民科教育法 を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	教科教育法（社会科教育法）						担当教員	福井 雅英
講義コード	1600190	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	204TEA114							

授業概要

中学校社会科授業構成の理論と方法について学習する。
 社会科の歴史について学習する。
 地理・歴史・公民の三分野の教材研究並びに学習指導案作成上の留意点を学習する。
 模擬授業を実施し、指導法を理解する。

到達目標

- (1) 目標・授業・評価の一体化を観点に授業が構成できる。
- (2) 三分野（地理・歴史・公民）の学習指導案の作成と指導上の留意点が理解できる。
- (3) 模擬授業を通じて、教材研究、指導方法等、社会科の教員としての望ましい知識や態度を身につけることができる。
- (4) 模擬授業で適切な資料を準備し活用できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上の欠席は評価の対象外とする。

授業外学習

学習指導案の作成
 歴史的分野等の指導計画について(演習)

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義内容については随時プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	月刊誌『歴史地理教育』	歴史教育者協議会	地歴社	
2				
3				

「中学校社会科教育の実践と方法」等、参考書について講義中に紹介します。

前提学力等

履修資格

講義名	教科教育法 (地歴科教育法)						担当教員	上田 孝俊
講義コード	1600200	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号	204TEA116							

授業概要

現行及び改訂「高等学校学習指導要領地理歴史科」および「中学校学習指導要領社会科」に即し、地理歴史教育法で履修した学習内容を踏まえて、地歴科目のねらいと教科内容に関わる教材を選択・精選・発掘し、それらを有機的に組み立てていく授業構成理論の紹介と、学習指導案作成、および模擬授業を通して、地歴科各科目の指導法を説明する。

到達目標

- (1) 地理・歴史教育の意義と課題を、授業案作成・模擬授業を通して、深めることができる。
- (2) 学習目標を明確にし、適した教材の精選とその呈示を工夫し、学習指導案を作成できる。
- (3) 生徒の興味、関心、思考過程を考慮した探究的な学習過程がみられる模擬授業ができる。
- (4) 自他の授業をよりよいものにしていくという姿勢で、授業カンファレンスに参加できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40%	地理・歴史教育における地域教材取り扱いの意義とその理解、課題意識を、授業案作成・模擬授業を通して深めることができたかを評価する。
上記以外	60%	【内訳】 ・学習指導案 20% ・模擬授業 20% ・授業中のレポート 20%

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教材作成のための地域調査・史料収集とその精選
学習指導案(授業書)の作成

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・中学・高校時代の地理・歴史教科書や副教材を持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

・授業中に必要な資料等を配布する。

前提学力等

・地理・歴史科教育の基本となる地理学・歴史学に関心を持ち、いくつかの領域について知識や研究方法を理解していること。

履修資格

講義名	教科教育法（農業科教育法）						担当教員	井上 升二
講義コード	1600210	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

戦後70数年の高等学校教育の中でも農業科教育はその時の社会情勢・経済情勢等により大きく変化してきたが、地域社会と連携しながら農林業の振興と人材の育成に大きく貢献してきた。本講義では、これらの流れや動きをよく理解して、これからの農業および農業科教育のあるべき姿を考えていく。

- (1) 高等学校農業科教育に長年にわたり携わってきた者の立場から、その経験や体験を通して得た農業科教育のノウハウを具体的に展開する。
- (2) 講義の中に模擬授業およびICT機器を用いたプレゼンテーションなどの演習を出来る限り取り入れ、受講者の積極的な学習を支援するよう努める。
- (3) 講義後内容をポートフォリオにまとめ、講義の振り返りを行い自分のキャリアとする。

到達目標

- (1) 高等学校農業教育の目標および教育課程の編成を理解し、わかりやすく説明することができる。
- (2) 教育活動に必要な基礎的能力（教育内容の理解、生徒理解など）と魅力ある授業実践力を身につけることができる。
- (3) 農業にとって有為な人材を育成するための農業科教育の担い手となる資質を備えることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	50%	到達目標各項目について、本講義の最終日にレポートを課す。
上記以外	50%	到達目標各項目について、授業の取組み状況(演習、課題発表、復習にて作成したポートなど)により総合的に評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

- (1) 模擬授業や課題発表など、出来る限り演習を取り入れた内容になるので、積極的に学習する意欲・態度が重要である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説「農業編」	文部科学省	海文堂出版	978-4-303-12491-5
2	文部科学省検定済教科書「農業と環境」新訂版	塩谷哲夫ほか14名	実教出版	978-4-407-20398-1
3				

上記No.1の教科書は県立大学生生活協同組合で、上記No.2の教科書は県立大学生生活協同組合で購入できない場合は、近隣の高等学校教科書販売

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「農業」から教育を拓く	佐野 明	実教出版	4-407-30117-1
2				
3				

授業中にプリントを配布する。

前提学力等

高等学校教諭一種免許「農業」の取得に必要な履修科目を把握し、計画的に単位取得できるようにすること。

履修資格

講義名	教科教育法（理科教育法）						担当教員	宮下 ゆたか
講義コード	1600220	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	204TEA120							

授業概要

本講義では、世界と日本が直面している地球的課題、および、日本国憲法・教育基本法・学校教育法などの精神・条文をふまえて、理科教育の目的・目標について考察したい。また、理科の授業づくりや学習指導、評価、情報機器・教材の活用などについて考察・実践し、理科教師としての実践的力量的基礎を身につけることをめざす。

講義の進め方としては各人が授業プラン（学習指導案、授業プリント、板書計画など）を作成し、何らかの形で全員が模擬授業を実施する。模擬授業実施後、授業検討を行い模擬授業担当者のみならず受講者にとっても実践的力量的をつける場としていきたい。多くの模擬授業を受ける中で、自分のめざす理科授業の具体的なイメージができることをめざす。

模擬授業のテーマは受講者の人数によって一部変更する場合がある。

到達目標

- (1) 理科教育の目的、目標をふまえた授業プラン（学習指導案、授業プリント、板書計画など）の作成ができる。
- (2) 自分の作成した授業プランに基づいた模擬授業を展開することができる。
- (3) 理科教師の立場および学習する生徒の立場から、自分の模擬授業および友人の模擬授業を的確に分析・評価できる。
- (4) 自分のめざす理科の授業づくりの具体的なイメージができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	模擬授業（学習指導案・ワークシート・板書計画などを含む）（60%） 授業参加度および友人の模擬授業に対するコメント（20%） 随時課す小レポート（20%）

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

模擬授業の準備については、予備実験の実施、板書計画の立案など事前の準備をしっかりと行ってから模擬授業にのぞむこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要な資料は教室にて適宜 紹介、配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	異常気象と地球温暖化	鬼頭昭雄	岩波新書	9784004315384
2	グリーン・ニューディール	明日香壽川	岩波新書	9784004318828
3	人新世の「資本論」	斎藤幸平	集英社新書	9784087211351

必要な資料は教室にて適宜 紹介、配布する。

前提学力等

理科教育法 の事前履修が望ましい。

履修資格

講義名	教科教育法（英語科教育法）						担当教員	中谷 博美 / 小熊 猛
講義コード	1600221	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	204TEA106							

授業概要

英語教育に関するさまざまな要因について学ぶとともに、その指導法についての理解を深める。その過程から外国語としての英語を日本人学習者が学ぶ際直面する問題を考える。同時にそれらの問題を克服する手助けに必要な知識を獲得し、学習者への対応、さらに自分自身の指導法を省察的な態度でみることを目指す。このクラスでは実践面を中心に学ぶ。

到達目標

英語教師に必要とされる英語教育の実践的知識の習得を目標とする。

- (1) 4技能の指導法についての知識を持つ。
- (2) 学習指導案を作成できる。
- (3) 模擬授業および研究協議に参加し、自らの考えを述べることができる。
- (4) 自分が目指そうとする授業を具現化するための知識を持つ。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	課題レポート3回（活動案、学習指導案、模擬授業）30%、その他レポート5回 30%
上記以外	40	発表課題3回（活動案、学習指導案、模擬授業）20%、毎回の学習内容まとめ 20%

4回以上の欠席は評価の対象としない。

授業外学習

授業連絡・資料配布・課題提出をTeamsを通して行います。また、PCまたはタブレットを授業で使用することがあります。環境を整えて授業に参加するようにしてください。質問等がある場合には、Teamsチャットにて連絡をしてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

英語科教育法 を履修済みであること。

履修資格

講義名	教科教育法（家庭科教育法）						担当教員	大塚 真理子
講義コード	1600230	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

本授業は教科教育法・で学んだことを踏まえ、家庭科の意義を理解した上で、主に中学校の学習内容において、掘り下げた教材研究を行い、広い視野を持った家庭科の授業作りの力をつけるをねらいとしている。
 実習などを取り入れた教材研究を行い、発表・討議し、さらに指導案を作成して、模擬授業を実践する。

（本授業は、集中講義で実施する。また受講生の人数や、実施日程により、授業内容の配置や時間数が変更されることがある。1回目の授業で予定を知らせる。
 また、隔年開講であるが、教育法、を受講済みが望ましい。）

到達目標

- (1) 家庭科教育の意義や特質を知る
- (2) 家庭科指導における教材研究の大切さを理解し取り組める
- (3) 適切かつ独創性のある指導案を作成できる
- (4) 模擬授業を実践できる
- (5) 家庭科教員としての資質を養う

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1)については発表や指導案で評価する (2)教材研究の発表(25%)。

指導案の提出、模擬授業、改善指導案の提出は必須である。

授業外学習

家庭科は生活のあらゆる事象が学習内容、教材として取り上げることができる。各自で家庭科教材となりそうな事柄や資料を見出すことが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学 新しい技術・家庭 家庭分野		東京書籍	
2	実践的指導力をつける家庭科教育法	多々納道子他	大学教育出版	
3	高校 家庭基礎		東京書籍	

家庭科教育法 で使用した中学の教科書に加えて「実践的指導力をつける家庭科教育法」を教科書とします。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学 学習指導要領(平成29年版)解説家庭編	文科省	開隆堂	
2	高等学校学習指導要領(平成30年版)解説家庭編	文科省		
3	すぐ使える家庭科授業ヒント集	下野房子	大修館	

初めに資料冊子を配布するので、毎回持ってくること。

前提学力等

家庭科教育法・を履修していること
 家庭科教育法・の学習内容(配布した資料冊子)を復習しておくこと。1日目に主に学習指導要領について復習、確認テストを実施する。

履修資格

講義名	教科教育法（家庭科教育法）						担当教員	大塚 真理子
講義コード	1600240	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

本授業は教科教育法（家庭）・・・で学んだことを踏まえ、生徒が主体的に取り組み、新しい知見を得られるような中等（中学校、高等学校）家庭科の授業作りの実践力を高めることをねらいとしている。できるだけ多く指導案を作成し、模擬授業を実施することで、指導力を高めたい。

（本授業は、集中講義で実施する、また受講生の人数や、実施日程により、授業内容の配置や時間数が変更されることがある。1回目の授業で予定を知らせる。また、隔年開講であるが、教育法、を受講済みが望ましい。）

到達目標

- (1) 家庭科において育成すべき「学力」を理解する。
- (2) 指導のための教材研究、教材開発ができる。
- (3) 生徒にとって学びが明確な授業を立案し実践できる。
- (4) 模擬授業を実践し、改善点を見出し、改善できる。
- (5) 家庭科教員としての資質を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(1)(4)については小論文、取り組みなどで評価する。 20% (2)については発表と研究内容 20% (3)については指導案、模擬授業 40%

授業外学習

指導案の作成や模擬授業の準備に時間がかかるので、開講インターバルを有効に使い、余裕を持って課題に取り組むこと。教師に質問や相談はメールで可能である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学 新しい技術・家庭 家庭分野		東京書籍	
2	高等学校 家庭基礎		東京書籍	
3	実践的指導力をつける家庭科教育法	多々納道子 伊藤圭子	大学教育出版	

家庭科教育法 と同じである。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学学習指導要領（平成29年版）解説家庭編	文科省	開隆堂	
2	高等学校学習指導要領（平成30年版）解説家庭編	文科省	教育図書	
3	新版授業力up家庭科の授業	伊藤葉子	日本標準	

家庭科教育法 で配布した資料を持参すること。

前提学力等

家庭科教育法、を受講していることが望ましい。復習しておくこと。

履修資格

講義名	教科教育法（英語科教育法）						担当教員	中谷 博美
講義コード	1600241	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	304TEA206							

授業概要

教育実習に備えて、英語の指導法についての基礎知識と教師としての心構え、授業で必要とされる指導技術や指導案作成の仕方を学ぶ。なお、履修者が個別に学習指導案を作成し、20分程度で英語による模擬授業を行う予定としている。それぞれの模擬授業においては、言語活動（アクティブラーニング的要素）を盛り込み実施するものとする。

到達目標

英語教師に必要とされる英語教育の実践的知識・技能の習得を目標とする。

- (1) 中学校および高等学校における英語科学習指導案を作成できる。
- (2) 英語で模擬授業を行うことができる。
- (3) 模擬授業および研究協議に参加し、授業改善について提案できる。
- (4) 自分が目指そうとする授業を具現化するための知識・技能を持つ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	模擬授業振り返りレポート6回 20%、その他レポート7回 30%
上記以外	50	学習指導案 20%、指導技能（授業の流れ、英語による指示、言語活動）20%、討論 10%

4回以上の欠席は評価の対象としない。

授業外学習

授業連絡・資料配布・課題提出をTeamsを通して行います。また、PCまたはタブレットを授業で使用することがあります。環境を整えて授業に参加するようにしてください。質問等がある場合には、Teamsチャットにて連絡をしてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

英語科教育法 及び を履修済みであること。

履修資格

講義名	教科教育法（英語科教育法）						担当教員	中谷 博美
講義コード	1600242	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	304TEA207							

授業概要

教育実習に備えて、英語の指導法についての基礎知識と教師としての心構え、授業で必要とされる指導技術や指導案の作成の仕方を学ぶ。学習者を観察する視点や省察的態度を養い、実践で活かせるスキルを習得する。なお、履修者が個別に学習指導案を作成し、20分程度で英語による模擬授業を行う予定としている。それぞれの模擬授業は、実際の教育実習を想定したものとする。

到達目標

英語教師に必要とされる英語教育の実践的知識・技能の習得を目標とする。

- (1) クラスの実態に応じて、適切に英語科学習指導案を作成できる。
- (2) 生徒の実態に応じて、適切な英語で模擬授業を行うことができる。
- (3) 模擬授業および研究協議を運営できる。
- (4) 自分が目指そうとする授業を具現化することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	模擬授業振り返りレポート9回 20%、その他レポート3回 10%
上記以外	70	学習指導案 20%、指導技能（授業の流れ、英語による指示、言語活動）30%、討論 20%

4回以上の欠席は評価の対象としない。

授業外学習

授業連絡・資料配布・課題提出をTeamsを通して行います。また、PCまたはタブレットを授業で使用することがあります。環境を整えて授業に参加するようにしてください。質問等がある場合には、Teamsチャットにて連絡をしてください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

実習校で使用する教科書を各自で準備しておいてください。

前提学力等

教科教育法 ～ を履修し終えていること。

履修資格

講義名	教科教育法（理科教育法）						担当教員	石川 聡子
講義コード	1600243	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

中等段階の理科の授業実践力をさらに高めることをねらいとする科目である。具体的には、探究活動やアクティブ・ラーニングについて理解を深めさせる。さらに、単元全体を通じた指導計画の立案やICTの活用を積極的に取り組ませる。模擬授業では、授業のふりかえりや協議をグループワークによっておこない、教育実習の準備として授業の研究協議の模擬を経験させる。

到達目標

- (1) 探究学習やICT活用、STEAM教育などの理科教育の動向について理解を深めることができる。
- (2) 教材研究をおこなうことができる。
- (3) 単元全体の指導計画の立案や授業を設計して学習指導案を作成し、点検・改善することができる。
- (4) 模擬授業の研究協議をおこなうことができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	30	探究学習やICT活用、STEAM教育などの理科教育の動向について理解を深めることができる。
レポート課題	40	教材研究および 模擬授業の研究協議の内容について説明することができる。
上記以外	30	単元全体の指導計画の立案や授業を設計して学習指導案を作成し、点検・改善することができる。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

3日間の集中講義であるため、3日間での予習復習の時間を定めるのではなく、授業期間の前後を通して予習内容と復習内容に取り組むことによって、90時間の学修をおこなったとみなす。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	中学校学習指導要領解説理科編		大日本図書	
2	未来にひろがるサイエンス3		啓林館	
3				

「未来にひろがるサイエンス3」は授業初回に販売する（定価769円）。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

理科教育法 を履修しておくことが望ましい。

履修資格

講義名	教科教育法（理科教育法）						担当教員	宮下 ゆたか
講義コード	1600244	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

本講義は、「理科教育法」の発展科目として位置づけ、中学・高校理科教師に求められる授業実践力をさらに高めることをめざす。具体的には、理科教師として必要な授業をデザインする際に求められる単元分析、教材開発、授業プリント作成等について学ぶ。

特に、「地球温暖化問題・気候変動問題」、「原子力発電再稼働問題・代替エネルギー問題」など、いま世界と日本の直面している地球的課題の現状と解決の展望について、主権者教育の視点で理科教育でどのように取り扱うのか具体的な授業実践をとおして考察を深めたい。

中学・高校理科教師としての実践的な力量を養うため、プレゼン・模擬授業およびグループワークを中心とした形式で進める。

到達目標

- (1) 学習指導案、板書計画、ワークシートなどの立案・作成や情報機器・実験を有効に用いた理科教材の開発などを通して、自分のめざす理科授業の具体的なイメージができる。
- (2) 地球環境問題（地球温暖化、気候変動、生物の多様性、感染症問題など）、エネルギー問題（再生可能エネルギー、原子力発電問題など）などいま私たちが直面している社会的課題に関して理科教育・主権者教育の視点から授業プランを立案・実践できる。
- (3) 理科教師の立場および学習する生徒の立場から、友人の模擬授業を分析・評価できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	プレゼン、模擬授業（スライド・学習指導案・ワークシート・板書計画などを含む）（60%） 授業参加度および友人の模擬授業に対するコメント（20%） 随時課す小レポート（20%）

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
グループでの討論・研究を重視するので、積極的にグループワークに参加すること。

授業外学習

模擬授業に際しては、板書計画の立案など事前の準備をしっかりと行っておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	小さな地球の大きな世界	J.ロックストローム M.クルム	丸善出版	9784621303023
2	人新世の「資本論」	斎藤幸平	集英社新書	9784087211351
3	感染症と文明	山本太郎	岩波新書	9784004313144

前提学力等

理科教育法 の履修を前提とする。

履修資格

講義名	教科教育法（社会科教育法）						担当教員	福井 雅英
講義コード	1600245	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

中学校社会科授業構成の理論と方法について学習する。
 社会科教育の歴史について学習する。
 模擬授業を実施し、指導法を学習する。
 地理・歴史・公民の三分野の教材研究並びに学習指導案作成上の留意点を学習する。
 新学習指導要領（社会編）を理解する。

到達目標

- (1) 目標・授業・評価の一体化を観点に授業を構成できる。
- (2) 三分野（地理・歴史・公民）の学習指導案の作成と指導上の留意点が理解できる。
- (3) 模擬授業を通じて、教材研究、指導方法等、社会科の教員としての望ましい知識や態度を身につけることができる。
- (4) 社会科におけるICTの活用が理解できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上の欠席は評価の対象外とする。

授業外学習

学習指導案の作成
 新学習指導要領と社会科教育の進め方

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義内容については随時プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	月刊誌『歴史地理教育』	歴史教育者協議会	地歴社	
2				
3				

「中学校社会科教育の実践と方法」等、参考書について講義中に紹介します。

前提学力等

履修資格

講義名	教科教育法（社会科教育法）						担当教員	奥村 信夫
講義コード	1600246	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号								

授業概要

中学校社会科教育の意義と課題、歴史、目標（生徒に身につけさせたい力）、内容構成、地理・歴史・公民の3分野の授業実践力と評価の基礎・基本を身につける。
 地理・歴史・公民の3分野の教材研究および学習指導案の作成の実際について学ぶ。
 模擬授業の実践（演習）を通じて、授業づくりにおける基本的な姿勢を身につけ、学習指導上の力点・留意点を学ぶ。

到達目標

- (1) 目標・内容を明らかにし、指導と評価の一体化をはかった授業を構成することができる。
- (2) 地理・歴史・公民の3分野に関連する指導内容を理解し、資料を分析し批判的に活用することができる。
- (3) 地理・歴史・公民の3分野の学習指導案を作成し、指導上の留意点を理解することができる。
- (4) 模擬授業を通じて、教材研究、指導方法等、社会科の教員としての望ましい姿勢・態度を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	なし
レポート課題	25%	レポートの記述内容について分析・評価
上記以外	75%	模擬授業に向けて作成した学習指導案の分析・評価 模擬授業の実践に対する評価 模擬授業での資料等の活用に対する評価

3分の1以上の欠席は評価の対象外とする。

授業外学習

実践報告の精読
 学習指導案の作成

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義内容については随時プリントを配布します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	社会科教育のルネサンス〔第2版〕	原田智仁 他	教育情報出版	
2	社会の授業づくり	原田智仁	明治図書	
3	「公民的資質」とは何か	唐木清志	東洋館出版社	

授業の実践記録を随時配布します。

前提学力等

小・中・高等学校の社会科授業を振り返り、印象に残っている内容や授業の進め方などについて、思い出しながら発表できるようにまとめておくこと。

履修資格

講義名	教職実践演習（栄養教諭）						担当教員	今井 絵理 / 胡田 裕教 / 山川 佐代子 / 平木 敦子
講義コード	1600260	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	授	
ナンバリング番号	404TEA301							

授業概要

大学4年間で学んだことと栄養教育実習での体験を統合し、栄養教諭として学校給食管理と食に関する指導を行うための実践的指導力や今日的課題に対応できる能力の育成と更なる資質の向上を図る。主な授業の形態として、講義や演習、発表、ロールプレイ等を組み合わせたものとする。

到達目標

教職課程における履修履歴をもとに、学校現場で必要とされる栄養教諭としての技能、知識の不足部分を補完する

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	教職実践記録による評価
上記以外	40	授業への参加姿勢、レポート、発表内容等を総合的に評価

グループ討議のため、欠席は基本的に認められない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	教職実践演習（高等学校）						担当教員	胡田 裕教 / 杉浦 由香里 / 原 未来
講義コード	1600270	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	演	
ナンバリング番号	404TEA302							

授業概要

4年間の教職課程の総まとめ科目として、これまでの教職課程の学びを振り返り必要な知識・技能を補完する。教育実習における実践経験を記述し、その振り返りと検討を通して、教員に求められている資質や能力を身につけ、学校現場で予想される諸問題に対処できるようにする。

到達目標

- (1) 講義、グループ討論、事例研究、教育実践記録の執筆などを通して、授業における実践的な力量を伸ばす。
- (2) 講義、グループ討論、事例研究、教育実践記録の執筆などを通して、児童生徒との関わりにおける実践的な力量を高める。
- (3) 教職に就いた時、これまで学んだ内容をどのように生かすことができるのかという議論を通して、教育者としての基本姿勢を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業への参加態度や、教育実習の省察に基づき執筆する教育実践記録の成果をもとに成績評価を行う。（「教科」、「教科外」の実践記録の提出を含む。）

- (1) 正当な理由なき欠席・遅刻は一切認めない。
- (2) 万が一、正当な理由なき欠席・遅刻をした場合、該当学生の態度・意欲などの状況判断のうえ反省文を提出し、その内容に応じてその後の授業の参加について検討する。

授業外学習

- (1) 個人またはグループにおいて自主的に「実践記録」の見直しや改善に努めること。
- (2) 後輩へのアドバイスを積極的に行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	教師をめざす学びのハンドブック	木村裕・杉浦由香里・原未来ほか	かもがわ出版	978-4-7803-1021-4-C0037
2				
3				

初回授業時に持参すること。その他は講義時に案内する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	教職実践演習（中学校）						担当教員	胡田 裕教 / 杉浦 由香里 / 原 未来
講義コード	1600280	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	演	
ナンバリング番号	404TEA303							

授業概要

4年間の教職課程の総まとめ科目として、これまでの教職課程の学びを振り返り必要な知識・技能を補完する。教育実習における実践経験を記述し、その振り返りと検討を通して、教員に求められている資質や能力を身につけ、学校現場で予想される諸問題に対処できるようにする。

到達目標

- (1) 講義、グループ討論、事例研究、教育実践記録の執筆などを通して、授業における実践的な力量を伸ばす。
- (2) 講義、グループ討論、事例研究、教育実践記録の執筆などを通して、児童生徒との関わりにおける実践的な力量を高める。
- (3) 教職に就いた時、これまで学んだ内容をどのように生かすことができるのかという議論を通して、教育者としての基本姿勢を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業への参加態度や、教育実習の省察に基づき執筆する教育実践記録の成果をもとに成績評価を行う。（「教科」、「教科外」の実践記録の提出を含む。）

- (1) 正当な理由なき欠席・遅刻は一切認めない。
- (2) 万が一、正当な理由なき欠席・遅刻をした場合、該当学生の態度・意欲などの状況判断のうえ反省文を提出し、その内容に応じてその後の授業の参加について検討する。

授業外学習

- (1) 個人またはグループにおいて自主的に「実践記録」の見直しや改善に努めること。
- (2) 後輩へのアドバイスを積極的に行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	教師をめざす学びのハンドブック	木村裕・杉浦由香里・原未来ほか	かもがわ出版	978-4-7803-1021-4-C0037
2				
3				

初回授業に持参すること。その他は講義時に案内する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	教職実践演習（養護教諭）						担当教員	八木 利津子 / 古株 ひろみ / 伊丹 君和 / 下通 友美 / 森本 安紀 / 千田 美紀子 / 胡田 裕教
講義コード	1600290	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号	404TEA304							

授業概要

4年間の教職課程の総まとめ科目として、これまでの学びを振り返るとともに、不足している知識・技術を補完する。また、教育実習における学びを実践記録としてまとめ、学びを共有し合う。さらに、実践での学びもふまえて、事例やロールプレイングなどを取り入れながら健康教育のあり方を考えることで、学校現場での養護教諭としての実践に繋がる力を身につける。

到達目標

- (1) 教育実習での学びを実践記録としてまとめ、他者に説明できる。
- (2) 専門的職種（養護教諭）として求められる資質や能力を身につけ、学校現場での実践に繋がる力をつける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	実践記録と演習における態度や発表を総合的に判断する。 なお、評価方法は合否判定とする。 演習に欠席した場合は、評価の対象にならない場合がある。

課題作成および実践記録のまとめ方、発表内容を含み、総合的に評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の際に、適宜資料配付する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の際に、適宜資料配付する。

前提学力等

教育実習修了または実習中の者

履修資格

講義名	教職実践演習（養護教諭）						担当教員	八木 利津子 / 古株 ひろみ / 伊丹 君和 / 下通 友美 / 森本 安紀 / 千田 美紀子 / 胡田 裕教
講義コード	1600290	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号	404TEA304							

授業計画							
回数	テーマ	概要	90分	予習 / 復習	90分		
第1回	オリエンテーション	教育実習を終えて各自が経験したことを本授業でどのように振り返るのが具体的な省察方法について説明する。	90分	教育実習先の実習日誌を読み返し、教育実習先の実習記録を読み返し、	90分		
第2回	学習の振り返りと実践記録を書くことの意義	教育実習における学びを省察する上で、実習記録を執筆するため「書くことの意義」について文献や先行研究から考える。	90分	実習記録から保健教育（保健学習ま	90分	2	
第3回	学習の振り返りと実践記録を書くことの意義	「保健指導の学び」を配付し、その資料から草案作成に向けて、留意事項の確認を行い、実習日誌などを振り返る。	90分	これまでの先輩から継承された実践	90分	2	
第4回	実践記録草案作り	教育実習の指導実践に基づき、「教科指導（保健学習または保健指導）」と「指導以外の場面」の2テーマで各自が草案を作成	90分	実際に草案づくりに向けて実習先で	90分	3	
第5回	実践記録草案作り	指導案、児童生徒の実態把握、作成教材、授業実践、指導教官の言葉などの観点からまとめ方の工夫を検討する。	90分	授業実践について導入・展開・まと	90分	3	
第6回	実践記録草案作り	草案作成の途中経過報告を行い用語や表現、書式など確認し、印象深い場面をどう捉えるかなど個別指導により質問に応じる。	90分	草案作成に向けて指導教員からの指	90分	3	
第7回	実践記録草案作り	実践記録草案の仕上げに向けて、原案をプリントアウトし個別点検を行う。実習成果と課題を中心に考察し、修正点を検討する。	90分	草案作成に向けて指導教員からの指	90分	10	
第8回	実践記録草案作り	完成した草案について、伝えたいポイントや省察の骨子を発表する。クロスセッションのリハーサルを兼ねて意見交流する。	90分	実習先での取り組みや人的環境への	90分	2	
第9回	クロスセッションと教科毎に反省会	グループセッションによる発表後、「教育実習の振り返り」を配付し、養護教諭の役割や職業倫理、求められる力について省察。	90分	実習先での取り組みや児童生徒との	90分	6	
第10回	クロスセッションと教科毎に反省会	実践記録発表者の選考及びプレゼンを作成。完成したプレゼンテーションの模擬発表を行い、意見交換による改善点の検討。	90分	グループセッションに向けて主体的	90分	60	
第11回	実践記録発表会	教科混合という全体の場で代表者による実践記録発表を聴き、各教科指導の学びを広い視野で共有する。	90分		90分		
第12回	実践記録発表会	教科混合という全体の場で代表者による実践記録発表を聴き、教科指導以外の場面について多様な学びを共有する。	90分	グループセッションを通してみえて	90分	90	
第13回	事例検討	健康相談活動に関わる事例検討を通して、子ども理解を深めるとともに体験的な学びについて考えるグループワークを行う。	90分	実践記録発表を振り返り、互いの意	90分	90	
第14回	事例検討	緊急時の危機対応場面を想定し、課題提供を行う。組織的活動のシミュレーションを演習形式でロールプレイングする。	90分	教科横断型での話し合い・学び合い	90分	60	
第15回	まとめ	まとめ「保健室経営や保健活動の評価と今日的な健康課題」	90分	各教科の代表者の発表を通して、立	90分	90	
				緊急時の危機対応場面を想定し、課	90分	90	
				養護教諭免許取得に関わる集大成と	90分	90	
				これまでの学びを振り返り、教育現	90分	90	
担当者から							

講義名	教職論						担当教員	胡田 裕教
講義コード	1600300	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	104TEA101							

授業概要

学校現場の実態や特色のある実践の紹介などを通して、教師の職務、教職の本質、教育実践のあり方などについて学ぶ。その上で、「指導者」としての視点を身に付けることを目指す。講義は受講生の疑問や意見に回答しながら展開する。

到達目標

- (1) 教師の職務内容、役割に関する基礎的な知識を習得する。
- (2) 教職の意義、専門性について理解する。
- (3) 学校現場を取り巻く環境や現実の教師の置かれた状況を知る。
- (4) 教師のキャリア形成という観点から自己の教師像を構築する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	最終レポート
上記以外	50%	(1) 受講態度(個人の発言、ディスカッションへの取り組み、意欲・態度など) 15% (2) 毎授業後に実施するリフレクションペーパーの提出 15% (3) 中間レポート等 20%

- (1) 正当な理由なき遅刻や途中退席は認めない。
- (2) 意欲と態度を重視する。
- (3) 遅刻は2回で欠席1回としてカウントする。

授業外学習

(1) リフレクション・ペーパーに記述した、予習内容と授業内容を通して得た「新たな問い」を手掛かりにして関連事項について、多面的かつ多角的に調べ、未確定ながらも自分なりの意見として言語化できるようにすること。(これらを授業内のペア討議、グループ討議につなげる。【他者

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストなどは特に定めず、講義中に適宜資料を配布する。また、参考文献を適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	教師をめざす学びのハンドブック	木村裕・杉浦由香里・原未来ほか	かもがわ出版	978-4-7803-1021-4-C0037
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	憲法						担当教員	橋本 豪志
講義コード	1600320	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM119							

授業概要

人権と統治機構という憲法の基本構造を理解する。その上で、一国民としての個人が、国政を考えるに当たり、正確な基本情報を獲得することの重要性、及び獲得情報をもとに批判的精神を持って政治的意思を持ち、民主主義社会に参画することの重要性を自覚する。

到達目標

「二重の基準」の理解
 自由権と社会権の違いの理解
 直接民主制と間接民主制の得失の理解
 自由主義と民主主義の理解と実践

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

常日頃から、時事トピックに関心を持っておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	いちばんやさしい憲法入門	初宿正典他	有斐閣アルマ	978-4-641-22150-5
2	憲法判例集(第11版)	野中俊彦、江橋崇編著	有斐閣新書	978-4-641-09160-3
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

新聞、雑誌などを通じて、政治社会に興味を持っていること。

履修資格

講義名	教科教育法（情報科教育法）							担当教員	
講義コード	1600330	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

学校教育の中での教科「情報」の果たす役割や位置づけを明確にし、教科「情報」の目標及び科目編成やカリキュラムの編成方法についてとりあげ、情報科教育に関わる方法論を講義する。

到達目標

教科「情報」の意義について理解し、情報科教育に関わる方法論について理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

評価は、レポート、授業への参加態度、出欠状況などについて学生間相互評価、および自己評価を重視し、総合的に評価を行う。レポートは4~5回。すべて学生間で開示し相互評価を行い、自己評価を行う。授業については、相互評価やディスカッションに参加できない場合は単位を認定しない。また、4回以上の欠席のある場合にも学習を進めることが困難となるので単位を認定しない。

授業外学習

単元ごとにレポートを課す。試験は行わない。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高等学校学習指導要領解説 情報編	文部科学省		
2				
3				

上記教科書は、2019年1月以降に発売の予定

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する

前提学力等

グループによる自学自習型で学習を行うので、授業に参加することが前提となる。

履修資格

講義名	教科教育法（情報科教育法）						担当教員	
講義コード	1600340	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

情報科教育法で身につけた、教科「情報」についての理解をもとに実践的な授業内容について考察する。模擬授業等を取り入れ、インストラクションの技術向上とともに、理論的側面についても考察を深める。

到達目標

教科「情報」の授業計画を作成でき、授業実践ができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

自学自習を基本にし、学生間相互評価および自己評価を重視する。各单元ごとに模擬授業を行いその評価は相互評価ならびに自己評価を基本にする。模擬授業での参加意欲は自己評価により点数化し、評価に助案する。また4回以上欠席の場合は、学習を進めることが困難になるため単位を認定しない。

授業外学習

模擬授業が多くなるので、指導案作成および教材研究の時間が必要となる。特に教材を研究することに関しては、なるべく高校生の興味関心に合うようにするために、どのような教材を選べばよいか、日ごろから考えておく

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	高等学校学習指導要領解説 情報編	文部科学省		
2				
3				

上記教科書は2019年1月以降に発売

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜紹介する

前提学力等

自学自習を基本として行うので出席は前提条件である。

履修資格

講義名	情報と職業							担当教員	
講義コード	1600350	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

情報技術やインターネットの活用によって、企業の経営形態を変え、情報関連企業が続々と出現し、従来の企業のビジネスモデルが大きく変化してきている。新しい情報関連ビジネスが次々生まれる中で、企業が求める人材も大きく変わってきている。今日のネットワーク社会で、我々の仕事の内容や職場の環境がいかに変化してきているのか。また、今日の情報化社会におけるビジネスを理解するために求められる人材がどのように変化して来ているのか。そして、情報化社会の労働観がどのように変わりつつあるかを学ぶ。

到達目標

(1)情報化社会における情報技術の進展と情報関連企業の実態の把握。(2)情報ネットワークによるビジネス環境の変化を認識させ、企業における情報活用の事例を考察させる。(3)インターネットビジネスの実態を把握し、情報化社会における犯罪と法制度を考察し認識させる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	情報と職業に関する課題の作成により評価
上記以外	40%	情報と職業のレポートにより評価

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報と職業	近藤 勲	丸善	
2				
3				

前提学力等

情報科学概論を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	職業指導						担当教員	中島 由佳
講義コード	1600360	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

さまざまな職業科の高校生の進路は、必ずしも就職だけではない。専門学校や短大・大学など多様となってきている。そのいずれの進路を志望する生徒、あるいは希望を特にもたない生徒に対しても、厳しく、変化の激しい現代社会への接続を支援する職業指導（進路指導）のあり方を考え、学ぶ。検査の受験や進路情報の収集など実習も織り交ぜながら、実践的・実力の力を養成する。受講生自身の進路選択にも資する内容となっている。

到達目標

- (1) 青少年のキャリア発達についての理解を深める。
- (2) 今日の進路指導において必要とされる知識・技法を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	評価課題（論述試験）の得点（理解の正確さと洞察の深さ）を評価する。
レポート課題	30%	適時に課すレポートより、習熟度、授業姿勢等を評価する。
上記以外		

出席を重視し、全回数の3割以上の欠席をした者には単位を認定しない。

授業外学習

自身の進路選択についての検討を予習とする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講師が作成したテキストを第1回に配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜プリントを配布する。

前提学力等

入門 進路指導・相談（福村出版）

履修資格

講義名	生徒指導論						担当教員	胡田 裕教
講義コード	1600370	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	204TEA103							

授業概要

学校における生徒指導の諸課題を総合的に理解するとともに、実践において求められる理論と技法の習得をめざす。具体的には、いじめ・不登校・暴力行為・非行などの従来型の問題行動に加え、児童虐待・薬物乱用・ネット犯罪・自殺等の複雑かつ深刻な様相を呈する児童生徒の問題行動の情勢を捉え、その原因・背景を理解し、生徒指導実践において必要とされる方法（ガイダンス・カウンセリング・人間関係づくりなど）に関する理論と技法について学習する。

到達目標

- (1) 児童生徒の問題行動や内的葛藤に対する理解を深め、生徒指導の多様な方法を身につけ、方向性を持って様々な問題行動に対応できる実践的指導力の基盤の形成を図る。
- (2) 今後ますます必要とされる学校における危機管理能力や学校内外での連携を進めるコーディネート能力につながる基礎的な力量を形成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	最終レポート
上記以外	50%	(1) 受講態度（個人の発言、ディスカッションへの取り組み、意欲・態度など）15% (2) 毎授業後に実施するリフレクションペーパーの提出 15% (3) 中間レポート等 20%

- (1) 正当な理由なき遅刻や途中退席は認めない。
- (2) 意欲と態度を重視する。
- (3) 遅刻は2回で欠席1回としてカウントする。

授業外学習

- (1) テキストにて毎回予習を行うこと。
- (2) リフレクション・ペーパーに記述した、予習内容と授業内容を通して得た「新たな問い」を手掛かりにして関連事項について多面的かつ多角

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『生徒指導提要』	文部科学省編	(教育図書, 2010)	ISBN 978-4-87730-274-0
2				
3				

初回の授業に持参すること。その他は講義中に適宜指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜配布、紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	特別活動論						担当教員	胡田 裕教
講義コード	1600400	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	204TEA104							

授業概要

学校教育課程における教科外の領域における集団的な活動について、その歴史的な発展や教育的意義を考える。学級活動（ホームルーム活動）、生徒会活動（児童会活動）、行事、クラブ活動〔小学校〕を通して、自立した市民として能動的に社会に関わる力を育てることができる資質や能力、指導法の習得を目標とする。

到達目標

- (1) 特別活動の目的、内容、教育的意義について理解を深める。
- (2) 特別活動の年間計画に構想し、具体的な指導の手法を習得する。
- (3) 特別活動と各教科や総合的な学習（探究）の時間との関係と歴史的な文脈から特別活動に至る位置づけを理解する。
- (4) 学習指導案の作成を通して、特別活動の評価の手法やその留意点を理解し、特別活動の実践的指導力の基礎を形成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	最終レポート
上記以外	50%	(1) 受講態度（個人の発言、ディスカッションへの取り組み、意欲・態度など）15% (2) 毎授業後に実施するリフレクションペーパーの提出 15% (3) 学習指導案等の作成（内容、取り組み姿勢など）20%

- (1) 正当な理由なき遅刻や途中退席は認めない。
- (2) 意欲と態度を重視する。
- (3) 遅刻は2回で欠席1回としてカウントする。

授業外学習

(1) リフレクション・ペーパーに記述した、予習内容と授業内容を通して得た「新たな問い」を手掛かりにして関連事項について、多面的かつ多角的に調べ、未確定ながらも自分なりの意見として言語化できるようにすること。（これらを授業内のペア討議、グループ討議につなげる。【他者

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストなどは特に定めず、講義中に適宜資料を配布する。また、参考文献を適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	学校看護論							担当教員	八木 利津子
講義コード	1600450	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義/		
ナンバリング番号	304TEA220								

授業概要

学校看護論は、教職課程に位置づけられた専門科目である。学校において必要とされる看護のみならず、学校保健活動の中核を担う養護教諭として必要となる「養護」全般についての概要と養護実践の理論と実際について学ぶ科目である。講義や演習を通じて、養護教諭の歴史や役割、職務に関する基本的な事項を学び、養護実践の基本的な方法について知識理解を深め、養護教諭としての専門性の基礎となる資質や能力を養うことをねらいとする。

到達目標

1. 養護教諭の役割や職責についての理解を深め、理想とする養護教諭のイメージをつかむ。
2. 保健管理や保健教育など養護実践を進める上で必要となる基本的・具体的な知識や技術を身につける。
3. 保健室経営の方法がわかる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	授業への参加度、授業時に課す課題、レポート、小テストにより総合的に評価を行う。?

出席態度や前向きに学ぶ授業姿勢を優先し、3分の1以上欠席した場合には評価対象としない。
授業中に提示した作成課題や確認(振り返り)の記述問題に基づき評価する。

授業外学習

事前にテキストを読み、授業中に指示する課題やレポートに意欲的に取り組むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	児童生徒等の健康診断マニュアル	文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課監修	日本学校保健会	22696760
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新養護概説第10版	采女智津江	少年写真新聞社	4879816306
2				
3				

授業中に適宜資料を配付する。

前提学力等

履修資格

講義名	学校看護論							担当教員	八木 利津子	
講義コード	1600450	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義/			
ナンバリング番号	304TEA220									

授業計画										
回数	テーマ	概要					予習 / 復習			
第1回	リエンション, 養護の概念	本講義のねらいと受け方, 評価基準 養護の概念と養護教諭のイメージ					90分	養護教諭としての自分の理想像をイ		60分
第2回	養護教諭の役割と職務内容	養護教諭の役割と職務内容, 求められる資質・能力					90分	幼少期、学童期、青年期などの自分		60分
第3回	養護教諭の職務内容の歴史的変遷と現代的健康	学校看護婦から養護訓導、養護教諭へと続く養護教諭の歴史・制度の沿革と子どもの健康課題の変化					90分	子どもを取り巻く環境の変化や子ど		90分
第4回	保健管理 救急処置	救急体制の確立 養護診断と救急処置					90分	養護診断とは何を意味するのか、		90分
第5回	保健管理 救急処置演習	救急処置の事例検討					90分	学校で起こりやすい外科的主訴と内		90分
第6回	保健管理 健康診断	健康診断の計画・実施・評価 健康診断の事前事後措置、保健調査					90分	組織で動く救急体制について動画視		90分
第7回	保健管理 疾病予防	疾病の管理と指導					90分	健康診断の各検査項目や対象学年な		90分
第8回	保健管理 健康観察と学校環境衛生	健康観察、保健情報の収集および、把握 学校環境衛生検査の実施・評価、学校薬剤師との連携活動					90分	健康診断の各検査項目や対象学年な		90分
第9回	保健管理 健康診断の演習	健康診断の模擬演習、学校医との連携活動					90分	子どもによくみられる慢性疾患の特		90分
第10回	健康相談	健康相談の対象と考え方・進め方					90分	学校現場で出現の多い喘息発作はじ		90分
第11回	保健教育	保健学習と保健指導の特質や内容、保健だよりや掲示物の作成の考え方、進め方					90分	健康観察は養護教諭の職務の中核的		90分
第12回	保健教育	保健だよりの作成・遂行・活用法					90分	学校環境衛生検査は学校薬剤師(教		4
第13回	保健室経営と組織活動	学校保健の拠点としての保健室、保健室経営計画と保健主業務の理解 / 学校保健委員会の組織と活動					90分	学校保健安全法で明示されている定		90分
第14回	理想の保健室	校種に応じた保健室経営の工夫と実践概要、理想とする保健室機能の生かし方					90分	健康診断の演習では、主に身体計測		90分
第15回	まとめ	養護実践の評価、なりたい養護教諭像					90分	健康相談と養護教諭が行う健康相談		90分
								ヘルスカウンセリングの重要性など		90分
								実習先の学校種や発達段階に応じ		90分
								新学習指導要領に準拠し保健学習と		3
								保健だよりの作成に向けて、作成時		3
								保健だよりは全体指導や一斉指導に		90分
								学校保健委員会の組織について調べ		90分
								養護教諭が保健主事を兼任するケー		90分
								教室には置いておらず、保健室に備		90分
								保健室の機能を活かした対応とほど		90分
								客観的に養護活動を評価するために		90分
								子ども理解を促進するための養護実		90分

担当者から
 配付資料を用いて教育用語を確認し、講義内容について整理しておいてください。
 課題は授業中に告知した期日に提出してください。

講義名	学校保健論						担当教員	八木 利津子 / 森本 安紀 / 橋本 進一
講義コード	1600460	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	304TEA221							

授業概要

学校保健論は、教職課程に位置付けられた専門科目である。学校保健は、地域保健、職域（産業）保健と並び公衆衛生の一分野を担っており、子どもが元気に学校生活を送れるよう日々の健康を守るだけでなく、子どもが自ら健康な生活を実践できるよう教育することにより、子どもの健康を他律的にも自律的にも保障し、その成長・発達を促す目的をもって行われる活動である。この授業では講義を中心に、現代の子どもの発達や健康の実情について理解を深めるとともに、保健管理や保健教育など学校保健に関する基本的な知識や考え方を身につけることをねらいとして行う。

到達目標

1. 現代の子どもの健康問題の実情について理解を深める。
2. 保健管理や保健教育など学校保健に関する基本的な知識や考え方を身につける。
3. 養護教諭としての知識と資質を修得する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	授業時に課す課題、レポート、小テストなどにより総合的に評価する。

授業の出席態度や学びに向かう姿勢を重視し、確認問題やレポート課題など総合的に評価する。

授業外学習

事前にテキストを読み、授業中に指示する課題やレポートに意欲的に取り組むこと。（八木）

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	養護教諭のための学校保健第16版	出井美智子他	少年写真新聞社	978-4-87981-631-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	子どもの安全と安心を育む「リスクマネジメント教育の実践」	八木利津子	健学社	978-4-7797-0447-5
2	実際にあった学校でのヒヤリハット事例から学ぶ そのとき養護教諭はどうした!?	八木利津子	健学社	9784779705663
3				

授業中に適宜資料を配付する。（八木）

前提学力等

学校教育に関する基本的な事項を理解していること

履修資格

講義名	栄養教育実習・事前事後指導（4年次）						担当教員	山川 佐代子 / 今井 絵理 / 胡田 裕教 / 平木 敦子
講義コード	1600480	単位数	2	開講期	前期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	304TEA214							

授業概要

栄養教育実習とそれにかかわる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価反省を大学において行う。

到達目標

栄養教育の内容の理解。授業実践力の向上。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	目標について自らの課題に到達したか問う 3回生・・・10% 4回生・・・20%
上記以外	70%	実習、事前事後指導の完全参加が基礎条件となる。 3回生・・・授業完全参加、模擬授業等（70%）

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食に関する指導の手引き第二次改訂版	文部科学省	東山書房	978-8278-1575-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

資格取得の手引きの3「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の(4)「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

履修資格

講義名	栄養教育実習・事前事後指導（3年次）						担当教員	山川 佐代子 / 今井 絵理 / 胡田 裕教 / 平木 敦子
講義コード	1600490	単位数	2	開講期	後期実習	授業方法	実習	
ナンバリング番号	304TEA214							

授業概要

栄養教育実習とそれにかかわる事前事後の指導である。実際の教育現場での教育指導にあたり、授業技術や生徒理解の方法について直接的、体験的な学習を深める。また、このための事前の学習と事後のまとめ・評価反省を大学において行う。

到達目標

栄養教育の内容の理解。授業実践力の向上。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	目標について自らの課題に到達したか問う 3回生・・・10% 4回生・・・20%
上記以外	70%	実習、事前事後指導の完全参加が基礎条件となる。 3回生・・・授業完全参加、模擬授業等（70%）

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食に関する指導の手引き第二次改訂版	文部科学省	東山書房	978-8278-1575-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食に関する指導の手引き	文部科学省	東山書房	978-8278-1575-7
2				
3				

前提学力等

資格取得の手引きの3「各学部・学科・専攻における教育職員免許の取得について」の(4)「教育実習・事前事後指導について」を参照して、履修届けを出すこと。

履修資格

講義名	学校栄養指導論						担当教員	平木 敦子 / 山川 佐代子
講義コード	1600500	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

管理栄養士免許に必要な科目を修得したことによって培われた栄養学の専門性に加えて、児童生徒の健全な心身の発達のため、さらには生涯を通じた健康づくりのために、食を通じた健康教育の重要性を理解し、教育者として食に関する指導（学校における食育）ができる能力を養う。

到達目標

- (1) 食に関する指導について、その基礎理論を理解する。
- (2) 栄養教諭の実践演習として、食に関する指導についての学習指導案を作成する。
- (3) 模擬授業、相互評価を通じ、指導法や指導効果の向上を目指す。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60%	到達目標(1)について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す。 ミニレポート及び最終まとめレポート(60%)
上記以外	40%	到達目標(2)(3)について、学習指導案および模擬授業への取り組みで評価する。 給食時間及び教科等における指導(40%)

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。

授業外学習

授業の事前にテキストを参考に授業について調べておく。
給食時間における実践演習に係る学習指導案の作成、見直しを行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食に関する指導の手引き第二次改訂版	文部科学省	東山書房	978-8278-1575-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	食生活教育論						担当教員	
講義コード	1600510	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号								

授業概要

日本の食生活・食文化が日本人の健康維持増進に果たしてきた役割を理解し、さらに国民栄養の現状、生活習慣病と関連を持たせながら、幼児・児童・生徒の食に関する問題点、課題などに対する的確な問題意識をもち、社会、地域、学校と連携しつつ、食生活に関わる諸問題を解決し、改善を講じる能力を養う。

到達目標

- (1) 栄養教諭の役割と職務内容の全体像を理解する。
- (2) 学校給食の役割を理解する。
- (3) 国民全般や幼児・児童・生徒の食に起因する健康課題、食生活の歴史的・文化的事項等を理解する。
- (4) 実態を踏まえた個別相談指導や学校・家庭・地域との連携方策を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	食に関する指導の手引き	文部科学省	東山書房	978-8278-1575-7
2				
3				

教科書は各回授業に持参すること

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	博物館学概論						担当教員	市川 秀之 / 野間 直彦 / 亀井 若菜
講義コード	1600551	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	204CUR101							

授業概要

博物館の基本的な問題について講義する。博物館は社会教育施設であるとともに、研究機関としても重要な意味をもつ。博物館の目的、機能、現状、歴史などを講義し、調査研究、資料の整理と収集、公開展示、普及の基本的な考え方を解説する。

到達目標

- (1) 博物館の目的、機能、現状、歴史などについての基本的な知識の取得
- (2) 博物館を分析的に評価する能力の取得
- (3) 展示を主体的に構築する能力
- (4) あるべき博物館像を自ら構築すること

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	博物館の目的、機能、現状、歴史などについての基本的な知識が取得されているか否かを評価する
レポート課題	20	レポートは2回。1回目は展示見学レポート(博物館について指定したテーマに基づいて見学する)、2回目は県大ミニ博物館の展示プランを提出
上記以外	40	毎回提出するレスポンスカードにより授業の理解度を評価する

レポートを全部提出しないものは評価対象としない

授業外学習

宿題は特に課さないが、毎回授業のあとで提出するレスポンスカードの内容については評価対象とする。教科書の当該部分については事前に読んでおくこと。レポート作成のために、博物館の見学を各自で行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新時代の博物館学	全国大学博物館学講座協議会西日本部会	芙蓉書房出版	978-4-8295-0551-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回レジュメを配布する

前提学力等

特になし。2年次での履修が望ましい。他の博物館関係授業は特別な理由がない場合にはこの授業の履修を前提とする。

履修資格

講義名	博物館資料論						担当教員	東 幸代 / 上町 達也 / 浦部 美佐子 / 金 宇大
講義コード	1600552	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	204CUR102							

授業概要

博物館においては調査研究活動が必須要件となる。調査研究活動の意義と内容を明らかにして、その成果を社会に還元する必要性について述べる。また、博物館資料は多種多様である。博物館資料の意義・種類およびその資料化の過程を詳述するとともに、博物館資料の収集・整理・活用について具体的にみていく。

到達目標

- (1) 博物館における調査研究活動を理解する。
- (2) 博物館資料の収集、整理保管などに関する理論・方法を習得する。
- (3) 博物館資料に関する基礎的能力を養う。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	小テスト4回(各回25%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新時代の博物館学	全国大学博物館学講座協議会西日本部会	芙蓉書房出版	978-4-8295-0551-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜資料プリントも配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	博物館資料保存論						担当教員	野間 直彦 / 市川 秀之 / 横田 尚美 / 高木 純一
講義コード	1600553	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	304CUR202							

授業概要

博物館の重要な機能は博物館資料を後世に伝えることである。この授業では博物館資料の保存および博物館における保存・展示環境、環境や景観と博物館、エコミュージアムなどについての基礎知識を講義する。琵琶湖博物館において学芸員から講義を受ける2日間の集中講義を含む。

到達目標

博物館資料の保存に関する基礎的知識を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	講義内容の理解度を基準に評価する。
上記以外	80	レスポンスカードの評価。講義内容の理解度を基準に評価する。

授業外学習

適宜課し、授業中に指示する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新時代の博物館学		芙蓉書房出版	
2	博物館でまなぶ 利用と保存の資料論		東海大学出版会	
3				

前提学力等

博物館学概論、博物館資料論を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	博物館情報・メディア論						担当教員	市川 秀之
講義コード	1600554	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	204CUR104							

授業概要

人間の知覚のあり方を踏まえて、博物館におけるメディアの活用を考える。

人が何かを見る・聞く時、外の世界がそのまま脳に映されているのではなく、さまざまな編集・加工がおこなわれている。前半では、視覚聴覚の仕組みとさまざまな錯覚を、メディアを用いて体験しながら、見る・聞くということの不思議を学ぶ。さらに、そのような知覚の不思議を探求するものとして芸術作品を見直し、ヴァーチャルミュージアム等のメディア活用の可能性を考える。

後半は、博物館におけるメディアテクノロジーの活用方法、またデジタル映像の処理やデータベースのあり方について、実際の博物館の事例を参照しながら学ぶ。著作権・個人情報の保護とその扱いについて学ぶ。また博物館における展示映像のシナリオを作成する。

到達目標

- (1) 知覚の複雑さを認識し、創作物の展示やメディア利用にあたって人間の知覚を考慮することができるようになる。
- (2) 博物館におけるメディアテクノロジーの活用やデジタルデータの扱い、データベースの作り方について、現状と課題を理解する。
- (3) 知的財産の取り扱いに関するきまりを理解する。
博物館における映像シナリオを作成できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	毎日最後の時間に小テストを実施する。その日の学習内容に関する理解度を評価する。
レポート課題	30	博物館の展示における視聴覚メディアについて批判的に観察しレポートを作成する。
上記以外	10	授業中作成する展示映像のシナリオにもとづいて評価をする。

テストをしない時間についてもレスポンスカードを回収し、次の時間の冒頭で大きな問題については解説する。提出されていない場合、内容が不十分な場合には減点の対象とする。

授業外学習

講義で紹介する錯覚体験やメディア利用のWeb上の資料を閲覧・体験すること。最終日に解説映像のシナリオを作るので、展示物を決めそれに関する資料を集め読み込んでおくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新時代の博物館学		芙蓉書房出版	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	知覚を刺激するミュージアム	平井康之他	学芸出版社	
2				
3				

各時間にレジュメを配布する。

前提学力等

博物館学概論の授業を履修していること。同時履修については認める。

履修資格

講義名	博物館教育論						担当教員	斎藤 修啓
講義コード	1600555	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講義	
ナンバリング番号	304CUR204							

授業概要

博物館が行う事業の中で教育普及という事業は、単にひとつの機能というだけではない。特に利用者の立場からすれば、すべての博物館の事業は、教育普及機能との関わりが見られる。この授業では、博物館教育の理論や歴史をふまえたうえで、具体的な事例について検討し、学びの場としての博物館はいかにあるべきかを考える。

到達目標

- (1)博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得する。とくに、日本の博物館における教育活動の発展動向を理解し、今後の有り様を考察することができるようになる。
(2)博物館の教育機能に関する基礎的事項を理解する。その上で、学校教育との連携についての現状を学び、今後の有り様を考察できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	与えられた課題について、授業の内容や先行研究等を参照し、十分に考察・記述できているかを評価する。
上記以外	60	授業内での課題・小レポート60%。 与えられた課題について、十分に考察・記述できているかを評価する。

授業外学習

事前にいくつかの博物館の教育事業を体験しておくことが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新時代の博物館学	全国大学博物館学講座協議会	芙蓉書房出版	978-4-8295-0551-9
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書以外の参考資料については、授業中にプリントを配布します。

前提学力等

博物館学概論を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	博物館実習						担当教員	市川 秀之 / 野間 直彦 / 上町 達也 / 浦部 美佐子 / 東 幸代 / 亀井 若菜 / 原田 英美子 / 小泉 尚嗣
講義コード	1600556	単位数	3	開講期	前期	授業方法	実習	
ナンバリング番号	404CUR301							

授業概要

近隣の博物館または出身府県の博物館において、博物館資料の取り扱いから展示の実現まで多様な実務について実習する（館務実習）。授業ではその準備として実務に必要な基本的事項について実習し（事前実習）、また事後には実習の成果を発表し反省点などをまとめる（事後実習）。

到達目標

- (1) 博物館の実務に必要な技術・知識の取得
- (2) 展示を実際に構築していく能力

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	実習日誌（館務実習の成果）およびレポートの内容（見学など）を評価する。
上記以外	60	ミ二博物館の内容・取り組み方・各実習での成果品の状況などを評価する

1回目の授業より一度でも無断での欠席・遅刻をした者は単位を認めない。やむを得ず欠席・遅刻をするものは必ず事前に連絡すること。また後期の1回目（月曜3・4限）のみ館務の事後学習として授業をおこなうので出席すること。

授業外学習

館務実習は博物館という職場にお邪魔して実習をさせていただいているという意識を強くもつこと。大学での授業はそのための準備でもあり、館務実習同様のモラルを求める。無断での遅刻・欠席などは厳禁である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

4回生、「博物館学概論」・「博物館資料論」・「博物館情報・メディア論」・「生涯学習論」を含む10単位以上の資格関係科目の単位取得者。履修していない者も例外的に受講を認めることもあるが、かならず事前に担当教員に相談すること。

履修資格

講義名	博物館実習						担当教員	市川 秀之 / 野間 直彦 / 上町 達也 / 浦部 美佐子 / 東 幸代 / 亀井 若菜 / 原田 英美子 / 小泉 尚嗣
講義コード	1600556	単位数	3	開講期	前期	授業方法	実習	
ナンバリング番号	404CUR301							

授業計画							
回数	テーマ	概要		予習 / 復習			
第1回	ガイダンス、実習先割り振り、展示実習班分け	ガイダンス、実習先割り振り、展示実習班分けおよび展示テーマの決定	4	グループごとに協議し、選択された	0		
第2回	展示案作成、展示実習準備	ミニ博物館の展示準備を班ごとにおこなう。正確な展示プランや必要な材料一覧を提出する。	4	グループごとに、展示内容を精査し	2	授業中でできなかった部分について	2
第3回	パンフレット・ポスター作成、展示実習準備	ミニ博物館の展示準備を班ごとにおこなう	2	ポスターやチラシのプランを考えて	2	授業中でできなかった部分について	2
第4回	展示品・キャプション作成、展示実習準備	ミニ博物館の展示準備を班ごとにおこなう	4	ポスターやチラシのプランを考えて	2	授業中でできなかった部分について	2
第5回	展示実習準備	ミニ博物館の展示準備を班ごとにおこなう。展示内容は今回でほぼ完成させる。	4	ポスターやチラシのプランを考えて	2	授業中でできなかった部分について	2
第6回	(人間文化) 民具実習1 (環境科学) 植物	(人間文化) 民具のラベル添付や、調書とりをおこなう (環境科学) 野外で植物 (草本、木本) を採集し、おしぼ標本を作製、送風乾燥機	4	(人間文化) 民具の調査方法につい	2	(人間文化) 用途や名称が明確でな	2
第7回	展示架設実習 (交流センター・多賀町博)	ミニ博物館の展示作業をおこなう	4	展示に必要な演示具などを用意して	2	展示方法などについて反省点をグ	2
第8回	(人間文化) 民具実習2 (環境科学部) 植物	(人間文化) 民具の調書作成をおこなう (環境科学) 植物の標本を作製する。	4	(人間文化) 民具の調査方法につい	2	(人間文化) 用途や名称が明確でな	2
第9回	展示架設実習 (交流センター・多賀町博)	ミニ博物館の展示替えの作業をおこなう	4	前回の展示の反省点を踏まえてグ	2	展示方法などについて反省点をグ	2
第10回	(人間文化) 民具実習3 (環境科学) 植物	(人間文化) 民具の調書作成、写真撮影をおこなう (環境科学) DNAバーコーディング法による植物種の判別を行う	4	(人間文化) 民具の調査方法、用途	2	(人間文化) 民具調査によって分	2
第11回	(人間文化) 古文書実習1 (環境科学) 植物	(人間文化) 古文書の調書作成をおこなう (環境科学) DNAバーコーディング法による植物種の判別を行う。また、SEM-EDX (走査型	4	(人間文化) 古文書の調査方法につ	2	(人間文化) 読めなかった古文書に	2
第12回	(人間文化) 古文書実習2 (環境科学) 植物	(人間文化) 古文書の調書作成をおこなう (環境科学) 植物標本の作製をおこなう	4	(人間文化) 古文書の調査方法や種	2	(人間文化) 読めなかった古文書に	2
第13回	(人間文化) 古文書実習3 (環境科学) 貝	(人間文化) 古文書調書作成作業をおこなう (環境科学) 貝の採集と種の同定・標本作成をおこなう	4	(人間文化) 古文書の調査方法や種	2	(人間文化) 古文書の調査方法につ	2
第14回	(人間文化) 美術品実習 (環境科学) 活断層	(人間文化) 美術資料の取扱について実習する (環境科学) 活断層の周辺に細長い溝 (トレンチ) を掘って、活断層が過去のいつ頃に何	4	(人間文化) 美術品の調査方法につ	2	(人間文化) 美術品の調査方法につ	2
第15回	館務実習にむけて・梱包・写真撮影	館務実習への心構えなど・梱包技術の習得。	4	資料の梱包方法について事前にしら	2	資料の梱包方法についてまとめる。	2
第16回	館務実習の報告、課題レポートの提出、最終		4	夏休中の館務実習に参加する。その	10	採集報告書の原稿を作成する (103	3

担当者から
 授業や館務実習に際しては、実習にふさわしい服装・靴で出席すること。力仕事やはしごを用いた高所での作業、絵の具などによる汚れも考えられる。また資料を傷めるため、落ちやすい装飾品 (ネックレス・ネクタイなど) の着用やマニキュア、香水などは認めない。

講義名	公衆衛生看護学						担当教員	馬場 文
講義コード	1600690	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	授	
ナンバリング番号								

授業概要

公衆衛生看護学演習の前提として以下のことについて講義する。
 1 - (1) 乳幼児の心身の発達の特徴、およびその特徴に応じた個別保健指導の方法について
 1 - (2) 高齢者の心身の状態や生活の特徴、およびその特徴に応じた個別保健指導の方法について
 2 地域診断の基本的知識と展開方法について

到達目標

- (1) 乳幼児期の心身発達の特徴に応じた保健指導について説明できる
- (2) 高齢者の心身状態および生活状況に応じた保健指導について説明できる
- (3) 地域診断の目的、意義、理論（モデル）について説明できる
- (4) 地域診断における情報収集、アセスメント、健康課題の抽出の過程について理解できる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標(1) : 15% 到達目標(2) : 15% 到達目標(3) : 20%
レポート課題	50	到達目標(1) : 15% 到達目標(2) : 15% 到達目標(4) : 20%
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
 レポート課題は、その都度指示する。

授業外学習

第1～8回は、授業およびレポート課題の作成に、1～3年次に履修した小児看護、育成（母性）看護および老年看護の各分野の知識が必要になるので、予習・復習を各自で行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術	中村裕美子 他	医学書院	
2	標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動	中谷芳美 他	医学書院	
3	標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論	奥山則子 他	医学書院	

教科書は、2年次および3年次までに購入したものを使用。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域看護診断	金川克子, 田高悦子 編	東京大学出版会	978-4-13-062408-4
2	地域看護アセスメントガイド アセスメント・計画・評価のすすめかた	佐伯和子 編著	医歯薬出版株式会社	978-4-263-23495-2
3	新版 270動画でわかる 赤ちゃんの発達地図	木原秀樹	メディカ出版	978-4-8404-5010-2

その他、授業ごとに参考資料等のプリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護管理論						担当教員	小林 孝子
講義コード	1600700	単位数	2	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号								

授業概要

日常的な地域住民に対する公衆衛生看護活動や感染症・災害発生等を含む地域の健康危機管理に対する基本的な知識を学ぶ。地域で活動する看護職には健康課題を未然に防ぐ能力や他職種とともに活動できる能力など総合的な地域管理能力が求められる。個別ケアだけでなく集団に対するケア、地域全体に対するケア、看護管理が必要とされることを理解し、総合的な看護能力の開発に取り組む。

到達目標

- (1) 公衆衛生看護管理における基本的な知識と管理能力について説明できる。
- (2) 保健師の専門能力について自己の考えを述べるができる。
- (3) 地域の健康危機についての課題を述べることができ、解決方法や予防について説明できる。
- (4) 公衆衛生看護の倫理について、事例を通して課題と解決方法を述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	72	(1) 定期試験 (30%) (2) 定期試験 (10%) (3) 定期試験 (22%)
レポート課題		
上記以外	28	(1) ワーク・シート (10%) (2) ワーク・シート (5%) (3) ワーク・シート (8%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

公衆衛生看護学概論で使用したテキストを用いる

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	健康教育方法演習/						担当教員	小林 孝子 / 馬場 文 / 横山 詞果
講義コード	1600710	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号								

授業概要

健康教育論で学んだ理論と方法についての知識を元に効果的な健康教育の演習を行う。健康教育に用いるアセスメント技術、カウンセリング技術を学び、それらの技術を用いて健康相談や健康教室の企画・実施・評価が行える能力を養う。健康教育の実際を想定して企画立案し、発表後に健康教育案についての評価を行う。

到達目標

- (1) 乳幼児健診の問診・相談場面において、乳幼児の発達をアセスメントし、保護者のニーズに応じた健康相談を展開することができる。
- (2) 成人の保健指導場面において、健康状態をアセスメントし、対象者のニーズに応じた保健指導を展開することができる。
- (3) 対象となる集団の健康課題に応じた健康教育を効果的に展開することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	65	(1) 提出物 (10%) (2) 提出物 (20%) (3) 提出物 (35%)
上記以外	35	(1) 課題への取り組み (5%) (2) 課題への取り組み (10%) (3) 課題への取り組み (20%)

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：講義中、適宜紹介する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護学実習						担当教員	小林 孝子 / 馬場 文 / 横山 詞果
講義コード	1600730	単位数	5	開講期	通年実習	授業方法	授	
ナンバリング番号								

授業概要

地域で生活する個人・家族、集団ならびにそれらを取り巻く地域を対象としたヘルスケアシステムについての理解を深める。また、保健所・市町村といった行政機関などの活動をとおり、個人・家族、集団、地域を対象とした看護活動を展開するための基礎的能力を養う。

到達目標

- (1) 地域の健康課題を明らかにし、解決・改善策を計画・立案することができる。
- (2) 地域の健康増進能力を高める個人・家族・集団・組織への継続的支援について理解を深めることができる。
- (3) 公衆衛生看護の対象と活動の場に応じた技術を実践することができる。
- (4) 地域の健康水準を高めるための社会資源開発・システム化・施策化について、その方法やプロセスが理解できる。
- (5) 地域の健康危機管理に必要な能力が理解できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	5	(1)～(5) レポート5%
上記以外	95	実習記録、実習参加度、評価表をもとに、目標への到達度を総合的に評価する。 (1) 30% (2) 25%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

4年次前期の保健師資格取得科目が修得見込みであること

履修資格

講義名	公衆衛生看護学実習						担当教員	小林 孝子 / 馬場 文 / 横山 詞果
講義コード	1600730	単位数	5	開講期	通年実習	授業方法	授	
ナンバリング番号								

授業計画

実習の進め方

- 1) 地域診断：事前学習した地域診断を土台に地区踏査、保健福祉事業、地区組織活動への参加、家庭訪問等を通じて、健康課題を分析し、地域保健活動計画を立案する。
- 2) 健康教育：地域住民を対象とした小集団への健康教育を企画し実施する。
- 3) 家庭訪問：情報収集、計画立案を行い、保健師とともに家庭訪問を実施する。
- 4) 各種保健福祉事業（健康診査・健康教育・健康相談・介護予防事業・地区組織活動等）：地域の保健福祉計画等に基づき実施されている事業に参加する。
- 5) 地域レベルでの連絡会議等：地域の保健福祉計画等に基づき実施されている連絡会議等に参加する。
- 6) 中間カンファレンス、まとめのカンファレンスで学びを発表し、指導者より助言を得て進める。

担当者から

講義名	住居学（製図を含む）							担当教員	
講義コード	1600810	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講義		
ナンバリング番号									

授業概要

人間にとって欠かすことの出来ない「住まい」。
本講義では、快適で安全・安心に暮らすための住まいに関する基礎的な知識を習得し、住まいが持つ機能について理解する。また、住生活の現状や課題を把握し、生活の質を向上させるための住空間デザインの実現を目指す。

到達目標

(1) 人とすまいの関わりを理解し説明できる知識を持つ。(2) 簡単な住宅の設計図面が描ける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	特別支援教育概論							担当教員	横江 真理子
講義コード	1600820	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	パ		
ナンバリング番号									

授業概要

我が国における特別支援教育の歴史や世界的動向、および現在の制度、教育課程の特徴、個別教育計画と個別支援計画の関連、教育実践の課題を中心に講義する。また、発達障害や知的障害をはじめとする特別の支援を必要とする幼児、児童生徒の障害特性、心理特性を踏まえ、特別支援教育の基礎的知識や方法について学習する。

到達目標

通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害、あるいは外国籍、養育の困難な事情等を抱え、特別の支援が必要な幼児、児童及び生徒の学習や生活における支援の方法について、基礎的な知識や技能を身に付けることが授業の到達目標である。講義を通して、特別支援教育の重要な課題について各自の考えをまとめ説明することができる力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	試験は「知識・理解」及び「思考・判断」から到達度を見る。
レポート課題	30%	授業終了時に小レポートを課す。「関心・意欲・態度」から到達度を見る。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

参考図書による予習復習や授業内で配布した資料による復習をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

資料を適宜提示または配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	シリーズ現代の教職12 特別支援教育の現状・課題・未来	富永光昭・平賀健太郎	ミネルヴァ書房	
2	新版キーワードブック特別支援教育	玉村公二彦他	クリエイツかもがわ	
3	発達障害の教育学	窪島務	文理閣	

前提学力等

履修資格

講義名	総合的な学習の時間の指導法						担当教員	胡田 裕教
講義コード	1600830	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号								

授業概要

総合的な学習の時間の意義や歴史を概説する。次に総合的な学習の時間の実践事例を通してその全体像を理解すると共に、実践のための構想力を形成する。また、総合的な学習の時間の評価について理解を図る。それらを通して、教員に必要な総合的な学習の時間の基礎知識ならびに具体的なカリキュラム構想や実現の手立ての習得を目指す。

到達目標

- (1) 総合的な学習の時間に関する意義と役割を理解する。
- (2) 総合的な学習の時間を年間計画に構想し、具体的な指導の手法を習得する。
- (3) 各教科と総合的な学習の時間との関係と歴史的な脈から総合的な学習の時間に至る位置づけを理解する。
- (4) 学習指導案の作成を通して、総合的な学習の時間の評価の手法とその留意点を理解し、総合的な学習の時間の実践的指導力の基礎を形成する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	最終レポート
上記以外	50%	(1) 受講態度(個人の発言、ディスカッションへの取り組み、意欲・態度など) 10% (2) 毎授業後に実施するリフレクションペーパーの提出 20% (3) 学習指導案の提出 20%

- (1) 正当な理由なき遅刻や途中退席は認めない。
- (2) 意欲と態度を重視する。
- (3) 遅刻は2回で欠席1回としてカウントする。

授業外学習

(1) リフレクション・ペーパーに記述した、予習内容と授業内容を通して得た「新たな問い」を手掛かりにして関連事項について、多面的かつ多角的に調べ、未確定ながらも自分なりの意見として言語化できるようにすること。(これらを授業内のペア討議、グループ討議につなげる。【他者

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストなどは特に定めず、講義中に適宜資料を配布する。また、参考文献を適宜紹介する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業の中で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	インターンシップA							担当教員	就職指導担当教員
講義コード	1601020	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	実習		
ナンバリング番号	303CAR201								

授業概要

キャリア教育として実施し、学生が企業や団体において就業体験することを通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を育む。同時に、自己の適性や志向に照らして進路を考える機会とする。この授業は以下の3セクションから構成される。

- 1) 事前学習(学内): 事前学習レポートの提出と事前研修を受ける。
- 2) 就業体験(学外): 同一企業・団体等で5日間以上9日間以下の就業体験をする。
- 3) 事後学習(学内): 実習報告レポートの提出と報告会に出席する。

大学と受入企業・団体が、協定書(覚書)を締結して行う「協定型インターンシップ」を基本として自由科目の単位認定をする。

到達目標

- (1) 就業体験を通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を身につける。
- (2) 自分の適性や志向に照らし進路を考え、キャリア意識を高める。
- (3) 専門知識の有用性や学習意識を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	50%	1) 事前学習レポート 企業研究 インターンシップ志望動機・目的 2) 実習報告レポート + できればPP報告作成
上記以外	50%	1) 実習日誌 2) 受入企業等担当者の評価書

ガイダンス、事前研修、就業体験、報告会のすべてに出席することを前提に、上記の4点を総合して評価する。

授業外学習

申込時に、事前学習レポートを作成する。実習希望先の企業・団体について調べ、志望理由・目的を明確にすること。スケジュール管理をすること

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ビジネスマナー講座テキスト

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

インターンシップ実習レポート集(報告会で配付)

前提学力等

履修資格

講義名	インターンシップB							担当教員	就職指導担当教員
講義コード	1601030	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	実習		
ナンバリング番号	303CAR202								

授業概要

キャリア教育として実施し、学生が企業や団体において就業体験することを通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を育む。同時に、自己の適性や志向に照らして進路を考える機会とする。この授業は以下の3セクションから構成される。

- 1) 事前学習(学内): 事前学習レポートの提出と事前研修・ を受ける。
 - 2) 就業体験(学外): 同一企業・団体等で10日間以上14日間以下の就業体験をする。
 - 3) 事後学習(学内): 実習報告レポートの提出と報告会に出席する。
- 大学と受入企業・団体が、協定書(覚書)を締結して行う「協定型インターンシップ」を基本として自由科目の単位認定をする。

到達目標

- (1) 就業体験を通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を身につける。
- (2) 自分の適性や志向に照らし進路を考え、キャリア意識を高める。
- (3) 専門知識の有用性や学習意識を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	50%	1) 事前学習レポート 企業研究 インターンシップ志望動機・目的 2) 実習報告レポート + できればPP報告作成
上記以外	50%	1) 実習日誌 2) 受入企業等担当者の評価書

ガイダンス、事前研修・、就業体験、報告会のすべてに出席することを前提に、上記の4点を総合して評価する。

授業外学習

申込時に、事前学習レポートを作成する。実習希望先の企業・団体について調べ、志望理由・目的を明確にすること。スケジュール管理をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ビジネスマナー講座テキスト

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

インターンシップ実習レポート集(報告会で配付)

前提学力等

履修資格

講義名	インターンシップE						担当教員	就職指導担当教員
講義コード	1601033	単位数	3	開講期	前期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号	303CAR203							

授業概要

キャリア教育として実施し、学生が企業や団体において就業体験することを通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を育む。同時に、自己の適性や志向に照らして進路を考える機会とする。この授業は以下の3セクションから構成される。

- 1) 事前学習(学内): 事前学習レポートの提出と事前研修・ を受ける。
 - 2) 就業体験(学外): 同一企業・団体等で15日間以上の就業体験をする。
 - 3) 事後学習(学内): 実習報告レポートの提出と報告会に出席する。
- 大学と受入企業・団体が、協定書(覚書)を締結して行う。15日間以上のものを「中期インターンシップ」と言う。自由科目の単位認定をする。

到達目標

- (1) 就業体験を通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を身につける。
- (2) 自分の適性や志向に照らし進路を考え、キャリア意識を高める。
- (3) 専門知識の有用性や学習意識を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	50%	1) 事前学習レポート 企業研究 インターンシップ志望動機・目的 2) 実習報告レポート + できればPP報告作成
上記以外	50%	1) 実習日誌 2) 受入企業等担当者の評価書

ガイダンス、事前研修・、就業体験、報告会のすべてに出席することを前提に、上記の4点を総合して評価する。

授業外学習

申込時に、事前学習レポートを作成する。実習希望先の企業・団体について調べ、志望理由・目的を明確にすること。スケジュール管理をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ビジネスマナー講座テキスト

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

インターンシップ実習レポート集(報告会で配付)

前提学力等

副専攻科目(地域学)の履修と合わせて受講する場合と単独で「インターンシップE」を受講する場合がある。(いずれの場合も応募受付は、他のインターンシップと同様である。)

履修資格

講義名	インターンシップC							担当教員	就職指導担当教員
講義コード	1601040	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	実習		
ナンバリング番号	503CAR501								

授業概要

キャリア教育として実施し、学生が企業や団体において就業体験することを通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を育む。同時に、自己の適性や志向に照らして進路を考える機会とする。この授業は以下の3セクションから構成される。

- 1) 事前学習(学内): 事前学習レポートの提出と事前研修を受ける。
- 2) 就業体験(学外): 同一企業・団体等で5日間以上9日間以下の就業体験をする。
- 3) 事後学習(学内): 実習報告レポートの提出と報告会に出席する。

大学と受入企業・団体が、協定書(覚書)を締結して行う「協定型インターンシップ」を基本として自由科目の単位認定をする。

到達目標

- (1) 就業体験を通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を身につける。
- (2) 自分の適性や志向に照らし進路を考え、キャリア意識を高める。
- (3) 専門知識の有用性や学習意識を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	50%	1) 事前学習レポート 企業研究 インターンシップ志望動機・目的 2) 実習報告レポート + できればPP報告作成
上記以外	50%	1) 実習日誌 2) 受入企業等担当者の評価書

ガイダンス、事前研修、就業体験、報告会のすべてに出席することを前提に、上記の4点を総合して評価する。

授業外学習

申込時に、事前学習レポートを作成する。実習希望先の企業・団体について調べ、志望理由・目的を明確にすること。スケジュール管理をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ビジネスマナー講座テキスト

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

インターンシップ実習レポート集(報告会で配付)

前提学力等

履修資格

講義名	インターンシップD							担当教員	就職指導担当教員
講義コード	1601050	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	実習		
ナンバリング番号	503CAR502								

授業概要

キャリア教育として実施し、学生が企業や団体において就業体験することを通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を育む。同時に、自己の適性や志向に照らして進路を考える機会とする。この授業は以下の3セクションから構成される。

- 1) 事前学習(学内): 事前学習レポートの提出と事前研修・ を受ける。
 - 2) 就業体験(学外): 同一企業・団体等で10日間以上14日間以下の就業体験をする。
 - 3) 事後学習(学内): 実習報告レポートの提出と報告会に出席する。
- 大学と受入企業・団体が、協定書(覚書)を締結して行う「協定型インターンシップ」を基本として自由科目の単位認定をする。

到達目標

- (1) 就業体験を通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を身につける。
- (2) 自分の適性や志向に照らし進路を考え、キャリア意識を高める。
- (3) 専門知識の有用性や学習意識を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	50%	1) 事前学習レポート 企業研究 インターンシップ志望動機・目的 2) 実習報告レポート + できればPP報告作成
上記以外	50%	1) 実習日誌 2) 受入企業等担当者の評価書

ガイダンス、事前研修・、就業体験、報告会のすべてに出席することを前提に、上記の4点を総合して評価する。

授業外学習

申込時に、事前学習レポートを作成する。実習希望先の企業・団体について調べ、志望理由・目的を明確にすること。スケジュール管理をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ビジネスマナー講座テキスト

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

インターンシップ実習レポート集(報告会で配付)

前提学力等

履修資格

講義名	インターンシップF						担当教員	就職指導担当教員
講義コード	1601053	単位数	3	開講期	前期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号	503CAR503							

授業概要

キャリア教育として実施し、学生が企業や団体において就業体験することを通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を育む。同時に、自己の適性や志向に照らして進路を考える機会とする。この授業は以下の3セクションから構成される。

- 1) 事前学習(学内): 事前学習レポートの提出と事前研修・ を受ける。
 - 2) 就業体験(学外): 同一企業・団体等で15日間以上の就業体験をする。
 - 3) 事後学習(学内): 実習報告レポートの提出と報告会に出席する。
- 大学と受入企業・団体が、協定書(覚書)を締結して行う「協定型インターンシップ」を基本として自由科目の単位認定をする。

到達目標

- (1) 就業体験を通して、望ましい職業観・勤労観および社会性を身につける。
- (2) 自分の適性や志向に照らし進路を考え、キャリア意識を高める。
- (3) 専門知識の有用性や学習意識を高める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	50%	1) 事前学習レポート 企業研究 インターンシップ志望動機・目的 2) 実習報告レポート + できればPP報告作成
上記以外	50%	1) 実習日誌 2) 受入企業等担当者の評価書

事前研修・、就業体験、報告会のすべてに出席することを前提に、上記の4点を総合して評価する。

授業外学習

申込時に、事前学習レポートを作成する。実習希望先の企業・団体について調べ、志望理由・目的を明確にすること。スケジュール管理をすること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

ビジネスマナー講座テキスト

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

インターンシップ実習レポート集(報告会で配付)

前提学力等

履修資格

講義名	ボランティア活動（前期）						担当教員	胡田 裕教 / 鶴飼 修
講義コード	1601060	単位数	1	開講期	前期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号	103CAR101							

授業概要

【復興支援活動】
東日本大震災などの災害救助援助法が適用される災害に対する復興支援活動にボランティアとして従事したことを、大学が単位として認定します。
現地での活動経験は、自分自身のかけがえない体験、様々な人とのつながりの創造になるとともに、単位認定により就職活動等での自己アピールのひとつとすることが可能です。
【学校ボランティア活動】
学校や教育委員会から要請のあった教育支援活動など教育現場等で行なうボランティア活動に対して単位を認定します。教員を目指す学生にとって、大学の早い時期から教育現場を体験しておくことは、子どもを理解したり、学校教育の状況を把握する貴重な機会となります。

<受講の手順> 各書式は添付ファイル参照
履修登録する

到達目標

- ・被災地域でボランティア活動を実践できる
- ・体験を通じた「つながり」が形成できる
- ・子どもとのふれあいを通じて、子どもとの関わり方を理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	<ボランティア活動報告書の書式> A 4用紙で表題に「令和 年度 ボランティア活動報告書」と記載の上 1. 所属学部（研究科）学科（専攻）
上記以外		

点数ではなく、合否の判定になります。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	ボランティア活動（後期）						担当教員	胡田 裕教 / 鶴飼 修
講義コード	1601070	単位数	1	開講期	後期集中	授業方法	実習	
ナンバリング番号	103CAR101							

授業概要

【復興支援活動】
東日本大震災などの災害救助援助法が適用される災害に対する復興支援活動にボランティアとして従事したことを、大学が単位として認定します。
現地での活動経験は、自分自身のかけがえない体験、様々な人とのつながりの創造になるとともに、単位認定により就職活動等での自己アピールのひとつとすることが可能です。
【学校ボランティア活動】
学校や教育委員会から要請のあった教育支援活動など教育現場等で行なうボランティア活動に対して単位を認定します。教員を目指す学生にとって、大学の早い時期から教育現場を体験しておくことは、子どもを理解したり、学校教育の状況を把握する貴重な機会となります。

<受講の手順> 各書式は添付ファイル参照
履修登録する

到達目標

- ・被災地域でボランティア活動を実践できる
- ・体験を通じた「つながり」が形成できる
- ・子どもとのふれあいを通じて、子どもとの関わり方を理解できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	<ボランティア活動報告書の書式> A 4用紙で表題に「令和 年度 ボランティア活動報告書」と記載の上 1. 所属学部（研究科）学科（専攻）
上記以外		

点数ではなく、合否の判定になります。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	公衆衛生看護学演習						担当教員	小林 孝子 / 馬場 文
講義コード	1853140	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	581MNT525							

授業概要

公衆衛生看護活動の歴史と変遷をふまえた諸理論について検討し、知識を深める。人びとの潜在化した健康課題を顕在化し、個別支援からグループ支援、地域での健康活動へと推進する高度な専門的能力を養成する。また、基礎となる考察力を高めるために文献講読を行う。国内外の活動事例を検証する過程で、その活動の有効性や課題について考察し、研究活動を行う上での資料とする。

到達目標

- (1) 地域の人々の潜在化している健康課題と関連する概念を説明できる。
- (2) 健康課題と解決に向けた方法論を説明できる。
- (3) 健康課題に関連する論文のクリティークができる。
- (4) 文献講読をもとに、課題解決にむけた方法の有効性を説明できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	(4) レポート20%
上記以外	80	(1) プレゼンテーション10%、ディスカッション5% (2) プレゼンテーション10%、ディスカッション5% (3) プレゼンテーション20%、ディスカッション10%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	実践 ヘルスプロモーション PRECEDE-PROCEED モデルによる企画と評価	ローレンス W. グリーン	医学書院	
2	コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際	エリザベス T. アンダーソン	医学書院	
3				

前提学力等

公衆衛生看護活動について理解していること

履修資格

